

第八十一回帝國議會
衆議院

農業團體法案外一件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
農業團體法案(政府提出)(第四五號)
水産業團體法案(政府提出)(第四六號)

昭和十八年二月四日(木曜日)午前十時十七分開議

農林書記官 藤田 巖君

出席委員左ノ如シ

委員長 東郷 實君

理事白川 久雄君 理事恒松於菟二君

理事成島 勇君 理事西川 貞一君

理事濱地 文平君 理事山田 六郎君

理事吉田 正君

青山 憲三君

石坂 養平君

五十嵐吉藏君

小山倉之助君

奥 久登君

加藤 知正君

北 勝太郎君

小平 權一君

鈴木 重次君

高橋壽太郎君

土屋 源市君

中川 寛治君

松浦 伊平君

松山常次郎君

間宮 成吉君

山口左右平君

吉植 庄亮君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 石黒 武重君

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省水産局長 寺田 省一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業團體法案(政府提出)

○東郷委員長 會議ヲ開キマス、前會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス——馬岡次郎君

○馬岡委員 取敢ズ先ニ委員長ニ御願ヒ申シテ置キマス、私一般的ノ問題トシテ市町村合併ニ付テ、一度厚生大臣ト、内務大臣ト、商工大臣ト、農林大臣ノ居ラレル所デ總理大臣ニ市町村合併ニ付テノ御意見ヲ聽キタイノデアリマス、ソレデ御出席ヲ、何時デモ宜シイノデゴザイマスガ御願ヒ致シマス

只今第一ニ御尋ネ致シタイノハ、今度ノ此ノ團體法案ノ總體ヲ拜見致シマスルト、私共ガ今日マデ早ク團體ノ統合ヲ御願ヒ致シタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタノハ、ドウモ中央ガ八岐ノ大蛇ノヤウニ頭ガ分レテ居ツテ、最下層ノ農民其ノモノハニ歸スル、非常ニ煩ハシイカラ團體ノ統合ヲ御願ヒシタノデアアル、然ルニ今度拜見シテ見マシテモ、ヤハリ中央ハ八岐ノ大蛇デ頭バカリ分レテ居ルノデアリマス、殊ニ森林組合及ビ漁業組合、此ノ二ツガ中々區域ガ分レナイノデアリマス、此ノ農業團體ト森林組合、漁業組合、此ノ三ツガヤハリ同ジ經濟行為ヲ行フ組合デアリマス、而モ是ハ判然ト區別ノ付カナイ町村ガ多イノデアリマス、サウ致シマスルト、同ジ森林組合員デア

ツテモ農業團體員デアアル、漁業組合員デアツテモ農業團體員デアアル、斯ウ云フコトニナリマスルト、兎角實際町村ノ中ニ入ツテ見マスルト、此ノ仕事ヲ致シマスル上ニ色色ナ問題デ啾合ヒガ起ルノデアリマス、此ノ點ニ對シテハ當局ハ此ノ團體法案ニ依ツテ啾合ヒガ比較的少クテ済ムヤウナ風ナ御意見ヲ御持チニナツテ居ラレルカ、又何等カノ方法デ之ヲ御決メ下サルカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス

アリマシテ、是ハ實際的ニハ旨ク參ルノデハナイカト考ヘテ居リマス
ソレカラ漁業組合、今度ハ漁業會ニ相成リマスガ、此ノ漁業會或ハ從來ノ漁業組合ト此ノ農業會トノ關係ニ付テハ、先年漁業組合ニ新タニ貯金ノ受入等ノ仕事ヲ認メマシタ時ニモ、産業組合ト漁業組合トノ仕事ノ分野ト申シマスガ、其ノ間ノ調整ガ一ツノ問題デアツタノデアリマス、是ハ全國ノ漁村ノ狀況、又ハソレレノ狀況ニ應ジテノ漁業組合ノ結成ノ狀況等ニ應ジマシテ、一概ニハ申セナイノデアリマスガ、當時既ニヤハリ産業組合ト漁業組合トノ關係ニ付キマシテハ、一通リ政府ノ方トシテハ考ヘタノデアリマス、要シマスルニ其ノ村ニ於ケル實況ニ應ジマシテ、必ズシモ全國的ニ一律ナ取扱ラスベキデハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、是ハ指導ニ依リマシテ、或ル場合ニ於テハ截然ト漁業組合或ハ産業組合ノ兩者ノ分野、ソレレノ同ジヤウナ仕事ヲ進メテ、ソレノ利用スル組合員ヲ異ニスルト云フ場合モアリマセウシ、又或ル場合ニハ、或ル仕事ニ付テハ漁業組合員モ産業組合ノ組合員トシテ其ノ方面ノ事業ノ恩惠ニ浴スル、其ノ利益ヲ享受スルト云フヤウニ扱フベキ場合モアリマスルシ、是ハ一概ニハ參ラナイト思フノデアリマスガ、私ハ最近ニ於ケル地方ノ實情ヲ能ク深く存ジマセヌノデアリマスガ、恐ラクハ其ノ間能ク調整ガ取レテ參ツテ居ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○馬岡委員

御答辯御尤モデアリマスガ、

實際ハドウモ吾々ガ日々其ノ仕事ニ携ハリマス上カラサウ行カナイノデ困ル、殊ニ現在今御話ノアリマシタ木炭ノ如キモノハ、森林法改正當時ニ於テ、山林局長ハ木炭ハ産業組合ニ之ヲイロハスノダ、慥カ此ノ議會デ言明サレテ居リマス、然ルニ森林組合ガ出來ルト直グニ木炭ヲイロハサレテ居ルノデアリマス、是ハ農林省デ材料ヲオヤリニナツテ居ルノデアリマス、又漁業組合ノ、食糧營團ノ末端代行ノ如キ問題デモ、又物資ノ配給問題デモ、漁業組合ト産業組合ト非常ニ嚙ミ合ヒヤツテ居ル地方ガ相當アルノデアリマス、是ハ兩方トモ蛇蝎取ラズニナツテ、終ヒニハ町村ノ平和マデ害スルヤウナ問題ガ起リ易イノデアリマス、今度ハ機構整備發達ヲ圖ルノガ目的デ團體法ヲ御作リ下サツタノデ、是等ノ點ハ除カレテ居ルト思ヒマシタガ、マダ殘ツテ居ルヤウニ思ヒマスノデ、是ハ特ニ御考ヘヲ願ヒタイ

次ニ農業團體法ト云フ法案デアリマスルノデ、團體ガ加入出來ルト思ヒマシタガ、今度ハ團體ガ加入出來ナイ、法人ダケシカ加入出來ナイヤウニナリマスガ、此ノ根據ハ何處ニアリマスカ、御尋ネ致シテ置キマス

○重政政府委員

一寸私御質問ノ御趣意ヲ

取違ヘテ居ルカモ分リマセヌガ、法人ノ加入ハ出來ルガ團體ノ加入ハ認メテ居ラスカドウカト云フ御質問ノヤウニ思ヒマス、法人ニアラザル團體ガ組織員ニナルト云フコトハ、一應是ハ現在ノ所デハ考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、唯サウ云フヤウナモノガ特ニ此ノ農業團體ノ色ナ施設ヲ利用シ

タイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ別途員外利用等ノ制度ヲ廣汎ニ此ノ法律ニ於テハ認メルコトニナツテ居リマスノデ、實際問題ト致シマシテハ大ナル不便ハナイコトト考ヘルノデアリマス、養鶏デアリマストカ或ハ養豚デアリマストカ、左様ナ任意ノ組合ハ昨日モ御質問ニ御答ヘ致シマシタヤウニ、是ハ加入ト云フコトデナシニ、順次農業團體ニ吸收ヲ致シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○馬岡委員

了承致シマシタ、ソレデハ只今

カラ各條ニ付テ御尋ネ致シマス、第七條ノ勅令事項ニ會員ノ死亡脱退ガアルノデアリマス、併シ此ノ法文ハ常識的ニ考ヘタラ、死亡シテモ家督相續ノ場合ナラバ脱退シナイデ済ムコトダラウト思ヒマスガ、遺産相續ノ場合ニハ、相當期間ガアリマス、斯ウ云フ場合ニモヤハリ手續ヲ執ラナイデ其ノ儘相續ガ出來ルノデアルカ、一旦脱退シテ加入手續ヲ執ルノデアリマスカ

○藤田政府委員

死亡致シマシタ場合ニ、

家督相續人ガ當然引繼ギマシテ農業ヲ營ミマス場合ハ、脱退ノ手續ニ依ラズ引繼イテ被相續人ノ權利義務ヲ承繼スルト云フ風ニ致シタイト思ツテ居リマス、尙ホ農村ノ實情カラ考ヘマシテ、單ニ家督相續人所謂法定推定家督相續人デナクテ、其ノ他ノ者ガ其ノ被相續人ノ農業ヲ繼承シテ行クト云フ風ナ場合モ澤山アルノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ場合ニ付キマシテモ、ヤハリ家督相續ノ場合ニ準ジマシテ、其ノ權利、義務ヲ承繼シテ行クト云フ風ナヤリ方ニ考ヘタイト思ツテ居リマス

○馬岡委員

遺産相續モサウデスカ

○藤田政府委員

左様デス

○馬岡委員

次ニ第七條ノ勅令命令事項中

ノ第五ノ會計年度ノ問題デ御尋ネ致シタイ、是ハ三月三十一日ト云フコトニ御決メニナツテ居ル、金融團體方面ノ關係モアツテ當然ダト思フノデアリマスガ、實際考ヘテ見ルト、豫算ハ事前ニ決議シナケレバナリマセヌ、是ハ幸ニシテ農閑期デアルノデ非常ニ宜イ、然ルニ出資方面ノ經濟行為ヲ行ヒマス産業組合部門デアツタモノヲ引繼ギマス部門デハ、會計年度ガ終了致シマスト直グニ決算ヲヤラナケレバナリマセヌ、併シ一般ノ團體ハ決算ハ翌年ノ通常總會マデ持越シテ居ツテ、ソコデ報告スルヤウニナツテ居ルノデアリマス、是ナラバ宜イノデアリマ

スガ、經濟行為ヲ行ヒマス團體トシマシテハ、ヤハリ會則ニ決算期ヲ定メテ置イテ、相當期間中ニ之ヲ總會ニ諮ツテ此ノ會ノ會務ノ狀況ヲ知ラシメルコトガ最モ宜イノデアリ、斯クシナケレバ監督上ニモ困ルダラウト思フ、然ル所サウ致シマス、是ハ四月乃至五月ニ臨時總會ト申シマスルカ、總會ヲ開カナケレバナリマセヌ、此ノ北カラ南ハ非常ニ長イ日本ノ地域カラ言ツテ一概ニハ申セマセヌガ、大體四、五、六ノ三箇月ハ最モ農繁期ノ時期デアラウト思ハレル、此ノ時ニ農業團體ガ殊更ニ人ジ寄セテ會議ヲ開カネバナラヌト云フコトハ、餘リ實情ニ副ハナイヤウニモ思ハレル、就キマシテハ、是ハ何トカ御考ヘテ御持チニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シタイ、私ト致シマシテハ、成ベクナラバ會則ノ上ニ之ヲ決メテ、サウシテ七月勿々ト云フコトニデモスルカ、六月終リニデモスルカ、地方ノ實情ニ依ツテ最モ速カニ最モ適宜ニ此ノ決算報告ヲサナシムルヤウナコトヲ、勅令カ命令事項ニ御

入レ願フコトガ非常ニ指導上宜シクナイカト思ハレルノデ御尋ネスルノデアリマス

○石黒政府委員

只今ノ問題詢ニ御尤モデアリマシテ、農村ニ於ケル此ノ種團體ノ事業ノ運営ハ、努メテ農村生活ノ實情ニ即スルヤウニ致サナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、只今ノ御注意ノ點ハ如何ニモ左様ナコトカト思ヒマスノデ、左様ナ風ニ取ツラヒタイト考ヘマス

○馬岡委員

次ニ命令事項ノ第七ニ付テ御

尋ネ致シタイ、會員ノ持分、貯金ノ管理、剩餘金ノ處分ト云フコトガ第七デ規定サレルヤウニ拜見スルノデアリマス、然ルニ大體現在ノ産業組合ニ於キマシテハ、任意脱退若シクハ自己ノ意思ニ依ツテ脱退スル場合ニハ、出資金ダケヲ拂戻スコトニナツテ居ルノガ多イヤウニ心得テ居リマス、然ルニ今度ノ附則ヲ見マスルト、資格消滅ニ依ツテ當然自己意思ダクシテ脱退シナケレバナラヌ場合ガ起ツテ來ルノデアリマス、又自己意思ニ依ツテ脱退スル場合モアルノデアリマス、サウ致シマスルト、皆出資ダケト言ヒマス餘リ苛酷デ、持分ノ拂戻シヲシテヤラナケレバナラヌモノモアルカノヤウニ考ヘラレマス、又出資ダケデモ宜イカノヤウニモ考ヘラレモノモアルノデアリマス、是等ノ點ニ付テハ別段ノ規定ヲ御設ケニナルノデアリマス、若シクハ又在來ノヤウニ、資金ヲ殘ス爲ニ出資金ダケト云フ風ニ御決メニナリマスカ、御尋ネシタイ

○重政政府委員

大體現在ヤツテ居リマス

ヤリ方ヲ踏襲致シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、只今御述べニナリマシタヤウナ問題ニ付キマシテハ、會則等ニ依ツテ

適宜ニ決メテ行クコトノ出來ルヤウニヤリ
タイト考ヘマス

○馬岡委員 次ニ第十一條ノ命令事項中デ
御尋ネ致シタイ、第十一條ノ命令事項ノ一、
二ニハ、營利ヲ目的トセザル團體ト云フヤ
ウナ、先程御尋ネシタ團體ガ此處ニ現ハレテ
居ルノデアリマス、是ハ大體營利ヲ目的ト
セズ團體デアリマスカラ、現在ノ町村ニア
リマス農事實行組合デアルトカ、養蠶實行
組合ト云フモノハ當然デアリマスガ、主婦
會、青少年團、軍人會、壯年團等マダ教化
的ナ團體ガ色々殘ツテ居ルノデアリマス、
是等ノ團體ガ相當ヤハリ會員ノ鍊成トカ色
色ノ關係上、生産ニモ又販賣、購買ニモ相
當携ヘル部面ガ多イノデアリマス、是等ノ
點ニ於キマシテモ、是等ノ團體ハ大體皆認
メラレルノデアリマセウカ、御尋ネ致シタ
イノデアリマス

○石黒政府委員 只今ノ御尋ネノヤウナ團
體ニ付キマシテハ之ヲ認メタイ考ヘデゴザ
イマス

○馬岡委員 次ニ同ジ條項ノ第三ノ信用事
業ノ員外利用ノ點デ御尋ネシタイ、是ハ家
族貯金、團體貯金ノ出來ルコトハ大體分ル
ノデアリマスガ、茲ニ貯金デナクシテ、是
等ノ團體ノ基金デアルトカ、若シクハ歲計
金デアルトカ云フモノモ預リ得ルノデアリ
マセウカ、尤モ此ノ問題デ内務省方面トハ意
見ヲ異ニサレテ居ルラシイノデアリマスガ、
事實ハ町村ノ歲計金モ殆ド村ノ産業組合デ
御預カリシテ居ル組合ガ多イノデアリマス、
是等ガ今直ニ代ルト、非常ニ難カシイ部
面ガ起ツテ來ヤウト思フ、大體是ハ貯金ト
シテ取扱ヒ得ルノデアリマセウカ、此ノ點
御尋ネ致シタイ

○石黒政府委員 取扱ヒタイト考ヘテ居リ
マス、殊ニ今御話ノヤウニ、從來其ノ實績
ガアルトスレバ尙更ノコトデアリマス

○馬岡委員 次ニ團體ノ地區ノ問題デ御尋
ネ致シタイ、特別ノ場合ハ市町村ノ區域ニ
依ラナイコトハ許サレテ居ルノデアリマス、
然ルニ甲ノ村ハ全部デアルガ、乙ノ村ハ一
部産業組合ニ加入シテ居ル、又是等ノモノ
ガ信購販利ノ以外ニ醫療事業マデ執リ行ツ
テ居ルト云フ一部落ガアルト致シマス、今
度ノ法案ニ依ツテ之ヲ持ツテ來ルトスト、
今度ハ反對ニ農會ダトカ、養蠶組合トカ、
畜産組合マデ持ツテ來ナケレバナラヌコト
ニナル、サウスルト茲ニ甲乙兩村ノ間ニ非常
ナ問題ガ起ルト思フ、斯ウ云フ場合ニ於キ
マシテハ、是ハ現在ノ定款ニ依ツテ分離ナ
サシメルト致シマス、出資金ダケシカ分
ケテ貰ヘナイ、然ルニ是ハ法的ニ起ツテ來
タ問題デアルガ、已ムヲ得ナイ離脱デアラ
ウト思ハレマス、若シ是ガ圓滿ナル協議ガ
纏マラナイデ分離スルト致シマス場合ナン
カハ、ヤハリ是等ニ對シテハ特分ヲ拂戻シ
テヤルト云フヤウナ特別規定ガ、此ノ法案
ニ於テ親心ヲ示シテヤツテ戴カナイト困ル
ト思ヒマス、ソレニ付テ御考ヘハドウナツ
テ居リマセウカ、伺ヒタイ

○重政政府委員 洵ニ御尤モナ御意見デア
リマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、適
當ニ出資金以外ノモノヲ拂戻シガ出來ルヤ
ウナ處置ヲ講ジタイト考ヘマス

○馬岡委員 其ノ次ニ第十一條第一項第四
號ノ、會員ニ必要ナル農業用物資ノ範圍デ
アリマス、是ハ御分リニクイコトデアラウ
ト思ヒマス、御言明ハ難カシイ問題デア
ラウト思ハレマスガ、是ハ廣義ニ解釋スル

ノト狹義ニ解釋スルノト非常ニ問題ノ岐レ
ル點デアリマス、又私共携ツテ居ル者トシ
テハ、非常ニ是ガ苦痛ニナリ、或ハ有難ク
感ズル場合ガアルト思ツテ憂フルノデアリ
マス、極端デハアリマスルガ、普段ハ兎モ
角モ現在ニ於キマシテハ、酒ハ嗜好品デナ
クシテ、農村デハ必需物資ニナツテ、生産
資材ノヤウニ私共ハ考ヘラレルノデアリマ
ス、酒スラ左様ニ考ヘラレルヤウナ次第デ
アリマスガ、私ハ酒ヲ入レヨト言フノデハ
アリマセヌガ、此ノ生産資材ハ相當廣ク御
考ヘヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
ガ、廣義ニ解釋シテ差支ヘナイカドウカ、
御尋ネ致シタイ

○重政政府委員 洵ニ御尤モナ御意見デア
リマスガ、實ハ御說ノアルヤウニ、所謂專
用物資ナンカハハツキリ致シテ居リマスガ、
所謂汎用物資ニナリマスルト、私共ノ考ヘ
方ト、ソレカラ又政府部内ニ於キマシテモ
他ノ方面ノ考ヘ方ト云フモノハ自ラソコニ
考ヘ方ノ多少ノ食違ヒモアルノデアリマス、
御述ベニナリマシタヤウニ、中々此ノ限界
ハ難カシイ所デアリマスガ、私共ト致シマ
シテハ、差支ヘノナイ限りハ出來ルダケ廣
義ニ解釋致シタイト考ヘテ居リマスガ、具
體ノ問題ニナリマス、吾々ノ所ダケデ
之ヲドウト云フ風ニ考ヘマシテモ、實ハ政
府部内全體トシテ一致シテノ解釋ニナリマ
セヌト、實際問題ハ中々ソレニ依ツテ運行
致サナイト云フコトニ相成リマスノデ、ソ
レ等ノ點モ十分御承知ノコトトハ考ヘマス
ケレドモ、サウ云フ趣旨ニ於テ吾々トシテ
ハ出來ルダケ廣ク解釋ハ致シタイト云フ心
持ヲ持ツテ居リマス、御諒承ヲ戴キタイト
考ヘマス

○馬岡委員 第十二條ノ第二項ニ依リマス
ルト、最近盛シニ純農村ガ市ニ合併サレマ
シテ、農村時代ナラ四種兼營ノ組合ノモノ
ガ、今度市民トシテ市街地住民ノヤウナ形
ニナルモノガ多イノデアリマス、是ノ農村
問題トシテハ大問題デアラウト思ハレルノ
デアリマスガ、取敢ズ此ノ團體統合ニ依リ
マス際ニハ、是等ノ組合ガ此ノ一地區ヲ一
ツノ農業會ノ一地區ト認メラレルヤウナ御
心持ガオアリニナルノデアリマセウカ、若
シオアリニナルトスルナラバ、適當ナ命令
ノ各事項中ニ指示致シテ戴キタイト思フノ
デアリマス

○石黒政府委員 從來ノ獨立シタ農村ガ市
等ニ合併セラレマシタヤウナ場合ニ於キマ
スル只今御話ノヤウナ事態ハ、相當ニア
ルト思フノデアリマス、是ハヤハリ實情
ニ即シマシテ、左様ナ市ノ區域内ニ於
ケル農業會ノ範圍ト云フヤウナモノハ
考ヘテ參リタイト思ヒマス、尙ホ序デゴ
ザイマスガ、都市近郊ノ農村ノ合併ニ
付キマシテハ、ソレガ何カサウアルベキ明
確ナル理由ノアリマス場合ニハ格別ノコト、
サモナイ場合ニ於キマシテ、漫然ト合併ガ
行ハレルト云フコトニ付キマシテハ、マダ
公式ニ話合ツテハ居リマセヌケレドモ、極
メテ非公式ニハ、内務省方面ノ係官トモ、
左様ナ場合ニ付テハ、相成ベクハヤハリ農
村ノ維持ノ爲ニ差控ヘルヤウニ致シタイ、
ト云フヤウナコトモ話合ツテ居ルヤウナ次
第デゴザイマス

○馬岡委員 次ニ第十四條ノ會員ノ資格ニ
付キマシテ、此ノ法文カラ見マス「農業
ヲ營ム者」ト云フノガアリマス、此ノ範圍ハ
非常ニ解釋ガ難カシイノデ、命令事項ヲ拜

見シマス、色々御説明ニナツテ居リマス、同僚カラモ此ノ問題ニ付テ御尋ネモシテ居ルノデアリマス、併シハ數ノミニ因ハレルコトハ非常ナ妙ナコトニナリハシナイガラウカ、耕地ハ一反歩ヲ認メルノデア

テ居ルモノ以外ノモノニ付キマシテモ、同ノ考ヘ方決定ヲ致シテ行ツタラドウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

ルガ、土地ヲ所有シテ居ルト一歩デモ宜イヤウナ形ニナツテ居リマス、斯ウ云フコトハ、實際ハ耕地ヲ耕作スルノガ農業ノ本義デアラウト思ハレマス、此ノ農業ヲ營ム者ノ上カラ考ヘテ、耕作ヲスルト云フ所有面積ハ、實際ニ即シタナラバ、數デ制限シナイ方ガ宜クハナイデアラウカ、斯ウ思フノデアリマス、又牧野トカ原野ト云フノハドレダケヲ牧野ト看做シ、ドレダケヲ原野ト看做サレノカ、此ノ面積モマダ御指示ガナカツタヤウニ思ハレルノデアリマス、是等ノ點ニ付テハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、洵ニ重ネ、ノ質問デ恐レ入ルノデアリマスアレドモ、ハツキリト一ツ御教ヘヲ願ヒタイ

○馬岡委員 能ク分リマシタ、極ク僅少ナ例デアリマセウト思ヒマスガ、耕地ハ九畝半程耕作シテ居ル、併シ一面豚モ僅カ飼ツテ居ル、養蠶モ半枚位ヤツテ居ル、雞モ相當飼ツテ居ル、サウシテ主人ガ學校教師或ハ驛員ダト云フ農家ガ相當アルノデアリマス、ソコニ其ノ人ニ依ツテ規定サレルト、斯ウ云フ風ニ難カシクナルノデアリマスガ、農家經營ヲ綜合的ニ考ヘマスト、是等ハ純然タル農業者、農業ヲ營ム者ト申サナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、此ノ規定カラ見マスト、ドウモ今マデ農會法ヤ其ノ他ノ會法ノ缺點ト云フト或ハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、言葉決メタ爲ニ行渡ラナカツタ點バカリ寄セ合セ、附合セタヤウデ、眞ノ農村生活ニ合ハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、是ハ御考ヘ直シ願ヘナイノカ、アトデ一點御尋ネスル問題ガアリマスカラ重ネテ御尋ネ申上ゲテ置キマス

○重政政府委員 是ハ先日モ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、零細ナル耕地ヲ耕作致シテ居リマス、或ハ又極メデ僅カノ養蠶ヲ致シテ居ルト云フヤウナモノマデモ、強制的ニ加入ヲ勸メルト云フコトハ、少シ行過ギハナイカト云フ考ヘカラ致シマシテ、サウ云フヤウナ零細ナル農業ヲ營ム者ハ一應除外ヲ致サウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、土地ノ所有ニ付キマシテモ、僅カナ耕地ヲ所有致シテ居ルト云フヤウナモノマデモ強制ヲ致ス必要ハナイガラウト云フ考ヘカラ、此ノ會員ヨリ除外スルモノヲ定メタ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、既ニ農會等ニ於キマシテ從來定メラレ

次ニ今度ハ第十四條ノ第一號、二號、三號ノ會員ガ出資ヲシナケレバナラナクナツタノデアリマス、然ルニ第三十六條ニ於テ、除外規定デ、會則ニ決メレバ不在地主ハ入ラナクテ宜イト云フヤウナ字句モアルノデアリマス、又同僚杉山君ニ對スル御答辯ニハ、何レ入ツテモ三重ニモ五重ニモハ入ラヌノダト云フ御答辯ガアツタノデアリマス、ドウモ此ノ不在地主ト云フ問題ハ難カシイ問題デアリマス、是ハ到ル處デ會員ニナラシメテ出資ナサシメテ經濟行爲ヲサセマスト、色々ナ問題ガ起リハシナイカ、斯ウ云フコトモ心配サレル點

モアリマス、色々爭議其ノ他ノ問題ノ根本ヲナスヤウナ點ガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、是等ハ宜シク課稅ヲシ負擔ヲナサシメルガ、不在地主ハ居住者以外ノモノハ入レナイノダ、斯ウ云フ風ニ負擔ハサスガ、出資方面ニハ加入サセナイノダ、ト云フ風ニ御考ヘ願ツタ方ガ宜クハアリマセヌカ、此ノ點御當局ノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○重政政府委員 出資ノ關係ハ大體御趣旨ノ通りニ考ヘテ居リマス、加入ノ關係ハ、耕地ヲ所有シテ居ル土地ノ農業會ニハ皆加入スル、二重三重ニ不在地主ハ入ルコトニナリマスガ、出資關係ハ住所ノ農業會ニ對シテ出資ヲナサシメル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○馬岡委員 能ク諒承シマシタ、次ニ今度ハ同一村内地主土地ヲ持ツ者ガ出資ヲセナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、然ルニ是ハ一見シマスト宜イヤウニハ見受ケラレルノデアリマスガ、實際此ノ土地ヲ持ツテ居ル者ニ負擔ヲサスト云フダケデアリマス、存外樂ナノデアリマス、併シ之ニ愈、強制的ニ出資ヲサセナケレバナラナイトシテ考ヘマス時ニ、所有者ハ隱居シテ居ツテ、事實ハ其ノ子ノ所有デアアルガ、名義ガ變ツテ居ナイト云フモノガアル、又民法上ノ遺留處分ニ依ツテ殘ツテ居ル土地ガアルノデアリマス、登記面デハ賣買シテ居ルガ、事實ハマダ名義ガ公簿ニ殘ツテ居ルト云フヤウナ實例モアルノデアリマス、又稅務署、登記所及ビ役場ノ過誤ノ爲ニ、賣買ノ際ニ名義ガ移ツテ、事實ト權利ガ變ツテ居リナガラ、公簿ニ殘ツテ居ツテ事實其ノ地主ノ土地ノナイヤウナモノモアリマス、

甚ダシイノニナリマス、ヨク鐵道敷地トカサウ云フモノニハ、殆ド鐵道省ノ所有デアアルト言ハレテ居リナガラ、極ク僅カノ土地ガマダ名義ガ殘ツテ居ルモノガ多イノデアリマス、自分ノ土地ガナイカラト云ツテ探シニ行ツタガ、鐵道敷地ニナツテ居ツテ分ラナイト云フモノガ事實アルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ農會方面トカ町村役場デ處理シテ居リマシテ、幸ニシテ千圓未滿ノモノハ存外樂デアリマスガ、相當纏マツタモノハ實ニ困ツテ居ルノデアリマス、モウ一ツ相當土地ヲ持ツテ居ラレル家庭ニ於テハ、時ニ依ルト家族ノ名義デ幾ツニモ分ケテ居ラレルコトガ多イノデアリマス、是等ガ皆農業ヲ營ム者トシテ出資セネバナラナイトスルト、同一家庭ニ幾ツモノ出資者ガ生ジテ來ルノデアリマス、是等ニ付テハ、ドウモ私モ考ヘテ見マスト、此ノ法律ハ歐米流ノ人ト物トノミヲ考ヘラレル唯物主義カラ來テ居ル法律デアアル、我が日本ノ農家農村、農民ト云フモノハ一ツデアアル、所謂百姓昭和田日本ノ姓氏、氏素姓ハ皆職業カラ來テ居ルト云フコトヲ教ヘラレテ居リマスガ、百姓ト云フ如ク農家ト云フモノハ家ガ根本デアアルヤウニ思ハレマス、其ノ上カラ考ヘルト、家長其ノモノ、鉅頭其ノモノガ出資ヲシテ、サウシテ此ノ農業團體ノ發達ニ協力シ即應シテ行ク、斯ウ云フ風デナク一軒ノ中ノ家内モ親父モ皆出資者ダ、會員ダト云フコトニナリマス、ドウモ世ノ中デ世帯ガ分レタリ、財布ノ口ガ幾ツモニ分レル家庭ハ碌ナモノデハナイヤウニ思ヒマス、私ニハ是ハソレヲ強ヒルヤウニ思ハレルノデアリマス、サウ云フ心配ガアル、是ハ何トカシテ家ヲ本位トシテ出資方法ニ

是ハ何トカシテ家ヲ本位トシテ出資方法ニ

是ハ何トカシテ家ヲ本位トシテ出資方法ニ

是ハ何トカシテ家ヲ本位トシテ出資方法ニ

是ハ何トカシテ家ヲ本位トシテ出資方法ニ

直シテ戴ケナイモノデセウカ、御意見ヲ承
リタイト思ヒマス

○石黒政府委員 從來カラ産業組合或ハ漁
業組合ノ如キモサウデアリマスガ、法令ノ表
面ヲ見マス、如何ニモ個人々々ヲ相手ニ
シテ居ルヤウニ見エマスケレドモ、事實運
ニ於キマシテハ、是ハ日本のニ戸主或ハ世
帯主ト云フヤウナモノヲ對象ニシテ運
致シテ居ルノガ從來ノ實情デアリノデア
リマス、今御話ノヤウナ場合ニ於キマシ
御説ノ如ク世帯主ガ出資ヲ致セバ宜イヤ
ウニ取扱ヒタイト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 其ノ次ニ永小作權、賃借權、
地上權、ヤハリ之ニハ一定面積ノ制限ガ
アリマス、之ニモ實際ニナツテ參
リマス、小サナモノデ地上權ヤ永小作權
ヲ持ツテ居ル者ガ存在スル場合ガ多イ
アリマス、殊ニ是ハ不在地主方面ニモ
思ヒマス、斯ウ云フ方面ニ於テモヤ
ハリ零細ナモノハ省カレル御見込デア
リマス

○重政政府委員 同様ノ趣旨デ考ヘテ居
リマス

○馬岡委員 其ノ次ニ第十五條ノ命令事項
中ノ一ノ後段ニ「實情ニ即シ」ト云フ言葉
使ハレテ居ル、是ハ非常ニ良イ言葉デア
リマスガ、是ガ愈々法文化スル時ニモ、
サウ云フ風ニ判然タル言葉ガ現ハレル
セウカ、ドウモ實際上ハ「實情ニ即シ」
フノハ中々難カシイ問題ヲ起スコトガ
アルノデアリマス、今日ハ是デ簡單ニ
片付クデアウト思ヒマスガ、此ノ法律ヲ
將來運用スル場合ニハ非常ニ色々問題
ガ派生シテ來ルノデアリマス、殊ニ最
近内務省ノ御方針ノヤウニ、農村ヲ
シノト市ヘ抛リ込

マレテ、サウシテ多年蓄積シタ所ノ農村
基礎ヲ固クシテ居ツタ基本財産、又政
府補助、色々ナリサヘ随分平氣勝手ナ
コトヲヤツテ居ラレル内務省ガアリト
シマス、餘程此ノ法律ヲハツキリ決メ
テ戴キマセスト、是ハ養蠶實行組合ノ
方面カラ見マスナラバ、養蠶者ノ上カ
ラ、産業組合ノ經濟行爲ノ上カラ見マ
スナラバ、純農村者ノ立場カラ、非常
ニ多數ニ壓倒サレルヤウナ心配ガ起
ツテ來ルコトガ多イノデアリマス、特
ニ此ノ點ノ「實情ニ即シ」ト云フ言葉
ハ非常ニ有難イノデアリマスガ、之ヲ
法文化スル時ニハ、將來疑義ノ起ラヌ
ヤウニ御決メテ願ヒタイ、是ハ唯御願
ヒ止メテ置キマス

其ノ次ニ第十九條ノ命令事項中ノ十一
ニ貯金ノ管理ニ關スル規定アル、此ノ
規定ハ現行ノ農村金融ノ規定、改正サ
レタ産業組合ノ支拂準備金ノ運用方法
等ヲ意味サレルノデアリマス、又新タ
ニ命令デモ出サレルノデアリマス、又
産業組合方面デヤリマス使用料、手
數料、購買販賣、賦金ノ徵收等ニ關ス
ル規定ハ、此ノ十條ノ何處デ御決メ
ニナルノデアリマス、是ハヤハリ總會
ニ掛ケシメルトカ、役員デ決メルト
云フコトヲ御決メテ願フ必要ガアラ
ウト思フノデアリマス、是モ念ノ爲
ニ御尋ネシテ置キマス

○石黒政府委員 是ハヤハリ從來通リノ
意味ニ於ケル貯金ノ管理ニ關スル規定
デアリマス、尙ホ此ノ手數料、使用料
等ノコトニ付キマシテハ、此ノ會則ト
致シマシテハ業務ノ執行ニ關スル規
定、或ハ會計ニ關スル規定ニ於テ行
フベキモノダト考ヘマス、或ハ具體
的ニハ全部サウ云フモノヲ會則ニ

決メナケレバナラナイコトハナカ
ツタカト覺エテ居リマス

○馬岡委員 第二十條ニハ「會則ヲ以テ別
段ノ定メ爲スコトヲ得」アル、是ハ會
則デ決メタルノ定メ區々デアラウト
思ハレマスガ、大體會則ヲ作ツテ認
可ヲ受ケマス必要ガアリマス、其ノ
認可ヲ受ケマス場合ノ程度、即チド
レ位ノ口數ガアレバ決議權ヲ殖ヤサ
スト云フ御意見ガアルノデセウカ

○重政政府委員 是ハ大體現在私共ノ心
持デハ、全體ノ議決權ノ十分ノ一ヲ限
度トシテ認メテ行ツタラドウカ、是
ハ他ノ團體法ニモサウ云フヤウナ例
モアリマス、サウ云フ風ニ致シタラ
ドウカト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 第二十七條ニハ副會長、理
事、監事若干名トナツテ居ル、是ハ地
方ノ實情ニ依ツテ一定スル御積リデ
ハナイト考ヘテ居リマス、併シ支部
ノ理事ハ別ト致シマシテ、參與理事
ト云フヤウナモノガ相當必要デア
ラウト思ヒマスガ、是ハ地方ニ依
ツテ許サレルノデアリマス、又、監
事ハ非常ニ難カシイノデアリマス、
最モ限度商法ノ規定マデハ宜シイ
ノデアリマス、又評議員ノ資格、權
限ハ地方々々得手ニ會則デ決メレバ
宜イノデアリマス、其ノ評議員ノ資
格、權限ニ付テモ當局ニ於テハ何カ
御考ヘテ持ツテ居ラレルノデアリ
マス、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○重政政府委員 御説ノヤウニ理事及
び監事ニ付キマシテハ、ヤハリ地方
ノ事情等モ色々アルコトト考ヘマス
、是等ノ人數等ニ付テハ具體的ニ各
地方農業會ニ付テ考ヘタイト思ツ
テ居リマス、ソレカラ評議員ノ資
格、權限ニ付キマシテハ是モ大體
現在ノ帝國農會其ノ他色々團體ニ
付テモ評議員ガ

居リマス、サウ云フヤウナモノヲ十分
參酌致スコトニシテ居リマス、此ノ
法案ニ於テノ評議員ヲ特別ニドウ
スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居
リマス

○馬岡委員 第二十九條ノ市町村ノ農
業會會長ハ總會ノ推薦ニ依ツテ市
町村長ノ意見ヲ徵シテ地方長官ガ
任命スルトアルノデス、是ハ法規
ニ書クト簡單デアリマスガ、常識
的ニ考ヘマス、市町村長ガ推薦サ
レタ場合、是ハ代ツテ助役ノ意見
ヲ徵スレバ宜イコトニナラウト思
ヒマスガ、此ノ意見ヲ聽取ハ普通
ノ問題トハ變ルヤウニ考ヘラ
マス、現在法規ニ依ツテ助役モ市
町村長ノ推薦シタ助役デアリマス、
斯ウ云フ場合ニハドウナルノデア
リマス

○石黒政府委員 是ハ市町村長ガ推
薦ヲ受ケマシタ場合ニ於キマシテ
モ、別途其ノ人ガ市町村長トシテ
ノ立場カラ意見ヲ出スト云フコト
デアリマス、又、私ハ考ヘテ居リ
マス、御承知ノヤウニ意見ヲ徵ス
ルト云フノハ、地方長官トシテ徵
スルノデアリマス、左様ニ運營サ
レテ差支ナイノデハナイカト一應
私共考ヘテ居リマス

○馬岡委員 次ニ第三十條ノ役員ノ
年限規定デアリマス、是ハ補關選
舉ニ依ル者ハ新シキ年限トスル
ノデアリマス、會則デ殘存期間ト
スルト決メレバソレデ宜イノデア
リマス、此ノ點ヲ承リタイ

○重政政府委員 大體殘存期間中
ト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 第三十一條ノ勅令規
定ガアルノデアリマス、此ノ地方
農業會ニハ指導職員ト經濟部門
ノ職員ノ區別ノ判然シナイモノ
ガアルノデアリマス、斯ウ云フ
場合ニ賦課金等トカ何トカガ一寸
分リニクイ場合ガ、

實際ハ下部ニ行クトアラウト思フノデアリマス、役職員ノ經費ニ付キマシテハ經濟部門ト指導部門、サウ云フ場合ニ色シナ問題ガ起リハセヌカ、極端ニ考ヘマスルナラバ、是等ノ問題ヲ以テ地方長官ニ、ウチノ會長ハ勝手ナコトヲスル、法規ニ決メテアルノニ、之ヲ經濟部門デヤツタノダト喧嘩ガ起ツテ來ナイトモ限ラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テ會長ガ宜シクナイト言ツテ處分ヲサレタリ戒飭サレルト云フヤウナ問題ガ起ルト困ルノデアリマス、是等ニ付テハモウ少シ何カ判然ト分ルヤウニ決メテ戴クコトガ宜カラウト思フノデアリマスガ、何カ御考ヘヲ御持チデアリマセウカ

○重政政府委員 御説ノヤウニ細カイ問題ニナツテ参リマス、色々團體ノ部内ニ於テモ意見ガ異ルト云フヤウな場合モ起ツテ來ルダラウト思ヒマス、併シソレニ依ツテ會長ノ地位ヲ何トカスルト云フヤウナコトニハ私ハ萬々ナラヌト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ御懸念モアリマシレバ、出來ル限り私共ノ方モ研究致シマシテ、細カク定メテ置クコトニ致シタイト考ヘマス

○馬岡委員 第三十四條ノ第四項ノ「勅令ノ定ムル所」トアルノハドウ云フ點ヲ御指示ニナルノデアリマセウカ

○重政政府委員 實ハ此ノ三十四條ノ第四項ノ勅令ハ當分ハ出サズニヤツテ行ツタラドウカト云フ心持デ居ルノデアリマス、色々研究スルコトモ多イモノデアリマスカ

○馬岡委員 分リマシタ、其ノ次ニ第三十六條ノ括弧ニニキマシテ出資金ガ二十圓ト限定サレテ居リマス、現在ノ經濟機構ノ上カラ、貨幣價值ノ上カラ二十圓ハ餘リ

ニモ少イ數字デナカラウカトモ考ヘラレマス、又現在デハ此ノ出資部面デハ、相當多額ノ一口數金額ヲ持ツテ居ルヤウニモ心得テ居リマス、假ニ茲ニ五十圓ト云フヤウナ出資口數ヲ持ツテ居ル者ガアルト致シマスナラバ、ソレ等ノ者ハ其ノ儘認メラレルノデアリマセウカ、之ヲ二十圓ニシナケレバナラヌト致シマス、茲ニ二十圓ノ端數ガ起ル爲ニ非常ニ色々ナ問題ガ起リマシテ、是ガ延イテハ持分ノ處分ニマデ影響シテ來ル事情ガ當然起ツテ來ヤウト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハドウ云フ御考デアリマスカ承リタイ

○重政政府委員 此ノ新農業團體ハ御承知ノヤウニ強制加入ノ團體デアリマス、農業者ニ對シマシテハ強制加入ヲ致スト云フコトニナツテ居リマス、隨テ出資モナサナケレバナラヌト云フコトニナリマス、餘リ多額ノ金額ノ出資ヲ強制スルト云フコトハ如何ナモノデアラウカト云フコトカラ致シマシテ、御意見ノヤウニ非常ニ少イ金額デハアリマシケレドモ、一應二十圓ト云フコトニ致シタイデアリマス、併シナガラ口數ニ付キマシテハ、私共ノ心持ト致シマシテハ制限ヲ付ケナイ、隨テ先程モ御質問ノアリマシタ決議權ノ所モ、多少從來ノ農業團體ニ關スル法令ノ行キ方ト違ヘタノデアリマス、少クトモ口數ノ制限ヲヤルト致シマシテモ、是ハ相當緩和セラレタモノデヤリタイ、出來ルナラバ口數制限ハヤリタクナイト云フ位ノ心持ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テハ御諒承戴キタイト考ヘルノデアリマス、唯只今御述ベノ事例ノ如キ場合ニ於キマシテハ、成ベク色々面倒ノ問題ノ起ラナイヤウニ、是ハ一口ノ金額ヲ決定ヲ

致シテ參ル、又持分計算等ニ付キマシテモ幸ニシテ農業團體ノ出資ハ會社等ノ例ト違ヒマシテ、拂込等ニ付テハ非常ニ便利ナヤリ方ニナツテ居リマス、萬々持分ノ拂込等ノコトハ起ラナイデコハ濟ムヤウニヤリタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○馬岡委員 重ネテ御尋ネシマスガ、サウシマスト具體的ニハ此ノ二十圓トスル、サウシマスト五十圓ノモノデアラナラバ二口半ニナルデスガ、是ハ三口ニサストカ、二口ニサスト云フ風ニナサルノデアリマスカ、現在ノ五十圓ノモノデ大體普及シテ居ルモノハ是ハ特例トシテ認メラレルノデアリマスカ

○重政政府委員 二十圓ハ出資一口金額ノ最高限度デアリマス、其ノ場合ニハ或ハ一口十圓トセラレレバ問題ハ起ラナイト考ヘルノデアリマス、此ノ制限ハ一口ノ金額ハ二十圓ヲ超エナイヤウニ致シタイト考ヘマス、若シ二十圓ト致シマスナラバ、二口ハ全額拂込デアアルガ、一口ハ半額ノ拂込ニナル、斯ウ云フコトニナルノデハナイカト考ヘマス

○馬岡委員 次ニ第四十二條デ又重ネテ御尋ネ致シタイ、昨日來度々問ハレテ居リマシタ農事實行組合ト養蠶實行組合ノ問題デアリマス、是ハ勅令ニ依リマス協力シナケレバナラヌ義務ヲ負ハサレテ居リマス、ドウ考ヘテ見テモ此ノ農事實行組合ト養蠶實行組合トハ、片務契約ミタイナ義務ハトコトシマデ負擔スルガ、加入サセテ貰ハナイデ内輪ノ加入ダ、二重加入ヲ避ケタシタト仰シヤラレマシケレドモ、ヤハリ是ハ義務ヲ負擔サセルナラバ、是モ其ノ組織ニ入レテヤツタ方ガ宜クハナイデセウカ、他ノ

商業組合ノ方デモ法人的ニ入り得ルコトニナルノニ、實際ノ手足ノ者ガソコニ入ツテ居ラヌト云フコトハ、ドウ考ヘテモ此ノ第四十二條ノ特例カラ見マシテモ餘リ妙ナ取扱方デヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスカ、重ネテ御尋ネシタイ

○石黒政府委員 四十二條ノ如キ、協力命令ノヤウナ負擔ノ方面ヲ課セラレルコトモアリマスガ、又同時ニ農業會ノ事業ニ付キマシテハ、豫テ御答ヘヲ致シマシタヤウニ、員外利用、員外貸付等ノ途モ開キタイト考ヘテ居リマス、兩々相俟チマシテ、要スルニ實質的ニハ農業會ト農事實行組合ノヤウナ團體トノ間ニハ密接ナ協力ガアル譯デゴザイマス、又左様ニ致シマシテ別段支障ナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○馬岡委員 是ハ重ネテ御尋ネシマセヌガ、コホドウモ私共ト當局ト意見ガ分レル、第八十八條ノ後段ニ依リマス解散命令ヲ發セラレマスモノニ市町村ヲ單位トシタ養蠶實行組合ガアリマス、是ハ市町村ヲ單位トシタ養蠶實行組合ニ限ツテ養蠶實行組合ガ解散命令ヲ受ケルコトニナルノデアリマス、左様ニ致シマス、他ノ市町村デハ養蠶實行組合ガ殘ツテ居ル、他ノ村デハ市町村單位デヤツタ爲ニ養蠶實行組合ガ殘ラヌ斯ウ云フ形ニナリマス、蠶絲業ノ形ノ上カラ考ヘマシテモ、今度ハ一旦解散サスガ、部落單位デ出願スレバ養蠶實行組合ヲ認メルト解釋出來ルノデアリマスカ、左様ニ解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○重政政府委員 御説ノ通りデアリマス

○馬岡委員 其ノ次ニ御尋ネ致シタイノハ、以上御尋ネ致シマシタ私ノ考ヘカラ見マスト、ドウモ經濟行爲ト、指導部門トノ

間ニ於テノ合計經理、是ハ此ノ儘デハ中々難カシイコトニナリハセナイカ、ドウシテ見テモ是ハ以前ノ府縣制ノ部合制度ガアリマシタヤウニ、部會制デモ勅令ヲ命令ニ入レラレテ、經濟行爲ノ方面ダケハ特別ノ經理ニナサル御考ヘヲ御持チニナツテ居ラナイノデアアルカ、部會制ニシテヤハリ總會モ部會制ニナサツテ置ケバ、少々面倒デアアルガ是等ノ問題ハ何等ノ支障ナシニ行クノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、之ニ對シマシテ當局ノ御考ヘハ如何デアリマスカ

○重政政府委員 經理ノ點ニ付キマシテハ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、是ハ謂ハバ特別會計トデモ申シマス、區分ヲ致シテ其ノ間ヲ明カニヤツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○馬岡委員 私人御尋ネシタイト思ヒマスルコトハ是デ大體盡キマシタ、總體的ニ此ノ國策會社ノ整理問題ト町村合併問題ニ付キマシテ、一般的ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、是ダケ留保致シマシテ私ノ質問ハ是デ打切りタイト思ヒマス

○東郷委員長 宜シウゴザイマス——山口左右平君

○山口(左)委員 大體各委員ノ御質問デ盡キテ居ルト思ヒマスガ、二、三御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第十一條ト第五十九條ニ關聯シタコトデアリマスガ、新農業團體ノ上級團體ガ下級團體ノ指導連絡ヲナスコト云フコトニ付キマシテハ、昨日政府委員ノ方カラソレハ當然ナコトダト云フ風ナ御答辯ガアリマシタガ、之ニ付キマシテハ何カ具體的ナ措置ヲ御用意デゴザイマセウカ

○石黒政府委員 具體的ナ措置ト致シマシ

テハ、例ヘバ會則ニ其ノコトヲ記載致シマストカ、ソレカラ又實際問題ト致シマシテハ、政府ニ於キマシテ從來カラ致シテ居リマス此ノ上級團體ニ對スル、殊ニ中央上級團體ニ對シマシテ指導等ノ爲ノ經費ノ助成ヲヤツテ居ルト云フヤウナコトニ付テハ續イテヤリタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山口(左)委員 次ニ八十八條ノ受命法人ノ問題デアリマスガ、之ニハ現在産業組合中央會ノ支會、部會等法人格ハアリマセヌガ、完全ニ獨立團體トシテ活動シテ居ルモノガ載ツテ居リマセヌケレドモ、是等ニ付キマシテハ、何等カ八十八條ノ受命法人ト同様ナ取扱ヲナス御考ヘデアリマセウカ

○石黒政府委員 受命法人ト同様ナ取扱ヒト云フ譯ニハ參ラヌカト思ヒマスガ、今ノ御話ノ産業組合中央會ノ支會ノ如キハ、是ハ儼然タル存在デアリマシテ、勿論此ノ新タル統合團體ノ設立ニ付キマシテハ、十分ニ其ノコトニ參畫シテ貰ヒタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山口(左)委員 只今支會ニ付テハ御明確ナ御答辯ヲ戴キマシタガ、尙ホ郡部會、市部會ト云フヤウナモノガゴザイマスガ、之ニ付テモ大體同ジヤウナ御措置デアリマスカ

○石黒政府委員 左様デゴザイマス

○山口(左)委員 其ノ御取扱ニ付キマシテ、何カヤハリ具體的ナ御措置ヲ御講ジ下サイマスデセウカ

○重政政府委員 法令的ニ具體的ノ措置ハチヨツト講ジ兼ネルノデアリマスガ、事實上ノ問題ト致シマシテハ、勿論新團體ヲ設立致シマスニ付キマシテ色々ノ準備等ノ手順モアリマスノデ、ソレ等ノ際ニ於キマシ

テハ、當然具體的ニ措置ハ講ゼラレルコトト考ヘマス

○山口(左)委員 大體今ノ點ハソレデ諒承致シマシタ、次ハ十六條ノ勅令事項デアリマスガ、此ノ勅令事項ノ中ニハ市、町、若ハ村ヲ超ユル場合ニ於テハ市、町、若ハ村及之ヲ超ユル區域内ノ「云々」書イテアリマシテ、新農業團體ガ市町村區域ヲ超ユル場合ノミ想定サレテ居ルヤウデアリマスガ、市町村區域ヨリモ小サイト云フヤウナ場合ニモ、ヤハリ是ト同ジヤウナ御趣旨デ御取扱ニナルノデアリマセウカ

○藤田政府委員 是ハ特別ノ場合ニ農業會ガ一市町村以上ニ互リマス場合ノコトヲ書イタノデアリマシテ、サウ云フ場合ニハソレゾレ其ノ市町村内ノ者ノ三分ノ二、ソレカラ入リマス他ノ區域ノ者ノ三分ノ二、斯ウ云フ風ニ分ケテヤラシタ方が適當デアラウト云フ趣旨デゴザイマス、隨ヒマシテ一市町村ノ中デアリマス場合ニ、之ヲ小分ケスルト云フコトハ考ヘテハ居ラヌ次第デアリマス

○山口(左)委員 大體條文ニ關スル質問ハ此ノ程度デ終リマス、一般關係事項ハ保留致シテ置キマス

○東郷委員長 恒松君

○恒松委員 私人質問ハ町村長ノ町村內農業會ノ會長兼務ノ問題ニ付キマシテ、實ハ內務省ニ質問致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、內務大臣若シクハ次官ノ御出席ヲ待ツテ質問シタイト思ヒマス

○東郷委員長 內務當局ノ御出席ヲ求メテアリマスケレドモ、他ノ委員會等デ差支ヘテマダ御見エニナリマセヌカラ、出席ノアツタ場合ニ質疑ラシテ戴キマス——吉田正

君

○吉田(正)委員 私人法文上ノ直接ノ質問事項ハアリマセヌ、關係事項デアリマスカラ

○東郷委員長 ソレデハ間宮成吉君

○間宮委員 關聯事項ヲ御許シ願ヘマスカ

○東郷委員長 一寸待ツテ下サイ、マダ直接ノ質疑ガ殘ツテ居ル方ガアリマスガ、ソレハ大臣ノ出席ヲ必要トスル方デアリマス

シシマスカラ、法案直接ノ事項ニ付テハ、大體二、三ノ方ヲ殘シテ一應終了致シタイト思ヒマス、ソレデハ引續イテ法案ニ間接ニ關聯スル事項ニ付テハ質問ヲ始メルコトニ致シマス——間宮君

○間宮委員 今度ノ農業團體法案ガ生産物

增強ニ關シマスル一ツノ重要ナ手段デアルト云フ點カラ、農業生産力擴充ニ關シマスル

他ノ各種ノ問題ト此ノ法案トハ、非常ニ相關關係ガアリマスノデ、他ノ問題デ最モ重要ナル一、二ノ問題ニ付テ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、ソレカラ特ニ私一言意見ヲ申上ゲテ次官ノ御諒承ヲ得テ置キタイト思ヒマスノハ、只今御提案ニナツテ居ル法案ヲ見マシテモ、是ハ日本全國畫一的ノ法案ダト思ヒマス、中央ニ於テ詳細ナル問題マデ、或ハ施行細則等ニ依ツテ御決定ニナルト云フ此ノ重大ナル方針ヲ以テ、殊ニ

農業ノ如キ事業團體ニ關シマス組織法ヲ、斯クノ如ク本法ニ於テ詳細ニ御規定ニナルコトハ、私ハ餘リ全國ヲ畫一化シ、事業ヲ畫一化シテ、地方色ヲ活カサヌト云フ氣持ニ於テ此ノ法案ヲ作ルト云フコトガ、日本全體ノ傾向トシテ果シテ生産力擴充事業上ニ差支ヘガアルカナイカト云フ問題ニ付キマシテ、十分御檢討ガ願ヒタイト思フノデアリマス、私ハ全國的ノ斯ウ云フ組織ノモ

ノハ極メテ大綱的ノモノニ止メ、或ハ會則其ノ他ノ指導方針ニ依ツテ實際ノ仕事ヲヤルコトガ適當ナル、是ガ地方色ヲ活カシ、生産力擴充ニ資スル所以デハナイカト思フ、殊ニ農業關係ノ制度ノ問題ニ付テハ、斯ウ云フ意見ヲ御參考ニ供シタイノデアリマス、是ハ御答辯ヲ戴カウトハ思ツテ居リマセヌソレカラ私一點御伺ヒシタイト思ヒマスノハ、既ニ豫算委員會等ニ於キマシテ、農林大臣ガ御言明ニナツテ居ル米ヲ中心ト致シマスル農産物ノ價格ノ問題デアリマス、是ハ最早言ヒ盡サレ、研究シ盡サレテ、實行ノ段階ニ到達シテ居ルノダト私ハ考ヘテ居リマス、ケレドモ農林大臣ハ考慮スル、生産費ノ問題カラ色々ト研究モシテ見ヨウ、他物價トノ均衡カラモ研究シテ見ヨウ、サウシテ國家的、政治的要請カラモ考ヘテ見テ、適當ニ考慮シヨウト云フ大體ノ趣旨ヲ御言明ニナツタト承知シテ居リマス、今米ノ値段ヲ上げ、農産物ノ引合ハナイノヲ上ゲルト云フ一番ノ障礙トナツテ居リマスノハ、低物價政策ノ、米ノ値ヲ上ゲルト現實ニ大キナ支障ガアルト云フコトデアリマス、私ハ此ノ低物價政策ト云フコトハ、物ガアルト云フコト、物ガ減ラナイト云フコト、米ナラバ米トカ、農産物ガ一定限度、國民ノ要求スル程度ノ範圍ニ於テアルト云フコトガ根柢ニアツタ場合ニ於テ、低物價政策ト云フモノガ可能デ、低物價政策ニ依ツテ、必需物資デアル農産物ガ減少スルト云フコトナラバ、此ノ低物價政策ハ國ヲ誤ルモノデアリ、重大ナ誤ツタ考ヘ方デアルト私ハ考ヘテ居リマス、現在ノ情勢ハ今ヤ私ガ申上ゲルマデモナク、十分政府當局ハ御存知デアリマセウガ、此處デ價格政策ノ轉

換ヲヤラナケレバ減産ハ眼ニ見エテ居リマス、「ドイツ」ガ前大戦ニ於キマシテ食糧ノ困難ニ依リ現象ニ依リマシテ、敗戦ノ已ムナキニ至リマシタ、私ハ農民ガ今日惡條件ト戦ツテ居リマスノヲ見テ、尙且ツ此ノ米ヲ上ゲナカツタナラバ、價格政策ニ依ツテ操作サレナカツタナラバ、價格政策ニ依ツテ増産サセルノデナカツタナラバ、最早絶對量ガ減ツテ來テ、戦力増強デヤナイ、國民生活ニ不安ヲ蒙ル重大ナ問題デアルト思イマス、低物價政策ト云フモノモ自ラ限界ガアルト云フコトヲ、一ツ此ノ基礎トシテ考ヘテ戴キタイノデアリマス、ソレカラ價格政策ニ依ツテ物ガ出來ルト云フコトハ、特ニ農産物ニ於テハ一定ノ時期ヲ失シタナラバ、最早取返シノ付カナイコトニナルノデアリマス、農民ガ或ハ工業ニ轉業シ、或ハ各種ノ方面ニ離村致シマシテ農耕ヲ捨テマス、生産ガ減リマシテカラ、是ハシマツタト氣ガ付イテ、ソコデ價格操作ヲ致シマシテモ、最早效果ハナイノデアリマス、若シ效果アリト致シマシテモ、極メテ僅少デアリ、且ツ數年後デナケレバ、其ノ效果ヲ見得ラレナイノデアリマス、私ハ昭和十八年ハ此ノ限界點ニ達シテ居ルト確信シテ居ルノデアリマス

ソレカラモウ一ツ、米ヲ上ゲルノニ大キナ障礙トナツテ居リマスコトハ、國民ノ生活、下層階級ニ於テハ、——ト言ツテハ失禮デアルカモ知レマセヌガ、相當生活程度ノ低イ、收入ノ低イ方面ニ於テ、國民ノ生活ヲ脅威シテ居ル、工業或ハ農業等ニ於ケル労働者ノ賃金ガ惡循環ヲ來スト云フ考ヘ方デアリマス、是ハ勿論、サウ云フ風ニナルベキガ當然デアルト私ハ信ジマス

レドモ、現在政府ガ御執リニナツテ居ル二重價格ノ問題デアリマス、現在ノ豫算ニ於キマシテモ二億圓——一石五圓ノ四千万石デニ二億圓デアリマスガ、此ノ程度ノオ金デ以テ二重價格ヲ設定シ、供出ト兩方面ニ利用シテオイデニナルノデアリマスガ、私ハ現在ノ米ニ、例ヘバ一石十五圓値段ヲ上ゲタト致シマシテモ、一升ニ十五錢デアリマス、之ヲ二合三勺ニシテ見マス、月七升デアリマスカラ一圓五錢デアリマス、サウシテ見マス、下層——ト言ツテハ失禮デアリマスガ、貧困ノ階級ノ二千万人ニ、例ヘバ月一圓程度ノモノヲ補償シタト致シマシテモ、一年ニ二億四、五千万圓、現在ヨリモ四、五千万圓ノ程度ヲ以テ此ノ値上リハ防止スル、労働階級或ハ小産者階級ニ對スル生活ノ苦痛ハ救ヘルノデアリマス、ソレ以上ニ日本人人口ノ三分ノ二ニ當ル現在ノ大部分ノ大衆ニ於キマシテハ、月一圓カ或ハ一升十五錢米ガ上リマシテモ、今日生活費ノ向上、或ハ生活ニ不安ヲ來スコトハナイノデアリマス、又或ル場合ニ於キマシテハ、考ヘ方ニ依リマシテハ、現在ノ工業労働者ニ於キマシテハ熱練工ハ極メテ收入ガ多イノデアリマス、私ハ恐ラク二千万人ノ救済ヲシナクテモ現在ノ二億圓程度ヲ以テシマスレバ、一石十五圓ノ値上ヲシタトテ、物價竝ニ生活ニ對スル脅威ハ、ヤリ方ニ依ツテハナイト信ズルノデアリマス、斯ウ云フ氣持ニ於キマシテ私ハ是非此ノ際政府ノ勇斷ヲ以テ米ヲ上ゲテ戴キタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツノ考ヘ方ハ生産費デアリマス、生産費ヲ割出ス場合ニ、難カシイ計算ヲ農林省デ立テテオヤリニナル、此ノ考ヘ方デアリマス、現在ノ米ノ生産費ヲ割出ス考ヘ方ハ、工業生産品ト相對照シタ考ヘ方デ以テ御計算ニナツテ居ルヤウニ考ヘル、此處ニ私ハ大キナ誤リガアルト思フ、少シク理窟ニ互リマスガ、御聽取リ願ヒタイト思ヒマス、百姓ノヤル仕事ヲ工業生産品ト同様ニ考ヘルト、百姓ハ澱粉、蛋白質、脂肪、纖維等ノ製造業者ト考ヘラレルノデアリマス、サウナルト、先ヅ第一ニ工場ニ付テ考ヘレバ、農民ハ天然ノ暴威ニ曝サレ、無防備ノ大キナ工場ヲ持ツテ居ルコトニナリマス、非常ニ危險ガ存シテ居リマス、ソレカラ生産速度ニ於テ工業生産ナラバ、自分ノ自由ニ依ツテ一年ニ五回、八回、十回、二十回モ運轉スルコトガ出來マス、併シ農業ニ於テハ遺憾ナガラ年一回シカ運轉出來ナイ、隨テ農業ヲ製造業的ニ考ヘルコトハ全然誤リデアル、百姓ガ種ヲ播キ、ソレヲ成長サシテ、周圍ニ肥料ヲヤリ、耕耘ヲヤツテ、結局米ガ生ル、百姓ガ作ツタモノト云ヒマスケレドモ、百姓ハ全然之ヲ作ツテ居リマセヌ、植物ノ生理的作用ニ依ツテ、日光ト、水ト肥料トニ依ツテ植物ガ自分デ作ルノデアリマス、百姓ハ其ノ周圍ニ居ツテ看護婦ノ役目ヲスルノデアリマス、此ノ生産速度ヲ百姓ガ如何ニ研究シテモ、一年ニ五回ニモ十回ニモスルト云フコトハ出來ナイ、此ノ意味ニ於テ資本ノ回轉能率ハ極メテ低イノデアリマス、ソレカラ斯ウ云フ考ヘ方ヲ以テ致シマスルト、現在ノ肥料代ガ幾ラ、人夫賃ガ幾ラ、生活費ガ幾ラ、斯ウ云フモノバカリカラ米ノ生産費ヲ幾ラトスル觀點ハ非常ナル誤リデアリマス、之ニ天然ノ暴威ニ對スル危險負擔率ヲ大キク加味シナケレバナラヌ、全國ニハ冷害アリ、旱害アリ、各種ノ水害ガアリマシテ、全國平均反別カラ

言へバ、全反別ノ二割三割ハ毎年アルベキモノダト考ヘマス、又資本循環モ一年一回デ極メテ遅イ、百姓ハ五反ナリ、一町歩ナリ作ツテ居ル、之ヲ公定價格カラ見ルト一萬圓、二萬圓ト云フ大キナ固定資産ヲ持つテ居ル譯デアリマス、之ニ對シテ循環率ヲ、例ヘバ工業生産品ノ如ク年ニ五回、十回廻ルモノト致シマスナラバドウデアリマセウ、百姓ハ年ニ一回シカ廻ラナイトスレバ、逆比例ヲ取ツテ、三分ナラ三分ノ利率トシテ、平均五回同轉スルトスレバ三五ノ一割五分ノ資本循環ノ逆比例ヲ以テ加算シナケレバナラスト思フデアリマス、又特ニ現在ニ於テハ肥料ガ足りナイ、人夫ガ足りナイ、是等ノ凡ニル惡條件ヲ克服シテ居ル以上、惡條件ニ對スル一種ノ生産費ニ加入スベキ多クノ部面ガアルノデアリマス、斯ウ云フ方面カラ百姓ヲ考ヘテ見ルト、今マデノヤウナ唯物質的ニ機械的ニ生産費ヲ割出シテ、是デ宜イデヤナイカ、ドウニカ斯ウニカ食ツテ行ケルデヤナイカト云フヤウニ、極メテ政治的ニ原始生産者ヲ壓迫スル考ヘ方ハドウカト思フ、今日國家ノ重要ナル食糧ヲ考ヘル上ニ於テ、此ノ食糧ニ對スル生産人ノ總テ之ニ協力セシムルコトハ當然ノ見地デヤナイカト信ズルノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ生産費カラ割出シテ考ヘ方ハ間違ヒデアル、低物價政策ニ對シテモ相當考ヘル必要ガアル、社會的ニ各種ノ弊害ガ來ル場合モ、是ハ方法ニ依ツテ救済シテ弊害ナシニヤリ得ルト考ヘル、私ハ斯ウ云フ考ヘ方カラ、今日米價ヲ上ガルト云フ決斷ニ對シマシテハ、政府ハ最モ慎重ニ研究ヲシテ、二重政策ヲ採ルト云フヤウナ姑息ナ政策ヲ採ツテハ駄目デアリマス、是ハ破綻

デアリマス、斯ウ云フ氣持ニ於テ米價問題ニ對シ、私共ノ最モ信賴シテ居ル次官ノ偽ラザル御感想ヲ御聽カセ願ヒタイノデアリマス

○石黑政府委員 戰時下ニ於ケル主要食糧ノ増産ニ出來得ル限りノ成果ヲ擧ゲルベク努力ヲ致シ、又同時ニ農村ノ健全ナル發展ヲ念願ト致シテ居リマスル農林省ト致シマシテ、今日農產物價ノ問題ハ常ニ非常ナル苦慮ヲシテ居ル問題デゴザイマス、廣ク總テノ物資ニ付テ物價ノ均衡ト云フコトヲ言ヒ出シ、他ノ物資ノ價格ガ高イカラ米モ高クシタラドウダト言ヒ出シタラ、是ハ切リガナイヤウナコトデアリマスケレドモ、農產物ニ付テ見マスルト、要スルニ農家ハイツ何時デモ優秀ナ勤勞力ヲ、何レニデモ用ヒルコトガ出來ルヤウナ立場ニアルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ關係カラ申シマスルト、ヤハリ茲ニ主要ナル物資ノ生産ノ増強ヲ圖ルト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、其ノ努力ノ移動ト云フコトニ付テ法制的ナ點カラモ勿論考慮致シマスルト同時ニ、又價格的ノ方面カラモ考慮致スノガ自然ノ道デゴザイマス、左様ナ觀點カラ見マシテ今日ノ農產物價ノ關係ト云フモノハ、是ハ政府ガ物價ヲ統制致シマシテカラ今日ニ至ルマデノ色々ノ沿革的ナ経緯モアリマシテ色々ナコトニナツテ居リマスノデ、ソコニ吾等皆サント共ニ非常ニ苦慮シテ居ル問題ガアル譯デゴザイマス、唯先程御話モアリマシタ通り、今日我が國ハ低物價政策ヲ堅持致シテ居ルノデゴザイマス、是ハ申スマデモナイコトデゴザイマスガ、總力戰ノ現在ニ於キマシテハ當ニ斯クアラネバナラナイコトデアリマス、所デ低物價政策ハ申スマデ

モナク色々ノ情勢カラ、之ヲ維持シテ參ル上ニ中々困難ナル逆條件ガ多イノデアリマシテ、其ノ間ニアツテ全般トシテノ低物價政策ヲ政府ガ堅持スルニ當リマシテハ、國民生活或ハ國家生活ノ最モ主要ナル根幹的物資ニ付テ、ソコニ低物價ノ政策ヲ堅持スルト云フ筋金ヲ入レルコトニ依ツテ、全體ノ物價ノ安定感ヲ得サセルト云フコトニ致シテ居ル譯デアリマス、勿論其ノ間ニアツテ生産ノ増強ヲ圖ルト云フコトノ爲ノ考慮ハ勿論必要デアリマス、ソコデ御承知ノ如ク農林關係ニ於キマシテハ米、肥料、殊ニ化學肥料、商工關係ニ於キマシテハ鐵、石炭ト云フヤウナ最モ基本的ナ物資ニ付キマシテハ、今御話ノアリマシタ通り二重價格ニ付キマシテノ二重價格ノ制度ハ、今御話ノヤウナ御趣旨、是モ亦一面御尤モデアリマシテ、細カク計算シテ見ルト、一家ノ經濟生活ノ上カラ申シマシテモ、今御話ノヤウニ値上リニ付テハサウ大シテ響カヌト云フコトモ洵ニ左様デアリマスガ、物價政策ニハヤハリ全般ノ心理的作用ト云フモノモ考慮致サナケレバナラナイト云フコトガ、今日政府全體トシテ考ヘテ居ル所デアリマシテ、細カク計算シテ見レバ、現實ニハ大シタ影響モナイト考ヘラレマシテモ、廣ク是ガ物價其ノモノノ安定感ニ及ボス影響ト云フモノ、是ハ中々深刻考慮致サナケレバナラナイ問題デアルト云フ風ニ、今日ノ所政府トシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今日政府ト致シマシテハ、米ニ付テノ二重價格制度ト云フモノハ、是ハ先般物價ノ政策審議會ニ於キマシテ決定ヲ經テ致シテ居リマスノデ、

相當物價政策ノ根幹的ナツノ問題トシテ確定致シテ居リマス、ソレヲ變ヘルト云フコトハ中々困難デアルト存ズルノデアリマス、所デ現實ノ差當リノ問題ト致シマシテハ、色々米ノ値段ニ付テモ御話モアリマスルシ、色々モノトノ比較上非常ニ考慮スベキ點モアルノデアリマスガ、一昨年獎勵金ヲ五圓加ヘマシテ、サウシテ先ヅ是デ宜シイト云フコトデ參リマシタ、昨年ハ御承知ノヤウナ豐作デアリマスノデ、旁々今日ノ場合ニ於キマシテハ、少クトモ先ヅ此ノ邊デ然ルベキモノト云フ風ニ一面ニ於テハ考ヘザルヲ得ナイノデ、今日ノヤウナ事態ニナツテ居ル譯デアリマス、今後モ吾々モ色々一ツ研究致シテ參リタイト考ヘテ居リマスガ、左様ナコトデアリマスノデ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○問答委員 米ノ價格ノ問題ハ一片ノ答辯或ハ一片ノ質問デ終ルベキ問題デハナイ、農村ノ實情ヲ知ル者、國家ノ前途ヲ憂フル者、齊シク此ノ問題ニ多大ノ關心ト非常ナ心配トヲ持つテ居ルノデアリマス、ドウカ最善ノ方途ニ向ツテ、速カニ此ノ問題ニ付テ國民ノ歸趨ヲ明カニスルヤウナ信賴アル方策ヲ執ラレマスコトヲ切望シテ、是レ以上追究ハ致シマセヌ

次ニ伺ヒタイト思ヒマスノハ、昨日デアリマシタカ、農產物ノ集荷或ハ配給統制、是等ニ現在大キナ支障ガ起ツテ居リマスル問題ノ一點トシテ、中間手數料ト申シマスルカ、中間利潤ガ極メテ多イト云フコトヲ農民ハ非常ニ苦慮シテ居ルノデアリマス、例ヘバ實際ノ狀況ヲ見マスト、甘藷ガ原始生産者ト致シマシテ、俵ニ詰メテ驛ヘ持出シマシテ二十五錢位、ソレ

デ一反カラ八十圓カラ百圓取レマス、ソレガ例ヘバ自動車デパイ持ツテ行キマス、其ノ間生産者ト小賣トノ間ニドウ云フ段階ガアルカト申スト、二反分位、百八十圓位ノ價格差ガアルノデアリマス、斯ウ云フコトニ對シテ昨日總務局長ガ、ソレハ從來商人ガ儲ケテ居ツタ、所謂從來ト比ベテ利潤ノ程度ハ絶對ニ増加シテ居ラナイノダ、ソレカラ今日農民ガ中間利潤ガ多過ギルト云ツテ喧シク言フノハ、結局明ルミニ出タカラサウ云フコトヲ言フノダト云フ御話デアリマス、是ハ成程一應ノ考ヘ方デアリマシマス、今日從來ノ商人ノ手数料ヨリ増加セシメテ居ラナイト云フコトハ私モ認メテ居リマス、明ルミニ出タト云フコトモ、農民ハ今マデ知ラナカツタ、ソレガ今日アモ儲ケテ居ツタカト云フコトガ明ルミニ出タカラ、俺ハ中間ノ商人ニ渡スヨリ直接消費者ニ賣ル方ガ有利ダト云フコトガ、闇ヲヤル一ツノ重大ナル原因ニナツタコトモ承知シテ居リマス、ケレドモ是ハ從來ノ自由主義經濟ヲ考慮シテ考ヘ方デアリマシテ、一旦統制經濟ニナリマシタ以上ハ、從來ノ手数料ト申シマスカ、利潤ト申シマスカ、之ニ對シマスル農林省ノ考ヘ方ヲ變ヘテ戴カネバナラスト思フ、ソレハ昔相當大幅ナ利潤ガ許サレテ居ツタノハ、必ズヤ一方ニ大キナ危險ガアツタノデアリマス、或ハ持ツテ居ツテ腐ルカモ知レナイ、相場ガ下ルカモ知レナイ、運送ノ途中ニ於テ或ハ損壞スルカモ知レナイ、是等ハ總テ之ヲ買ヒマシタ者ノ利潤ヲ取得致シマス商人個人ノ責任ニ於テ負擔シテ居ツタカラ、當然ノ代償トシテ相當ナ利潤ヲ認メラレテ居ルコトハ、是ハ自由主義經濟ニ於テ當然デアリマス、所ガ現

在ニ於テハ、配給機構、配給組織ハ出來、サウシテ物が足ラヌノデアリマスカラ、買ツタモノヲ賣セテ置クトカ、貯藏シテ置クトカ、斯ウ云フ場合ノ危險モナケレバ、利息ガ掛ルヤウナ負擔モナイ、持ツテ行ツテ直チニ捌ケテ錢ニナルノデアリマスカラ、此ノ間ニ於ケル利潤ハ、少クトモ農産物ノ利潤ト云フモノハ鐵道運賃、或ハ自動車等ノ運賃ト、保險料ト、其ノ間ニ掛ル勞働賃金、之ニ要シタル資本ノ日歩等ヲ以テ換算スレバ、私ハ是レ以上ノ利潤ヲ認メル必要ハナイト思フ、少クトモ農産物ニ於ケル配給ハ、極度ニ中間利潤ヲ縮メル政策ヲ執ルノガ當リ前デアアル、サウシテ丁度一日ノ勞働賃金、一日働イテ二圓五十錢貰フナラバ、商人モ一日芋ヤ菜ツ葉ヲ寄セテ歩イテ二圓五十錢ノ日當ニナルベキ程度ヲヤルノガ宜シイ、片方ハ自由主義經濟ノ時代ノ利潤ヲ認メ、一方ニハ原價計算ダト云ツテ、百姓バカリ低イ所ニ置カレテ、中間ニ大キナ差異ガアリマスノデ、農民ハ直チニ之ヲ最後ノ消費者ノ階梯ヘ持ツテ行ツテ飛越エテ賣ラウトスル、ココニ闇ノ大キナ原因ガアル、闇ヲヤル者モ宜クナイガ、斯ウ云フ闇ヲヤラザルヲ得ナイヤウナ組織ヲ作ツテ置クコトガ宜クナイノデアリマス、ココニ大キナ考ヘ方ノ違ヒト、事實ニ於テ斯ウ云フ闇ノ横行スルヤウナ洵ニ悲シムベキ實情ガ現在ノ農村ニアルノデアリマス、私會テ村長ヲ致シテ居ツタコトガアリマスガ、薩摩芋ヲ絶對ニ公定價格ヲ賣ラナケレバナラスト云ツテ、非常ニ正直ナ人ハ一反デハ十圓位シカ取レナカツタ、家デ坐ツテ居ツテ闇ヲヤル者ハ、ソレヨリウント有利ニ捌イテ居ル、正直者ハドウシテモ馬鹿ヲ見ル

世ノ中ニナツテ居ツテ、現在デハ洵ニ農村ノ良風美俗ヲ今覆ヘシツツアリマスコトハ、此ノ中間利潤ノ考ヘ方、又此ノ設定ノ方法ニ大キナ原因ガアリマシテ、ソレガ爲ニ生産意欲ト申シマスカ、或ハ薩摩芋ヲ作ラウ、野菜ヲ作ラウト、進ンデ作ル所ノ意欲ニ非常ニ障礙ヲ起シテ居ルコトハ現實デアリマス、東京ニ於テハ分リマスマイケレドモ、斯ウ云フコトハ全國ノ農村ニ瀰漫シテ居ル、此ノ點ニ付テ一ツ明快ナル御方針ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○石黑政府委員 農産物ニ付キマシテノ中間配給ノ手数料ト問題ニ付キマシテハ、農林省ト致シマシテハ豫テカラ努メテ中間配給機構ノ利潤ハ、可能ナル限りニ於テ抑ヘルト云フノガ全般的ナ一ツノ考ヘ方デゴザイマス、之ニ依ツテ致シテ居ルノデアリマシマス、今日ノ場合ニ於キマシテ大觀致シテ見マス、或ハ尙ホ色々ト最近ニ於テモ問題ニナツテ居リマスノデ、吾々トシテモ能ク研究致シマシテ、更ニソレヲ低下サセルヤウナ餘地モ、調べマシタアルカト思ヒマス、左様ナ場合ニ付キマシテハ、努メテ斯様ナコトニ致シテ參リタイト思ヒマシマス、又全般的ニ見マスと色々ノ事情ガアルヤウデゴザイマス、一ツニハ、勿論今御話ノヤウニ、從來ノ利潤ノ範圍ヲ出デテ居ラナイト致シマシテモ、從來ハ生産者モ場合ニ依ツタラ賣ルコトガ出來ル、必ズシモ全部中間商人ヲ通ルトハ限ラナイト云フヤウナ事態ガアツタノガ、現在ハ或ル種ノモノニ付テハ配給ノ統制ヲ致シマシテ、間違ヒナク中間業者ヲ通ツテ行クト云フヤウナ場合、左様ナ場合ハ、其ノ點カラ申セバモツト利潤ヲ抑ヘテ宜シイト云フコトニナリ

マス、所デ一方今度生産量ガ假ニ減ツタ其ノ場合ニハ、生産者モ勿論其ノ場合ニ生産費ガ謂ヘバ上ル譯デアリマスガ、中間ノ配給業者ト致シマシテモ、若シ假ニ同ジ勞務、同ジ經費ヲ掛ケテ仕事ヲヤラナケレバナラスト云フ場合ニハ、取扱量ノ減ルコトニ依ツテ或ハ必要ナル配給ノ仕事ガ出來ナクナルト云フヤウナコトモアルカモ知レマセヌ、サウ云フ觀點カラ申シマスト、茲ニヤハリ中間商ノ手数料ト云フモノニ付テハ、或ハ更ニ考慮シナケレバナラスト云フヤウナ因子モアル譯デアリマス、尙ホ各種ノ配給統制ヲ致シマシテ、成ベク適正ナル配給ヲ致サウトシタ場合ニ於キマシテ、從來ノ配給業者ノ整備ヲ致スヤウナ場合ガ、御承知ノヤウニ最近色々ゴザイマスノデ、左様ナ場合ニ於キマシテ、業者間ノ共助ヲ致サナケレバナラスト云フコトノ爲ニ、役所ノ方ト致シマシテ數年ノ後ヲ考ヘマスト、更ニ配給ノ手数料ハ下ゲテ然ルベキデアアル、併シココ數年ノ所ハ其ノ共助ノ爲ニ下ゲルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合モアルノデアリマス、是ハ各種ノ物資ニ付キマシテ色々ト事情ガ違ヒマス、先程甘藷ノ例ヲ御採リニナリマシタガ、ソレニ付テハ先般一度下ゲマシタケレドモ、併シマダ色々御意見モアルヤウデアリマス、此ノ場合ニ於テ更ニ又之ヲ下ゲルカ、或ハ或種ノ配給統制ニ付テ何カ一層實際ニ即シタヤウナ考慮ヲ加ヘルカ、色々問題ガゴザイマシテ、吾々トシテモ研究中デゴザイマス、兎ニモ角ニモ全體ト致シマシテハ、適當ナ手数料收入ヲ中間配給業者ニ與ヘルト云フヤウナコトハ吾々トシテハ考ヘテ居リマセヌノデ、此ノ具體的ナ事態ニ付キマシテ色々是亦見方モア

ルカト思ヒマス、生産業者ノ色々ナ聲、或ハ其ノ他各方面ニ最近ニ於テ色々御熱心ナ御調査ナク御研究ナリガアリマスノデ、ソレ等ヲ宜シク參酌致シテ今後善處致シタイト思ヒマス

○間宮委員 此ノ農産物ノ集荷並ニ消費者ニ渡ス輸送ハ、可能ナ範圍於キマシテハ、私共ハ將來ハ必ズ農村團體ヲ以テ一元のニヤラセルベキダト云フ信念ヲ持ツテ居リマス、其ノ活動ノ實際ニ付テハ只今ハ申上ゲマセステレドモ、ドウカ其ノ中間商人ノ存在ニ付キマシテハ深甚ナ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

次ニ少シ根本的ノ問題ニ付キマシテ意見ニ互ルカモ知レマセヌガ、農村ノ實情カラ見テ、現在ノ農村生産力ヲ低下サセテ居ル重大ナ原因ダト思ツテ居ルノデ、之ニ關聯シテ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、實際現在ノ農村ニ行ツテ見マス、親ハ百姓ヲシテ居リマスガ、其ノ子供等ハ大抵學校ヘ行クナリ、或ハ軍需工場ヘ行ク、或ハ何トカカントカ云フ方法ヲ以テ家ニ居ラナイ、要スルニ親自身ノ、俺一代ハ百姓ハヤツテモ自分ノ息子ノ時代ニナツタラ百姓ハヤラセタクナイト云フヤウナ希望トシテ、前途ノ光明ヲ失ツテ居ルヤウナ傾向ガ多分ニアルト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、是ハ何ニ原因シテ居ルカト云フコトヲ私ハ農村ニ居ツテ考ヘテ見マス、大體百姓ト云フモノハ肉體的ニ非常ニ苦シイノデアリマス、是ガ私ハ大キナ原因ダト思ツテ居リマス、ドウシテモ百姓ヲヤラウト思ハナイ、コンナ苦シイコトヲ息子ニハ親心トシテヤラセタクナイ、收入ノ如何ヨリモ肉體的ニ苦シイト云フコトニ一ツノ原因ガアルト私ハ思ツテ居リマス、此處

ニ是カラノ農業ヲ根本的ニ改革シナケレバナラヌ着眼點ガアルノデハナイカト思ツテ居リマス、政府ハ或ハ皇國農村トカ、或ハ經營方法ノ改善トカ言ツテ居リマスガ、事實何等變ツテ居ナイ、之ヲ何トカシテ——私共モ考ヘハナイノデアリマスガ、或ハ日本ノ從來ノ獨特ノ方法ニ對シテ色々ノ變ツタ方法ヲ作ルトカ、所謂農民道ノ改革ヲ行ツテ、サウシテ現在農村ニ於テ不足シテ居ル勞力農具ヲ確保シテ、收入モ確定的ニスルト云フヤウナ、何カ農具ニ對スル十分ノ研究ガ私ハ必要ト存ジテ居リマス、此ノ點ニ對シ、農具ニ對シテドウ云フ方策ヲ持ツテ居ルカ、御研究ニナツテ居リマセウカ、ドウ云フ方針ヲ持ツテ研究ヲシテ戴ケルカ、之ヲ御尋ネシタイト思ヒマス

○石黒政府委員 農村ノ健全ナル發展ト云フコトニ付キマシテハ、最近ノ色々ノ實情ニ於キマシテ事實農村ノ傾向ガアルト云フコトデ、吾々ト致シマシテ特ニ此ノ點ニ付キマシテハ、今後汎ク衆智ヲ集メマシテ、實際ニ農村ニ、謂ハバ長男ハ定着スル、併シ次男、三男ハドウモ家ヲ繼グ譯ニ行カヌカラ、寧ろ他所ヘ出テ行クト云フ位ノモノニ致シタイト考ヘマシテ、目下色々ト適當ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、農具ノコトニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、御承知ノヤウニ最近決戦下ニ於キマシテ資材ガ非常ニ窮屈ニナリマシタ關係上、特ニ此ノ農具關係ニ於キマシテモ非常ニ窮屈サヲ感ジテ居リマス、ソレ等ノ點カラ致シマシテ、實際的ニハ餘リ差當ツテ十分此ノ點ニ付テノ發展の考ヘヲ實行スル譯ニ參ラナイノデアリマスガ、此ノ農具ノ製作ニ付テハ、現在官廳ノ所管ハ商工省デアリマス

ケレドモ、或ハ器具ノ改善、或ハ新規ノ農具ノ考案ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、從來カラ農事試驗場系統ニ於キマシテ色々ト研究ヲ致シテ居リマス、今度更ニ中央ノ農林省農事試驗場ニ於キマシテモ、此ノ農具ノ方面ニ付キマシテ更ニ一層ノ研究ヲ致シタイト云フコトデ、其ノ方面ノ新規ノ事業モ計畫致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、差當リハ農器具ノ全國的配給ノ爲ニ規格ノ整備トカ云フ方面、或ハ配給ノ圓滑化ト云フヤウナ方面ニ付テ仕事ヲヤツテ居リマスルシ、改良或ハ新規考案ト云フヤウナコトニ付テモボツ／＼ヤツテ居ル譯デアリマス、今後ハ更ニ一ツ繼メテ改善考案ニ付テ進メテ參ルト云フコトデ、新規ノ事業ヲ計畫シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯最初ニ申シマシタヤウニ、資材ノ關係ガ非常ニ窮屈デアリマスノデ、差當リコト、二年ノ所ハ餘リ多クヲ期待スルコトハ出來ナイカト思ヒマス、一應ソレダケ御答ヘ申上ダマス

○間宮委員 農地制度ノ問題ニ付テ、是モ時間ガアリマセヌノデ簡單ニ伺ヒマスガ現在農林省ガ御提唱ニナツテ居リマス耕地ノ交換分合ノ問題、自作農創設ノ問題、是ハ御承知ノ通りノ狀態デアリマス、殊ニ自作農創設ハ高橋是清氏ガ農商務大臣ノ時代カラ、モウ二十數年間ヤツテ居ルノデアリマスガ、今日モ尙ホ昔ト同様ノ狀態デ、殆ド其ノ成績ハ擧ツテ居ラナイノデアリマス、是等ノ問題ニ大キナ弊害ヲナシテ居リマス一ツノ原因ハ、現在ノ土地ノ公定價格ノ問題デアリマス、是ハ實價價格ノ何十倍ト云フ規定ニ依リマス、從來ノ慣行ニ比ベテ相當低イ爲ニ、地主ハ土地ヲ賣ラナイ、ダカラ自作農創設ニ強制力ガナイ以上、是ハ殆ド停頓狀態ニナリハシナイカト思ツテ居リマス、ケレドモ現在ノヤウニ農民ガ比較的多ク離村シタリ、或ハ耕地ガ荒レルト云フヤウナ傾向ニナツテ來マスレバ、是ハ自由主義的ニ考ヘマシテモ、勢ヒ土地ノ價格ハ下ガツテ來ルノデアリマスカラ、此ノ自作農創設モ、モウ少シ農村ガ荒廢スレバ或ハ出來ルデアリマセウ、ケレドモ、サウ云フヤウナ狀

況ヲ待ツテ居ルト云フコトハ、最早農村ノ滅亡ノ時代デ、自作農モ何モナイノデアリマスカラ、私ハアノ土地ノ公定價格ト云フモノニ、何トカ此ノ自作農創設ノ障礙ニナラナイヤウナ方法ヲ御採リニナル御考ヘハナイカト云フコトヲ御伺ヒシタイ、又耕地ノ交換分合ヲ更ニ積極的ニ御推獎ニナルナラバ、或ル程度ノ法制ヲ作ルナリ何ナリ、モウ少シ具體的ニナサル御意思ガアルカドウカ、又農地制度ニ對シテ色々問題モ見エテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ極メテ進歩的ノ方法、抜本的ナ方法ニ付テ農林省ハ何カ御考ヘニナツテ居ルカドウカ、極メテ要領ダケデ宜シウゴザイマスカラ、一ツ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○石黒政府委員 從來ノ自作農創設ガ長年政府デ推獎シテ居リナガラ、必ズシモ實績ガ上リマセヌデシタ一ツノ原因ハ、資金ノ融通ノ方途ガ限ラレテ居リマシテ、ソレガ最近ニ於ケル地方公共團體ニ對スル財政緊縮其ノ他ノコトカラ、又其ノ他色々事情ニ依リマシテ、事實自作農創設ノ仕事ヲ非常ニ遲滞セシメテ參ツタノデアリマシテ、之ニ對シマシテハ今回資金融通ノ途ヲ改メマシテ、從來ヨリ多少規模ヲ大ニ致シマシテ、之ヲ促進シテ參リタイト考ヘテ居リマス、今御話ノ農地價格ノ問題、此ノ問題ニ付キマシテハ御説ノ如ク一ツノ心配ガアルノデアリマス、吾々ト致シマシテモ一應色色ト考究ヲ致シテ見タノデアリマスガ、今日ノ場合農地ノ價格ニ關スル基本的ナ或ル一定ノ貸賃價格ニ對スル倍率ヲ以テ考ヘタ或ル一定ノ價格ト云フモノヲ此ノ際引上ゲルト云フヤウナコトハ、御承知ノヤウニ家屋其ノ他ノ不動產ニ付キマシテ今日ニ於

ケル制度其ノ他トモ照シ合セマシテ、是ハヤハリ例ノ低物價政策ニナリマスガ、難カシイコトト考ヘルノデアリマス、又色々ナ點カラ考ヘマシテモ、是ハ此ノ際改メルノハ如何カト思ハレルノデアリマス、唯具體的ノ場合或ハ地方其ノ他ノ狀況ニ應ジマシテハ、ソコニ是ハ從來カラ考慮スベキ途ガ開カレテ居リマス、現ニ地方長官ノ裁定ニ依リマシテ、或ル程度ノ變更ヲ致シタヤウナ實例モ、具體的ノ土地ニ付キ、或ハ其ノ地方ノ價格ノ水準ノ決定方法ニ付キ、既ニ數件ゴザイマス、ソレ等ノ方法ニ依リマシテ、事實極メテ不適當ナ場合ニ付テハ適正ニ改メテ行クヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、左様ニ致シマシテ先程御質問ノ中ニ御觸レニモナリマシタ通り、現ニ地方ニ依リマシテハ、事實或ル場合ニ於ケル農地ノ賣買ハ、寧ロ公定價格以下デ行ハレテ居ルト云フヤウナコトモナキニシモアラズダサウデアリマシテ、左様ナ實例ノ話モ聞イテ居リマス、旁、致シマシテ、實際地方々々ノ實情ニ即シテ適當ニ處置シテ參リマスナラバ、此ノ自作農創設ノコトモ行ヒ得ルト云フ風ニ、今ノ所考ヘテ居ル次第デアリマス

○間宮委員 尙ホ色々御聽キ致シタイコトモゴザイマスガ、此ノ程度デ打切りマス
○石黒政府委員 尙ホ只今自作農創設ノコトダケ御答ヘ致シマシテ、耕地交換分合ノコトヲ申上ゲマセヌデシタガ、今ノ所耕地交換分合ノコトニ付キマシテハ、從來ノ獎勵ノ方法ヲ尙ホ一層進メテ參リ、殊ニ皇國農村確立ノ一ツノ運動ヲ起シテ、其ノ間耕地交換分合ノ如キ、今日ノ農村ノ爲ニ必要ナ施設ニ付テハ、一層獎勵ヲシテ參ルト云フ程度ノコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマスカラ御

諒承ヲ願ヒマス

○東郷委員長 暫時休憩致シマス、午後一時半カラ再開致シマス

午後零時十二分休憩

午後一時三十八分開議

○東郷委員長 ツレデハ休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○濱地委員 參考資料ノ要求ヲ致シマス、不在地主所有反別ノ各府縣別表ヲ御願ヒシマス

○東郷委員長 西川君ノ御質問ガアル譯デスガ、大臣ガ居ラレナイトイカヌヤウデスカラ、暫ク御待チ願ヒマス——吉田正君

○吉田(正)委員 時間ノ關係上直接法案ニ關係ノアル問題ヲ二ツバカリ總務局長ニ御尋ネシタイト思ヒマス、一ツハ養蠶組合ノ指導員ニ關スル問題デアリマスガ、是ガ蠶糸統制會社ニ接收ヲシテ、サウシテ會社ガ直接養蠶指導ニ乗出スト云フヤウナ噂ガアルノデスガ、サウ云フコトハ單ナル噂ニ過ギナイノデアアルカドウカラ御聽キシタイノデアリマス

○重政政府委員 ソレハ私モ一寸耳ニハ致シテ居リマスガ、ドウ云フ風ニソレヲヤルカト云フコトニ付テドウ決メタカト云コトハ、私承知シテ居リマセス

○吉田(正)委員 養蠶組合ノ指導員ト云フモノハ、ヤハリ新農業團體ノ一環トシテ、養蠶指導ニ乗出サナケレバナラヌト云フ立場ニアリマスノデ、同時ニ此ノ團體ノ責任ニ於テ自主的ニ生産ヲ果サナケレバナラス、又其ノ他ノ農業トノ關聯カラ致シマシテモ、養蠶組合ノ指導員ヲ蠶糸統制會社ノ方ニ持ツテ行クト云フコトハ邪道ノヤウニ考ヘマス

ガ、其ノ點ニ付テハサウ云フコトノナイヤウニ一ツ御願ヒシタイト思ヒマス、希望ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラモウ一ツ、昨日金子君ノ質問ニ對シマシテ、商工組合法案ノ統制組合ト新農業團體トノ關係デアリマスケレドモ、其ノ統制組合ニ入ル農業會ノ問題ニ付キマシテハ、物ニ依ツテ判斷スルト云フヤウナ御答辯ガアリマシタガ、何故ニ農業團體ノ關聯事業ガ除外セラレルト云フコトニ決メラレナカツタカト云コトニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○藤田政府委員 産業組合ガ現在各等ノ物資ノ配給ニ當ツテ居リマシテ、中ニハ生活必需物資、其ノ他雜貨、石鹼デアルトカ、「マツチ」デアルトカ、各種物ニ及ンデ居ル譯デアリマス、ソレデ從來トモ産業組合ガ商業組合ニ加入スルカドウカト云フ風ナ問題モ起ツタノデアリマス、産業組合ガ極ク僅カシカ扱ツテ居ラナイヤウナモノニ付キマシテ、殊ニ商業組合ノ中ヘ入ツテ配給ヲ受ケルト云フコトノ方ガ便宜デモアリ、又配給ヲ確保シ得ルト云フ風ナモノモ間々アル譯デアリマス、サウ云フ風ナ場合ニハ、從來ハ指導方針ト致シマシテハ、産業組合自體ハ之ヲ加入ハセシメナイデ、御承知ノヤウニ代表者名義デ入ツテ連絡ヲシテ居ルト云フヤウナモノモ實ハアル譯デアリマス、サウ云フ風ナ事態デゴザイマスノデ、今回ノ商工組合法案ノ制定ニ當リマシテハ、サウ云フ風ナ物資モアル譯デアリマスカラ、左様ナモノニ付テハ今度ハ改メテ入ルコトニ致シマシテ配給ヲ受ケルコトニ致シマシタガ現在ノ實情ニ適スル、非常ナ變則的ナ扱ヒヲシテ居リマスモノヲ、正當ニ認メルヤウナコトニナル場合モアラウ

カト思フノデアリマス、サウ云フ風ナ意味合デ此ノ途ヲ開イタノデアリマスガ元元團體機構トシテハ是ハ別個ノモノデアリマス、隨ヒマシテ何ガ何デモサウ云フ風ナモノニ全部入レルト云フ風ナ方針ヲ私共執ツテ居ル譯デハゴザイマセヌ、勿論産業組合ガ主トナツテヤルヤウナモノモアラウト思ヒマス、サウ云フ風ナモノニ付テ之ヲ加入セシメルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯地方的ナ實情實情デ、又其ノモノノ性質ニ依ツテ判斷ヲシテヤツテ行キタイ、サウ云フ意味合デアノ規定ガ入ツテ居ル譯デアリマス、運用ニ付キマシテハ十分御注意ノ點ヲ能ク尊重致シマシテ、遺憾ノナイヤウニ致シテ行キタイト思ツテ居リマス

○吉田(正)委員 私人法案ニ直接關係ノアル質問ハ是ダケデアリマス、アトハ關聯事項デアリマス

○松浦(伊)委員 現行法ニ依リマスルト、申スマデモナク地方農會、即チ道府縣農會ニ直屬タル郡農會、市農會トナツテ居リマシガ、今度ハヤハリ郡農會ガ廢止ニナルノデアリマスカラ、自然市農會ト云フモノノ立場ガ、支部制ヲ御採リニナルナラバ、市ニモ其ノ地方ノ實情ニ依ツテ支部ヲ御置キニナリ、更ニ郡部ニ支部ヲ置クト云フコトニナレバ、別ニ廢止モナイ譯デアリマス、若シ市ニ支部ヲ置カナイト云フコトニナルト、自然從前ノ郡部ノ所謂傘下ニ屬スルヤウニナルノデアリマス、斯様ニナリマスト多少ソコニ色々ナ摩擦ガ起ル傾向ガアルヤウデアリマスガ、是等ノ點ニ付テハ、政府ハ如何ヤウニ御考ヘニナツテ居リマスカ

○重政政府委員 大體市ノ中ニ數箇ノ農業

會ヲ作ルト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、市ニ郡支部ト同様ナ支部ヲ置イテ行ツタラ宜カラウト考ヘルノデアリマス、所ガ小サイ市ノヤウナ所デ、一ツシカ農業會ガ其ノ市ニナイト云フヤウナモノデアリマシタ際ハ、是ハ勿論事情ニモ依リマスガ、隣郡ト之ヲ一緒ニ致シマシテ、郡市ノ支部ヲ設ケテ行ツタラドウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、市ニ支部ヲ郡ト同様ニ置カナイカラト云フコトガ、ソレ程問題ガ起ルヤウニモ私共ハ考ヘテ居ラナイノデアリマスルガ、何カ特別ナ內的ノ實際上ノ不便等ガアリマスレバ、勿論是ハ考ヘテ差支ナイコトト考ヘマス

○松浦(伊)委員 固ヨリ大都市ニ於テハ數個ノ農業會ガ設立サレルト思フノデアリマス、假令小市ト雖モ、唯一本建ノ農業會ガドウシテモ出來ナイト云フヤウナ事情ノアルモノニハ、或ハ二ツ乃至三ツヲ入レテ其ノ上ニ支部ヲ構成シテ置ク方ガ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、又一面カラ從來縣農會ノ傘下ニハ、郡農會ト市農會ト併立シテ其ノ傘下ニ屬シテ居ルモノガアル、ソコニ扱ヒノ上ニ於テ妙ナ感じガアル成ベク之ヲ平和ニ此ノ農業會ノ機能ヲ發揮サス上ニ於テハ、多少其ノ地方ノ實情ニ即シテ政府ハ御扱ヒニナル方ガ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此ノ際モウ一度御答辯ヲ願ヒタイ

○重政政府委員 農業團體デアリマスルカラ、市デアラウト町デアラウト村デアラウト、何モ其ノ間ニ格ガ違フト云フコトハ、アルベキ筈ハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯御話ノヤウニ二ツカ三ツシカ出來ナイヤウナモノニ、數十ノ町村ノ農業會ヲ傘下ニ集メテ居ルヤウナ郡支部ト同様ナ取扱フ原則的ニ立ツト云フコトハ、是ハ少シ無理デハナイカト思フノデアリマス、地勢ノ關係デアリマスとか色々ナ具體的ナ條件カラ致シマシテドウシテモ市ニハ二支部ヲ設ケナケレバナラスト云フヤウナ場合デアリマスレバ、勿論是ハ考ヘテ差支ナイト考ヘマス

○前川委員 一寸關聯シテ……具體的ノ問題ニ觸レテ來ルト數箇ト云フノハ大體下ノ程度デスカ、最近ノ傾向ハ市ガ農村ヲ非常ニ大キク併合シテ居ル所ガアルノデスケレドモ、ソコニハ實際上ノ産業組合ナリ農會ガ儼存シテ居ル、ソレガ又今度出來マスルト、少クトモ一ツノ市ニ依ツテ五ツモ六ツモノモノガ部分的ニ殘ル所ガアルト思フ、ソレヲ數ガ數ニ數箇ダカラ對等ニ取扱フコトガ出來ナイト云フコトハ、一應理論トシテハ言ヘルト思ヒマスガ、今マデノ實際ノ事實カラ申シマス、市ノ方モ郡ト並ンデ仕事ヲシテ居ル事情ニアルノデス、サウ云フヤウナ場合ハ可ナリアルノデヤナイカト思フノデス、此ノ數箇ト云フノハドノ程度ニ考ヘタラ宜イノデスカ

○重政政府委員 別ニ何箇以上ト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌガ、實際只今モ御話ノアリマシタヤウニ、私共ノ立場カラ考ヘレバ、相當町村ヲ市ニ無理ヲシテ合併シテ居ルト云フ實情ガアルノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ、サウ云フ所ニ於キマシテ、舊町村ノ一ツ又ハ數箇デヤハリ農業會ヲ同一市内ニ作ツテ行ツタ方ガ實情ニ副フ、斯ウ云フ考ヘテ居リマス、ソコデ無理ヲシテ市ニ合併セラレタ舊町村ハ、モウ一度ヤハリ無理

ノナイ時代ノ郡ノ方ニ歸ツタラドウカ、斯ウ云フ考ヘテ致シテ居ルノデアリマス、勿論市ノコトデアリマスカラ、數郡ニ所屬シテ居ツタ町村ガ一ツノ市ニ來タト云フ場合モアリマセウシ、色々ノ場合モアラウト思フノデアリマス、之ヲ一律ニ一概ニドウト云フコトハ申シ兼ねルノデアリマスルケレドモ、大體サウ云フ心持ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ今度ハ別ナ意味ニ於テ無理ガ行ツテ、結局團體統合ノ爲ニ混亂ヲ起サシムルト云フコトガアツテハ、是ハ相濟マナイ譯デアリマスルカラ、能ク實情ニ即シテ無理ノ行カナイヤウナコトニ實際問題トシテハヤリタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○前川委員 是ハ法案デアリマシタカ、勅令デアリマシタカ此ノ間一寸見タ、何處ニアツタカ記憶シマセヌガ、地區農會ト云フコトガ何處カニアツタト思フ、今問題ニナツテ居ルヤウナ場合ニ使フ言葉ト思ヒマスガ、地區ト云フ言葉ガアツタト思ヒマスガ……

○重政政府委員 是ハ何時デアリマシタカ、地區ヲ規定シテ居リマシタ條文ガアツタト思ヒマスガ、必ズシモ是ハ郡ニ依ラナイ、或ハ事情ニ依ツテハ郡ヨリ小サクテモ宜シイ、又郡ヨリ擴ガツテ、今ノ市内ニ出來マス農業會ヲモ含メテ郡ノ支部ヲ置イテモ宜イト云フヤウナコトヲ規定シテ居リマスガ、サウ云フコトヲ地區農會ト云フコトデ現ハス、私一寸サウ云フ文字ヲ使ツテ居ル箇所ハ記憶致シマセヌケレドモ、サウ云フ意味デ使ツテ居ル箇所ガ何處カニアルカモ知レマセヌガ、私ノ記憶デハソレハナイ積リデアリマス

○間宮委員 一寸關聯シテ……今度ノ地方

事務所ノ範圍ヲ御決メニナルヤウナ御意思ハナイノデアリマス

○重政政府委員 是ハ成べく行政ノ區劃ト一致スルコトヲ私共トシテハ希望致ス譯デアリマス、併シ色々事情カラ今ノ地方事務所ノ地區ト云フモノガ出來テ居リマシガ、必ズシモ其ノ地方事務所ニドシテ無理ガアツテモ一致シナケレバナラヌト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、能ク具體的ノ事情ニ付テ檢討致シマシテヤリタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○東郷委員長 大臣ノ出席ヲ催促シテ居リマスケレドモ、豫算總會ノ方デマダ答辯最中ダサウデス、直グ見エルト思ヒマスガ、サウ待ツテ居ルノモドウカト思ヒマスカラ、大臣ガ居ラレヌデモ間接ニ關聯スル諸問題ニ付テ質疑ヲサル方ガアレバ此ノ際進メタイト思ヒマスガ、ドナタカアリマスカ——ソレデハ大臣ガ出席スルマデ暫時休憩致シマス、大臣ガ出席シタラ直グ始メマスカラ、其ノ御積リデ御願ヒ致シマス

午後二時四分休憩

午後二時二十五分開議

○東郷委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——西川貞一君

○西川委員 農業團體法ニ直接關係シマサル點ニ付キマシテハ、各委員ト政府委員トノ間ニ質疑應答ガアリマシテ大體明カニナツタノデアリマスガ、ソレ等ノ御質問ニ對スル御答ヘナリ、又大臣ノ本會議ニ於ケル御答辯等ニ鑑ミマシテ、尙ホドウモ満足致シ難イ一、二ノ點ニ關シマシテ、特ニ本案ノ取扱ヒノ上ニ相當重要ナ點デアリマスルカラ、此ノ際大臣カラ突キ進ンデ御所見ヲ

承リタイト思フノデアリマス

第一ハ、新シク生レル農業團體ノ農業生産力増強ノ上ニ齎ス一番重大ナル使命ト致シマシテ、私共ハ農業ナリ、水産業ナリノ生産資料、又ソレ等ノ生活必需品ハ原則トシテ一元的ニ此ノ團體ヲシテ配給セシメ、又ソレ等ノ生産物ノ集荷ハ、原則トシテハ此ノ團體ニ一元的ニナサシメルコトヲ以テ至當デアルト考ヘルノデアリマス、若シソレヲシナカツタラバ、此ノ戰時下ニ於キマシテ、既設ノ團體ヲ統合スル實行上ニハハハリ色々煩瑣ナコトモアルノデアリマシテ、色々事務的ニハ厄介ナコトモアルノデアリマスガ、其ノ厄介ナコトヲ敢テ冒シテ之ヲ行ヒマスルノニハ、サウ云フ原則ガ確立シテ、其ノ原則ニ從ツテ是等ノコトガ實行ニ移サレルト云フ段取ニナラナカツタラバ、餘リ多クノ意義ガナイノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、聞ク所ニ依リマスト、同ジク水産業デモ、海洋漁業ニ關シマサル點ニ於テハ、海洋漁業ノ統制機關デアール帝國水産株式會社ヲシテ、其ノ生産資料ノ一元的ナ配給ヲ行ハシメ、又其ノ生産物ノ一元的ナ集荷販賣ヲ行ハシメルト云フコトデアルヤウニ聞イテ居リマス、一體海洋漁業ナルモノハ、大臣ノ非常ナル御努力ニ依ツテ今ヤ三社ニ統合サレタノデアアル、強大ナル資本ヲ持ツ三會社ノ仕事デアアル、是等ハ何モ其ノ統制機關ヲシテ一元的ニ資料ノ配給ヲセシメ、又生産物ノ集荷販賣ニ任ゼシメナクとも、會社ガ個々ニ之ヲ行ヒマシテモ、ソレハ強大ナル力ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、餘リ大シテ不都合ハ起ラナイト思フ、ニモ拘ラズ、此ノ方面ニハ帝國水産ヲシテ一元的ニ資料ノ配給ヲナ

サシメル、又生産物ノ集荷販賣ハ之ヲ一元的ニナサシメル、デアルナラバ全國ノ極メテ零細ナル漁業者ガ集マツタ、極メテ弱小ナル企業ノ集合體デアリマス所ノ沿岸漁業方面ノ團體デアリマス此ノ新シイ水産團體ヲシテ、何ガ故ニ左様ナ育成的ナ保護的ナ事業ヲ行ハシメナイノデアアルカ、之ヲ行ハセルノガ當然デアルト思フ、水産團體ヲシテ左様ニ行ハシメルト同様ニ、農業團體モ同ジコトデアツテハ當然アルベキデアアル、ソレヲヤレナイ事情ガアルトスルナラバ、是ハ農民ヲシテ、又沿岸漁業者ヲシテ納得セシメシメナクチャナラス、斯ウ云フ事情ガアツテハハヤレナイノダト云フコトヲ納得セシメナイト、ドウモ満足シナイト思フノデアリマス、私ハ先ヅ第一ニハ其ノ原則ヲ確立シテ、其ノ原則ニ副フヤウニ實行シテ貫ヒタイ、實行スル段取ニ向ツテ戴キタイト云フ切ナル希望ノ下ニ、之ニ對スル御所見ヲ御伺ヒシタイコトト、ソレガ出來ナイト云フコトデアアルナラバ、出來ナイ事情ヲ國民ヲシテ十分納得セシメ得ル理由ヲ明カニシテ戴キマスルコトガ此ノ際必要デアルト思フノデアリマス

○井野國務大臣 農業團體ニ致シマシテモ、水産團體ニ致シマシテモ、今回ノ統令整備ニ依リマシテ、其ノ機能ヲ統一化シテ參ツタノデアリマス、隨テ生産物ノ集荷並ニ生産資料ノ配給等ニ付キマシテハ、出來得ル限り斯ウ云ツタ團體ヲ使フコトガ私ハ宜イト思ヒマス、又サウ指導シテ行キタイト思ヒマス、唯今日ナゼ直グ一元的配給ナリ、一元的集荷ガ出來ナイカト云ヘバ、結局ハ今マデノ自由經濟時代ニ於ケル所ノ各集荷機關ナリ、配給機關ノ沿革並ニ實情ニ即シテ

居ルノデアリマス、餘リニ急激ナル改革ヲ致シマスルト、其ノ間ニ存在シテ居ル商人等ノ失業問題、又色々問題ヲ惹起スルノデアリマス、隨テソレ等ノ調整ヲ執リツツ、今日ハ集荷ナリ配給ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマス、併シ今後ノ方針トシテドウ云フ方針ヲ執ルカト云ヘバ、出來ルダケソレヲ一元化シテ行ク方針ヲ執ルコトハ勿論デアリマス、其ノ間ニ於テ無理ノナイヤウニ、餘リニ急激ナル變化ノナイヤウニ、出來ルダケ善處シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○西川委員 御方針ニ付キマシテハ、私共ノ希望致シマスル點ト同ジ方針ヲ執ツテ行カレルト云フコトデゴザイマスルカラ、其ノ點ハ大體満足致スノデアリマス、尙ホ其ノ實行ノ段取ニ付テハ、從來ノ配給機關ノ沿革上、急激ニ之ヲヤツテ行クコトガ出來ナイト云フ點ニ付キマシテハ、更ニ進ンデ御考ヘテ願ハナクチャナラナイカト思フノデアリマス、サウ云フ沿革ヲ尊重致シマシテ、例ヘバ農林方面ノ關係ノ國策會社ハ多クサウ云フ沿革ヲ尊重サレマシテ、其ノ出資關係ニ於キマシテハ、或ルモノニ於テハ業者ガ三割ヲ持チ、産業組合ガ七割ヲ持ツトカ、或ハ六對四デアルトカ、二對八デアルトカ云フヤウニ、過去ノ取扱ノ實績ニ出資ヲ割當テテ、一ツノ國策會社ヲ作ツテ、其ノ國策會社ヲシテ或ハ集荷ヲ行ハシメ、或ハ配給ヲ行ハシメルト云フヤウニ現狀ハナツテ居ルト思フノデアリマス、併シナガラ時局ノ段階ハ、其ノ時代トハ更ニ急激ニ變化シテ參リマシテ、最近ニ於ケル企業ノ整備ニ對シマスル色々方針等カラ見マシテモ、最早其ノ沿革ニ捉ハレテハ居ラレナイ、ドウシテモ新シイ段階ニ即應スルヤウナヤリ

方デナクテハイイカスト云フヤウニナツテ來テ居ルノデゴザイマスカラ、此ノ點ハ更ニ突進シテ御考ヲ戴イテ、相當斷乎タル手段ニ出テ戴ク必要ガアルト思フノデアリマス、是ハ私共ハ一ツノ「イデオロギ」ニ基イテ彼此レ言フトカ、或ハ農業者ノ利益ヲ偏重スル意味ニ於テ之ヲ言フノデハナクシテ、實際ノ農政ノ現狀ニ基イテ人心ノ機微ノ上カラ、此ノ手ヲ此ノ機會ニ一ツ打ツテ戴ク必要ガアルト思フノデアリマス、ソレハ今日農民ハドウ云フ感情ヲ一番強ク持ツテ居ルカ、米價ニ對スル問題ニ付テドウ云フ風ナ氣分ヲ農民ガ持ツテ居ルカト云フコトハ、大臣能ク御承知ダト思フ、特ニ内原ノ訓練所ニ集マツテ居リマスル第一線部隊ノ一番眞面目ニ熱心ニ農業報國ニ邁進シテ居ル人々ガ、此ノ問題ニ付テハドウ云フ懷疑ヲ持ツテ居ルカト云フ點モ大臣ハ能ク御承知デアルト思フノデアリマス、米價ノ問題ニ付テハ色々ノ不滿ヲ持ツテ居リマスケレドモ併シナガラハ言ハナイ、此ノ時局ノ下ニ於テ、戰時下ニ於テ言フベキデナイト云フ感

承知出來ナイゾト云フ氣持ガ多分ニ含まレテ居ルト云フコトヲ十分ニ御認識戴カナクテハナラヌノデアリマス、特ニ斯ウ云フコトモ一ツ考ヘテ貰ハナクチャナラヌ、商人ガ過去ニ於テ色々ノ取扱上ノ實績ヲ持ツテ居ルカラ、其ノ實績ヲ尊重シテ之ヲ活カシテ行カナクチャナラヌト云フコトハ、農民側ニ於テハ、是ハドウ云フ建前ニナルカト申シマスルト、自分等ガ長イ間オ得意デアツテ、——私ハ搾取サレタト云フヤウナ言葉ハ使ヒタクナイ、サウ云フ氣分ハ私ハ持チタクナイ、兎ニ角儲ケテ貰ツタ、自分等ヲ相手ニシテ儲ケテ貰ツタ、其ノ儲ケテ貰ツタガ故ニ、其ノ儲ケテ貰ツタ實績ヲ何時マデモ背負ウテ行カナクチャナラヌト云フコトハ、是ハ農民ニ取ツテハ甚ダ迷惑千萬ナコトデ、現ニ肥料ノ配給ノ如キハ、全國ニ現在少シモ配給ノ事務ハ取扱ハナイデ、扱ヒハ全部産業組合ノ方ニ扱ハシテ、一元的ニ配給シテ居ツテ、所謂眠リ口錢ト言ヒマスルカ、過去ノ實績ヲ權利ニ直シタ其ノ權利料ヲ取ツテ居リマスル金額ガ、肥料ダケデ八百万圓ニ全國デ上ツテ居ル、其ノ他農器具等ニ於キマシテ左様ナモノガ少クナイノデアリマス、斯ウ云フモノガアリマスルト云フコトハ、農民ノ感情ヲ害スルコト極メテ大ナルモノガアルコトハ、大臣ハ御承知ノ通りデアリマスルガ、是等ノ點ニ付テハ、此ノ團體ノ整備ト共ニ、何等カノ措置ノ仕様ガアリハシナイカ、又商工省デ色々中小工業ノ整理ヲ致シマスニシマシテモ、又本年度ニハ小サイ炭礦ノ整理等モ計畫シテ居ルヤウデアリマスルガ、是等ハ一ツ國家ガ相當ノ犠牲ト負擔トヲ以テ是等ヲ整理スル、整理シナケレバナラナイト云フ段階ニ進ンデ居ル時デ

ゴザイマスカラ、前ノ御答辯ニ基イテ色々ノ國策會社ナリ、サウ云フヤウナモノノ再檢討ヲシテ戴キマスルト同時ニ、少クモ眠リ口錢位ハ此ノ際政府ガ何等カノ措置ヲ講ジテ、左様ナ不合理ヲ負擔ヲ農民ガ背負ウテ行カナイデ済ムヤウニ、一千万圓ヲ超エルヤウナ負擔ヲサウ云フコトノ爲ニシナイヤウニ、此ノ團體ノ整理ト共ニ御處置ニナル御考ヘハナイデゴザイマセウカ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイ

制度デアルベキモノデハナイノデアリマスカラ、此ノ團體統合等ノ機會ニ於テ、若シモ整理ノ出來ルモノハ整理ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス、又其ノ他ノ方法デ是等ノ問題ノ解決出來ルモノハ解決シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○井野國務大臣 過去ノ自由經濟時代ニ於キマシテ、商人ガ生産者ト消費者トノ間ニ介在シテ居リマスル以上ハ、無論私共モ搾取ト云フ言葉ヲ使ヒタクナイ、又農民ノ負擔デ儲ケサシテヤルト云フ考ヘ方モ實ハシタクナイノデアリマス、此ノ機關ト云フモノハ其ノ時代ニ於テハヤハリ必要ナ機關デアツタノデアリマス、隨テソレ等ノ人々ガ實際自分ノ仕事ニ一生懸命ニナツテヤツテ居ツタ、然ルニ統制經濟ナリ計畫經濟ニ入ツテ參リマシテ、サウ云フ人々ノ働ク分野ガ段々ト要ラナクナツテ來タト云フ時代ニ於テハ、是ガ救済ナリ或ハ援助ト云フコトヲ國家ガ考ヘル、相互ニ考ヘル、又生産者、消費者共ニ考ヘテヤルト云フ、色々ノ方面カラ斯ウ云ツタ人々ノ措置ニ付テ考ヘテ行クト云フコトガ、國民ノ間ノ相互救助ノ考ヘ方デハナカラウカト思フノデアリマス、

○西川委員 次ニ同ジ問題デアリマスガ、大臣ガ豫算總會ニ於テ御答辯ニナリマシタコト、又本委員會ニ於テ重政總務局長ガ御答辯ニナリマシタ只今ノ自由主義時代ノ配給ト國策會社ノ配給ト、其ノ經費ハドチラガ餘計掛ツテ居ルカ、ドチラガ負擔ガ大キイカト云フ點ニ付テハ、更ニ進ンデ御考ヘ願ハナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマスノデ、其ノ點ヲ指摘致シマシテ之ニ對スル御所見ヲ更ニ伺ヒタイト思ヒマス、大臣モ局長モ、現在國策會社ノ手数料ガ非常ニ高イトカ、取扱ガ不親切ダト云フコトガ色々非難サレルケレドモ、併シ決シテ自由主義ノ時代ノヤウニ高イモノヲ取ツテ居ルノデヤナイ、自由主義時代ヨリカ低イト云フヤウニ言ツテ居ラレルノデアリマスガ、此ノ考ヘ方ノ基調ニ小シ間違ヒガアルト思フ、自由主義時代ト統制時代トヲ比較スルコトハ、是ハ物ノ性質ガ違フノデアリマスカラ、比較ニナラナイ、自由主義時代ニ於ケル利潤ノ性格ト、公定價格トノ利鞘トハ違フカラ、是ハ比較ニナラヌノデアリマス、ケレドモ、自由主義カラ國策會社ノ統制ニ移ツタノデアリ、此ノ點ヲ認識シテ貰ヒタイ、日本ノ農業經濟ニ於テ、國策會社ノ前ノ段階ニハ産業組合ナリ、農會ナリニ依ル自主的統制ノ段階ガアツタノデアリマス、此ノ自主的統制ノ進ミツツアル過程ニ於テ、是ガ段々進ンデ參リマス、商人ノ側

第六類第八號 農業團體法案外一件委員會會議錄 第五回 昭和十八年二月四日

其ノコト自體ノ重大性ノ上ニ、米價問題等ノ問題デハ言ハナイガ、其ノ代リ此ノ點ハ

其ノコト自體ノ重大性ノ上ニ、米價問題等ノ問題デハ言ハナイガ、其ノ代リ此ノ點ハ

其ノコト自體ノ重大性ノ上ニ、米價問題等ノ問題デハ言ハナイガ、其ノ代リ此ノ點ハ

カラ所謂反產運動が起り、是ガ一元のナ配給ヲシナケレバナラヌケレドモ、農民ノ自主的ナ統制ニ一元化シテシマフト、只今申シマシタヤウナ色々ナ都合ガ起ルカラ、ソコデ大體兩方ノ實績ヲ基礎ニシタ新シイ配給機關ヲ作ルト云フコトハ、自主的ナ統制ガ二ツノ國家的ナ統制ニ移ツタノデアリマシデ、比較スベキモノハ此ノ自主的ナ統制ノ場合ト、國策會社所謂新シイ配給機關ニ於ケル統制トチラガ不合理デアルカ、ドチラガ負擔ガ多イカト云フ點デ比較シナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホドチラガ惡イカト云フ點ニ於テハ、先ヅ第一ニ性格ノ上ニ於テ國策會社ト稱スルモノノ性格ガ惡イ、ソレハ出資ヲシテ——其ノ出資ハ一ツノ營利的ナ性格ヲ持つ出資デアアル、半營利會社デアアル、ソレデ配當ヲシナクテハナラヌ、配當ヲスレバ税金モ納メナケレバナラヌ、税金モ納メ配當ヲスル爲ニ、ソレ等ノ會社固有ノ事務費ガ相當要ル、是等全然自主的統制ノ場合ニハ不要デアツタモノガ、本質的ニ出テ來ルノデアリマス、ソレデ其ノ結果ヲ具體的ニ指摘致シマスガ、ハ私ノ調査ガ間違ツテ居テ、是ガ本當ダト云フコトヲ局長アツリカラ御出シ下サレバ私モ頭ヲ下デマス、併シナガラ是ガ事實デアアルナラバ、ヤハリ當局ハ其ノ事實ノ前——私ノ前ニ頭ヲ下ゲル必要ハナイケレドモ、事實ノ前ニ頭ヲオ下ゲニナツテ將來ノ方針ヲ是正サレル必要ガアル、一ツノ例トシテ栃木縣ノ甘藷ニ付テ申上ゲタイ、栃木縣ノ甘藷ハ日本全國ノ甘藷ノ中デ一番販賣ノ手數料ガ高ク掛ル甘藷デアリマス、ソレハ此ノ甘藷ハ日本デ一番高歩キヲスルカラデアリマス、千葉縣ノ甘藷ハ地元ニ澱粉工場

ヤ酒精工場ガアリマシテ、地元デ大半消費致シマスシ、東京ト云フ消費地ニ近イ、又九州方面ノ甘藷モ割合ニ近イ所デ消費サレテ居リマス、所ガ栃木縣ノ甘藷ハ遠クハ滿洲、樺太、北海道、東北、北陸方面ヲ主タル消費地トシテ居リマスカラ、ハ一番高歩キヲスル甘藷デアリマス、是ガ國策會社ニナル前農會ガ斡旋ヲシテ居リマシタ時ニハ、ドウ云フ手數料デヤツテ居ツタカト申シマス、運賃ハ平均致シマシテ縣内デ消費スルモノガ十貫ニ對シテ十錢、縣外ニ送ルモノガ十六錢デアリマシテ、之ヲ双方平均致シマスモノハ十錢デアリマス、此ノ運賃以外ノ雜費ニ何ガ掛ツタカト云フト、生産者ノ名札ヲ付ケル要スル農會ガ一錢デ賣ツテ、是ガ農會ノ經費ニナツテ居リマス、人件費ガ二錢五厘、是ハ商人ヲ農會ノ囑託ニ致シマシテ、之ニ一切ノ販賣ノ實務ヲ行ハシテ居ツタカラデアリマス、部落團體ガ出荷ヲ取纏メル爲ニ、之ニ交付スル報酬ガ一錢デアリマシテ、合計十四錢五厘デアリマス、所ガ日本甘藷馬鈴薯株式會社ガ甘藷ノ販賣上ノ手數料ヲドノ位見積ツテ居ルカト申シマス、運賃二十五錢、倉敷料二錢、積込ノ經費四錢、腐敗ニ對スル手當ガ二錢、農會ニ交付スルモノガ二錢、會社ノ事務費六錢デゴザイマシテ、十貫ニ對シテ四十一錢ヲ見積ツテ居リマシテ、十四錢五厘ト四十錢トハ比較ニナラナイ、總務局長ハ甘藷ノ如キハ大イニ配給ノ經費ヲ節減シテ、十貫デ十錢豫算ヨリモ減シテ、之ヲ生産者ニ割戻シタ位デアアルト昨日仰シヤツタノデゴザイマスルガ、十錢割戻シテモマダ三十一錢デゴザイマシテ、其ノ前ノ農會デ取扱ツテ居ツタ十四錢五厘ニ比較スルト二倍以上ニナ

ツテ居ル、此ノ事實ハ認メザルヲ得ナイノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ例ヲ産業組合ニ比較致シマスルト、菓子品ノ場合ニ於テドウ云フ經費ガ掛ツテ居ルガ、産業組合ノ場合ハ全購販ガ一單位ニ對シテ一厘、縣ノ購販聯ガ二厘、單位組合ガ五厘、計八厘デアリマス、然ルニ會社ハ一錢二厘ヲ取ツテ居リマシテ、是ガ五割大キイノデアリマス、是ダケノモノガ大キナルト云フコトハ當然ナコトデアアル、相當ノ配當モシナケレバナラヌ、税金モ拂ハナケレバナラヌ、然ルニ新シイ農業團體ガ茲ニ誕生致シマス、是ハ此ノ前ノ農會ヤ産業組合ヨリハ性格ヲ一歩進メテ居ルノデアリマス、前ノ産業組合ノ如キハ組合員ノ福利ヲ増進スル爲ノ機關デゴザイマシタガ、今度ハ農業國策ヲ推進シ、實行スル國策機關デアリマス、即チ此ノ國策機關ニ依ツテ統制ヲ行フナラバ、自主的統制ガ更ニ國家的統制ニ上昇シテ行ク、私ハ前ノ農會ヤ産業組合ト、現在行ハレテ居ル國策會社トヲ揚棄シタ存在ガ、新シイ國家的性格ヲ持つ新農業團體、新生産團體デアラネバナラヌト思ヒマス、性格カラ見テモ、本質カラ見テモ、其ノ實務ノ上カラ見テモ、此ノ團體ノ誕生ト共ニ長男ガ生レルマデノ中繼ノ相續ヲ是等ノ統制機關ハシテ居ツタノデ、此ノ嫡出子ガ今雄々シク誕生ノ聲ヲ揚ゲマス同時ニ、是等ハ其ノ扱ツテ居ツタ配給權ナリ、集荷權ヲ此ノ嫡出子ニ返スベク措置サレナケレバナラヌト思ヒマス、是等ノ點ハ私ノ聽キ違ヒカモ知レマセヌガ、大臣ノ豫算總會ニ於ケル御答ヘナラ、總務局長ノ此ノ席ニ於ケル御答ト、少シ基調ガ違フ點ガアルト思フノデアリマスルカラ、此ノ認識ノ上ニ立ツテアトノ措置ヲシテ貰

ヒタイト思フノデアリマス、之ニ對シテ何カ御意見ガゴザイマスレバ御伺ヒ致シタイ
○井野國務大臣 國策會社並ニ配給機構ノ手數料ノ問題ハ色々御議論ガ出テ居リマスガ、私モ全部ガ自由經濟時代ト統制經濟時代トノ比較ヲシテ論ジテ居ルノデハナイノデアリマシテ、唯先般ノ御質問ニ豚ノ問題ガ出マシテ、農家ノ手取りノ上カラ見テ、八階段モ階段ヲ經テ居ルシ、手數料モ高イト云フ御話デアリマシタノデ、ソレハ自由經濟時代ト比ベテ見テ農家カラ見レバ畜商ニ買ハレテ居ツタ時ヨリハ今日ノ手數料ノ方ガ少イノダト云フコトヲ申上ゲタノデ、概括論ヲ別ニ申上ゲタノデアリマセヌ、併シ今ノ御話ノ如ク、自主的統制機關ト今度ノ國策會社ト手數料ヲ比較スルコト、是レ亦私ハ無理デハナイカト思ヒマス、ト申スノハ、何故ニ國策會社ヲ茲デ作ツテ來タカト云フ沿革ハ今西川君自身モ御述ベニナツテ居ル通り、農民自體ノ自主的機關デハ解決シ得ザル事態ニ直面シタノデアリマス、即チ國家ガ少イ物資ヲ重點的ニ配給スル爲ニ如何ナル機關ヲ設ケテ行ケバ宜イカト云フ場合ニ於テ、ヤハリ一ツノ機關デナケレバいかヌ、サウスルトソレヲ農家ノ自主的機關ニ委ネタノデハ、從來ノ商業者關係ノ色色ノ營業問題トモ打突カツテ參リマスシ、殊ニ集荷ト配給トヲ成ベク一元的ニシタ方ガ宜イト云フ見地カラ、茲ニ生産者モ加ヘ、又商人モ加ヘ、消費者モ加ハツテ一ツノ機關ヲ設クルコトニ於テ各業界ニ安定ヲ得セシメツツ一ツノ配給統制機關ヲ生ミ出シタノデアリマス、是ガ即チ國策會社又ハ之ニ準ズル統制機關デアリマス、隨テ産業組合系統ノ如ク税金ノ免除モアリマセ

ス、株式會社デアリマスカラ税金モ取ラレマスシ、又株式會社デアリマスカラ配當モ或ル程度シナケレバナラヌト云フノデアリマスカラ、自主的機關ノ産業組合或ハ農會等ノ手数料ト國策會社ノ手数料ヲ比ベテ見レバ、ソレハ恐ラク國策會社ノ手数料ノ方が高イダラウト私モ思ヒマス、甘諸ノ如キモ色々私ハ議論ガアルト思ヒマス、今ノ數字ヲ拜聽シマス、運賃「プール」ノ點ナドハ論外ニ置イテ居ラレヤウデアリマス、又公定價格ノ出來タ時ト自由價格ノ時トノ違ヒモアルノデハナイカト思ヒマス、其ノ點ハ數字のノコトデ私モ能ク分リマセヌカラ論ジマセヌガ、結局今言ツタヤウナ見地カラ國策會社ガ出來テ居リマスカラ、隨テ自主的經濟機關トノ手数料ノ違ヒト云フモノハ、是ハアリ得ルト思ヒマス、デアリマシガ、今後出來ル新農業團體ナリ、新水産團體ニ是等ノ國策會社ヲ全部吸收スルカドウカト云フコトニナツテ参リマス、是ハサウ簡單ニハ参リマセヌ、今申シタ通り沿革的ニ出來テ居ル機關デアリマスカラ、十分ソレ等ノ機能ヲ勘案シマシテ、吸收シ得ラレモノハ出來ルダケ吸收シテ行キタイト思ヒマス、併シ性質上下ウシテモ吸收シ得ラレナイモノモアリマスカラ、ソレ等ノ點ハ能ク事態ニ即シテ善處シテ参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○西川(貞)委員 現在ノ國策會社等ノ配給機關ノ沿革ニ對スル考ヘ方ハ全ク私共大臣ト同様ノ認識ヲ持ツテ居リマス、又配給ノ經費トカ、サウ云フ事柄ニ付テ自主的ノ統制機關ノ方が低廉ニ行クト云フ事實ニ對シテモ、大臣ハ御認メニナツテ居ラレハ譯デアリマスカラ、其ノ間モハヤ意見ノ相

違ハナイノデゴザイマシテ、是等ノ處理ニ付テ簡單ニ行カナイト仰セラレハ點モ御同感デアリマス、決シテ簡單ニ行クトハ私共モ思ツテ居リマセヌ、併シナガラ農林當局ガ、今日ノ農村ノ困難ナル生産事情ノ下ニ凡ユル困難ヲ冒シテ皇國農民タルノ誇リヲ持ツテ一路増産ニ邁進シツツアル農民ノ誠意ニ報イル爲ニ、斯クノ如キハ出來ルダケ合理的ニ一日モ早クヤラナクテハナラヌト云フ熱意ヲ持ツテ戴キ、其ノ指標ヲハツキリシテ戴キマスナラバ、私共モ此ノ法案ノ審査委員ヲ委託サレ、之ニ協賛致シマス責任上、又議會後ニ於キマシテモ微力ナガラ當局ニ御協力申上ゲ、サウシテ問題ガ一日モ早く處理出來テ、農民ノ期待スルガ如キ明朗ナル配給機構ナリ、集荷機構ガ確立スルヤウニ私共自體モ亦協力シナクテハナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ本案ノ協賛ヲ致シマス場合ニ於テハ、サウ云フ點ニ付テ私共モ亦奉公ノ熱誠ノ迸ル所ヲ現ハサナクテハナラナイノデハナイカトモ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ハ更ニ當局ニ於カレテモ十分御考慮シテ置イテ戴キタイト思フノデアリマス

次ニ此ノ委員會デモヤハリ一番ヤカマシク此ノ國策會社ノ問題ト共ニ論議ヲサレテ居ル一ツノコトデアリマス所ノ農事實行組合ノ問題デアリマス、是モ御答辯ヲ御聽キシテ居リマシテ、當局ノ御認識ニ少シヤハリ違フ所ガアルト私ハ思ヒマス、其ノ點ヲ指摘致シマシテ、是ハヤハリ相當ノ措置ヲ必要トスルノデハナイカト思フノデアリマス、先ヅ御伺ヒシタイコトハ、此ノ市町村ノ農業團體ノ構成分子トシテ農事實行組合ナルモノガ當然加入スルコトトハナツテ居ナイノ

デゴザイマスケレドモ、農事實行組合ナルモノノ日本ノ農政ノ上ニ於ケル、農業政策上ニ於テ持ツテ居ル所ノ位置ハ極メテ重大ナルモノガアルト云フコトハ十分御認識ニナツテ居ルト思フノデアリマス、私ハ率直ニ申上ゲマスガ、昭和六七年ノ頃カラ日本ノ農村ハ非常ナル不況ニ沈倫致シマシテ、農林省ノ非常ナル御努力、更生運動ガ行ハレマシタガ、是ハ非常ナル功績ガアツタト思フノデアリマス、今日此ノ困難ナル生産事情ノ下ニ戰時食糧問題ニ付テ日本ノ農村ガ責任ヲ負ウテ兎モ角モ國民ヲ飢エシメズシテ今日マデ參ツテ居リマスノハ、是ハ更生運動ノ效果ニ負フ所ガ非常ニ大キイト思フノデアリマス、私モ此ノ經濟更生運動ノ行ハレテ居リマス跡ヲ色々見マシテ、アノ時ニヤツタコトデ何ガ一番要點デアツタカト云フト、今マデ各個別ニバラ／＼デアツタ農家ガ部落單位ニ組織化サレタト云フコトデアル、是ガ一體ニナツタト云フコトデアル、現在大政翼賛會ガ大政翼賛運動ヲ展開シツツアルガ、現在ノ隣組ト云フモノハ是ハ大政翼賛會自體ガ作ツタ譯デゴザイマセヌ、御承知ノヤウニ内務省ニ於テ色々御心配ニナリ、或ハ東京ニ於テハ東京市ノ如キ非常ニ努力シテ隣組ノ結成ラシテ今日ニ至ツタノデアリマス、要スルニ新體制運動ガ色々經過シテ、其ノ中ニハ良イコトモアリマシタデセウ、又誤ツタ點モアツタカモ知レマセヌガ、結局後ニ殘ル一番ノ功績ハ何カト云フト、ヤハリ隣組ダト思フ、此ノ隣保團體ガ相結束シタコトデアル、日本ノ農業政策推進ノ上ニ實行組合ノ持ツテ來タ功績ト云フモノハ極メテ大ナルモノガアルノデゴザイマスガ、是ガ今度ノ農業團體法ニ依ツテ無視サレタ恰好ニナツテ居ル

コトハ、少クトモ實行組合ヲ以テ自分ノ大家ノヤウニシテ、自分達ノ一軒々々ノ小サナ家ノ上ニ屋根ヲ下ロシテ居ル大家ノヤウナ氣分デ、實行組合ヲ基礎トシテ農業ニ勵ンデ居リマス人達ニ取ツテハ極メテ淋シイコトデアアルト私ハ思フノデアリマス、是ハ農民ノ士氣ヲ沮喪セシムルコト極メテ大ナルモノガアルト思フノデアリマス、此ノ自然ニ發生シマシタ部落ナルモノハ氏神様ヲ中心ニシテ、其ノ土地ト祖先ノ生活ト氏神様ヲ上ニ奉ジテ一體トナツテ來タ日本ノ農村ノ歴史ノ上カラ考ヘマシテモ、是ガ産業組合法ニ依ツテ農事實行組合トシテ初メテ法制上ノ存在トナリ、漸ク明ルミニ出テ非常ニ勵ンデ居ツタ人達ガ此ノコトニ依ツテ非常ニ失望シハシナイカ、意氣沮喪シハシナイカト云フ點ニ付テハ私共モ非常ナル心配ニ堪ヘナイノデアリマス、先ヅ私ノ御伺ヒシタイコトハ、此ノ法律ニハ採上ゲラレナカツタケレドモ、農政上ノ一ツノ實踐部隊トシマシテノ實行組合ノ持ツ地位、今後ノ農政ノ展開ノ上ニ、農政ノ推進ノ上ニ實行組合ヲドウ云フ風ニ導カレルカ、ドウ云フ風ニ取扱ウテ行カレルカト云フコトニ付テハ如何ナル御考ヘガオアリナサルカ此ノ際御明示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 只今農事實行組合ノ問題ニ付テ御尋ネニナリマシタガ、今日農林行政ハ唯法律部面カラノミ判斷モ出來マセヌケレバ、又豫算面カラノミデモ判斷ハ出來ナイ、全體ノ農林行政ヲ掌ル農林省ノ指導方針、根本方針ニ於テ之ヲ如何ニ取扱ツテ行カト云フコトニ依ツテ御判斷ヲ願フコトガ適當デアアルト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於テノ御質問ダト思フノデアリマス

第六類第八號 農業團體法案外一件委員會會議錄 第五回 昭和十八年二月四日

ガ、元々農事實行組合ハ自然的發生ノ團體デアリマス、農村ガ不況時代ニ於テモ、又其ノ他ノ時代ニ於テモ、發展シテ参リマス爲ノ、今御話ノ農民自體ガ固マツテ行クト云フコトノ必要カラ生ジテ來タ一ツノ組織體デアルノデアリマスルカラ、是ハ吾々トシテモ飽クマデモ維持育成シテ参リタイト考ヘテ居リマス、隨テ之ヲ其ノ當時産業組合法ノ改正ノ時ニ、簡易法人ノ資格ヲ與ヘタノデアリマス、サウシテソレト同時ニ産業組合ニ結付ケタ法制ノ沿革ヲ持ツテ居リマスルガ、是ハ唯其ノ當時ノ産業組合ノ員外利用其ノ他色々ノ關係カラ、金融ヲサウ云フ方面ニモ與ヘタイト云フコトカラ其ノ法制ヲ採ツタノデアリマスガ、今日此ノ農業團體法ノ中ニ之ヲ所謂強制加入シナイト云フコトハ、結局農民自體ガ組合員ニナルノデアリマスルカラ、二重ノナ強制加入ヲ避ケタダケデアル、其ノ爲ニ農事實行組合ト云フモノヲ考ヘナイト云フコトハ勿論ナイ、今申シタ通り農事實行組合ハ、ヤハリ産業組合法ニ依ツテ簡易法人タル資格ハ依然トシテ持ツテ居リマス、又仕事ノ上ニ於テノ團體トノ結付キモ、色々ノ方法、今度ハ行ヒ得ルヤウニシテアルノデアリマスカラ、隨テ農事實行組合ニ付テノ取扱ハ今マデト少シモ違ツテ居ナイノデアリマス、唯法制上強制加入ニナツテ居ナイト云フダケデアリマス、事實ハチツトモ今マデノ取扱ト違ヘナイ、農林省ノ指導方針ノ下ニ之ヲ維持育成シテ参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

意見デアリマシテ、私モ實ハサウデアラウト思ツテ割合安心シテ居ツタ、其ノ點ハ更ニ念ヲ押シテ御尋ネシタイノデアリマスガ、政府委員ノ御答辯デハ一應脱退シナケレバナラスト云フ、現在産業組合ニ加入シテ居ル農事實行組合ガ、團體員トシテ其ノ儘引ソレカラ入リタイ者ハ實行組合トシテ加入出來ルノデスカ、一寸其ノ點ガハツキリシマセヌカラ伺ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 只今ノ大臣カラ御答辯ノ御趣旨ハ、實質的ナ意味ニ於テノ農林省ノ實行組合ノ取扱ノ方針ニ關スルコトデアツタト私思フノデアリマス、此ノ農業團體法ニ於キマシテハ、農事實行組合ハ會員ニシナイト云フコトニナツテ居リマスカラ、法制デハサウ云フコトニナツテ居リマス、唯取扱ノ實際問題ト致シマシテハ大臣ノ述べラレタ通りデアリマス、尙ホ其ノ取扱トシテハ不變デアルト云フ趣旨ヲ法制的ニ此ノ法案ニ盛り込シテ居ルコトハ、先般來私申述ベタ通りデアリマス、唯二重ニ團體トシテノ表決權ヲ行使シナイト云フコトガ違フダケデアリマス

○西川委員 ドウモ其ノ點ガ私ハツキリ吞込メナイノデアリマスガ、會員デハナイガ農事實行組合ニ付テ、此ノ團體ハ金ヲ貸シタリスルノデスカ

○重政政府委員 サウ云フコトハ出來ルノデス、ソレハ法案ノ第十一條ノ四項デアリマス、地方農業會ノ施設ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員以外ノ者ヲシテ之ヲ利用セシムルコトヲ得、ト云フノデアリマシテ、之ニ依ツテソレヲ出來サス積リデ居ルノデアリマス、是ハ先般御答辯申上ダタ通りデアリマ

ス、ソレカラ更ニ農業統制ニ關係シテノ問題モ、協力命令ヲ廢シテ從來ト變リノナイヤウニ致ス、斯ウ云フコトヲ申上ダテ置イタ答デアリマス

○西川委員 法制上ノ關係ハ稍、私モ吞込メマシタ、所ガサウ云フヤウナ取扱デハ是ハヤハリ生産力ノ上ニ非常ナ問題ガ起ル、ソレハドウ云フ關係カト云フト、先般カラノ御答辯ヲ聽イテ居リマスノニ、其ノ點ニ付テドウモ御認識ガ徹底シテナイト私ハ思フノデスガ、大體實行組合ガ産業組合ニ加入シタノハ、出資ノ關係カラ獨リデハ出資ガ出來ヌカラ、組合デ一口出資ヲスレバ宜イデハナイカト云フヤウナコトデ入ツタ、今度ハ皆ノ者ガ當然加入スルノダカラ、何モサウ云フ風ニ一括シテ入ラナクモ宜イノダ、斯ウ云フヤウナ御考ヘダト思フ、所ガ實行組合ト云フモノハサウデヤナイ、ソレヨリ違ツタ積極的意味ヲ持ツテ居ル、ソレハドウデアアルカト申シマス、一部落二十戸ノ部落デアリマス、其ノ中ニ二戸ヤ三戸ハ全然信用「ゼロ」ノ零細農ガ居ル、是等ハ今後モ農業團體ノ會員トナツテ加入スルノデス、加入ハシマスケレドモ、金融ヲ受ケル場合ニハ其ノ者ノ信用程度ノ金融シカ受ケラレナイ、サウ云フ風ナ連中ハモウ借レルダケハ借りテ醫者ノ拂トカ、娘ノ着物ヲ買ウテヤツタトカ云フヤウナコトデ、アト借リル餘裕ハ一ツモナイ、ソコデ肥料ノ資金其ノ他生産ニ絕對必要ナ資材ノ購入資金ヲ借リルコトガ出來ナイカラ、零細農ハ田ニ肥料ヲ入レルコトガ出來ナイ、零細農ノ田ガナゼ收穫ガ低位收穫デアアルカト云フト、其ノ主たる原因ハ自分ニ資力ガナイカラ、肥料ヲ買ウテ入レルコトガ出來ナイ、所ガ實

行組合ガ出來マス、其ノ實行組合ニ對スル信用デ其ノ部落内ニ肥料ヲ入レテヤル、實行組合ガ連帶責任デ其ノ肥料資金ノ融通ヲ受ケルノデアリマスカラ、其ノ部落全部ノ者ニ肥料ヲヤル、ソコデ零細農ノ田ニ初メテ肥料ガ入ル、是ハ私モ非常ニ其ノコトヲ痛感シタノデアリマスガ、先年自分ノ村ニ歸リマシタ時、村ノ農家ノ古老ニ村ノ入口ノ所デ一緒ニナリマシテ、ソレカラズツト自分ノ家ニ歸ル沿道ヲ見ルト、非常ニ田ガ良ク出來テ居ルノデ、今年ハ非常ニ良ク田ガ出來テ居ルデヤナイカト云ツテ話ヲシマシタ所ガ、イヤ是ハ實行組合ノ御蔭デス、實行組合ノ御蔭デ皆シナノ田ニムラガナク肥料ガ入リ出シタ、今マデハ貧乏ナ者ハ肥料ヲ買ウテ入レルコトガ出來ナカツタノガ、實行組合ノ御蔭デ肥料ガ入ルヤウニナツタト言ウテ喜ンデ居リマシタガ、私確カニサウダト思フ、一部落ガ一體トナツテ、連帶責任ヲ負ウテ總テノ生産資材ヲ購入スルカラ、ソレニハ組合ガ金融ヲ付ケテ、肥料ノ金ハ收穫後デ支拂ヘバ宜イト云フヤウナコトデ行ケルカラ斯ウナルノデス、所ガ實際ヲ申シマス、サウ云フヤウナ零細農ノ爲ニ、連帶責任ヲ負ウテ肥料資金デモ借りテヤツテ、行クト云フコトハ、是ハ人情トシマシテ、餘裕ノアル者トシマシテハ有難イコトデハナイノデアリマス、ナイケレドモヤハリ政府ノ御指導ガドウシテモ連帶デヤラナケレバナラスト云フ御指導ヲヤツテ、農事組合ハ實行組合トシテ簡易法人トシロ、簡易法人トナツタモノハ産業組合ニ加入シテ、連帶責任デ肥料ナドヲ購入セヨ、ト云フ御指導デアツタカラソコヘ來タノデアリマス、今ノヤウニ會員以外ノ者ヲシテ之

行組合ガ出來マス、其ノ實行組合ニ對スル信用デ其ノ部落内ニ肥料ヲ入レテヤル、實行組合ガ連帶責任デ其ノ肥料資金ノ融通ヲ受ケルノデアリマスカラ、其ノ部落全部ノ者ニ肥料ヲヤル、ソコデ零細農ノ田ニ初メテ肥料ガ入ル、是ハ私モ非常ニ其ノコトヲ痛感シタノデアリマスガ、先年自分ノ村ニ歸リマシタ時、村ノ農家ノ古老ニ村ノ入口ノ所デ一緒ニナリマシテ、ソレカラズツト自分ノ家ニ歸ル沿道ヲ見ルト、非常ニ田ガ良ク出來テ居ルノデ、今年ハ非常ニ良ク田ガ出來テ居ルデヤナイカト云ツテ話ヲシマシタ所ガ、イヤ是ハ實行組合ノ御蔭デス、實行組合ノ御蔭デ皆シナノ田ニムラガナク肥料ガ入リ出シタ、今マデハ貧乏ナ者ハ肥料ヲ買ウテ入レルコトガ出來ナカツタノガ、實行組合ノ御蔭デ肥料ガ入ルヤウニナツタト言ウテ喜ンデ居リマシタガ、私確カニサウダト思フ、一部落ガ一體トナツテ、連帶責任ヲ負ウテ總テノ生産資材ヲ購入スルカラ、ソレニハ組合ガ金融ヲ付ケテ、肥料ノ金ハ收穫後デ支拂ヘバ宜イト云フヤウナコトデ行ケルカラ斯ウナルノデス、所ガ實際ヲ申シマス、サウ云フヤウナ零細農ノ爲ニ、連帶責任ヲ負ウテ肥料資金デモ借りテヤツテ、行クト云フコトハ、是ハ人情トシマシテ、餘裕ノアル者トシマシテハ有難イコトデハナイノデアリマス、ナイケレドモヤハリ政府ノ御指導ガドウシテモ連帶デヤラナケレバナラスト云フ御指導ヲヤツテ、農事組合ハ實行組合トシテ簡易法人トシロ、簡易法人トナツタモノハ産業組合ニ加入シテ、連帶責任デ肥料ナドヲ購入セヨ、ト云フ御指導デアツタカラソコヘ來タノデアリマス、今ノヤウニ會員以外ノ者ヲシテ之

ヲ利用セシムルコトヲ得ルト云フナラ、何モ皆會員デアルカラ、自分ノ力、自分ノ信用力ヲ購入スレバ宜イデハナイカ、ソコヘ吾々ガ組合トシテ連帶責任デ更ニナル必要ハナイデハナイカト云フ議論ガ起リ易イ、ソコデハハヤハリ其ノ儘デハ、サウ云フヤウナ傾向ガ出テ來マスト、所謂零細農ノ田ニハ肥料ガ入ラスト云フヤウナ現象ガアツチコツチニ當然起ツテ來ル、是デハ生産力ハ當然減退ヲ來ス、ソレカラ農林省ノ氣分トシテモ、大體ニ於テハ農業指導ト云フコトハ昔ノ個々ノ農家ヲ對象トシテ指導シテ來タノガ、一步進ンデ集團ノ指導ニナツテ居ル、部落團體ヲ集團ノニ指導スル、集團ノ指導ヲスル限リニ於テハ經濟上ノ諸行爲ニ於テモヤハリ部落團體單位ノ集團ノ指導、斯ウ云フコトガ必要デアル、サウ云フ意味デハ寧ロ私共ハ市町村農業會ノ會員ハ個々ノ農家ヲ會員ニセズシテ、團體組合員ニシテ其ノ團體ガ更ニ其ノ中ノ農家ノ一切ノ團體、是ガ基礎デアル、サウシテ此ノ上ニ町村農業會ガ成立ツト云フコトガ、寧ロ私ハ皇國農村トシテノ本當ノ組織化サレタ姿デアルト見ルノデアリマス、此ノ點ハ極メテ御同感デアラウト思フ、御同感デアルガ、色々外ノ方ニモ事情ガアツテ、ドウモ斯ウ云フコトニセザルヲ得ナカツタト云フヤウナコトカモ知レマセヌ、併シナガラ法律ハ政府ダケデオ作りニナルノデハナイノデアツテ、帝國議會ガ協賛ヲ致スノデアリマシテ、帝國議會ニ於テ適當ナル修正ヲ加ヘルコトハ、是ハ帝國議會ニ與ヘラレタル權能デアツテ、其ノ點ハ本當ニ今ノヤウナ斯ウ云フヤリ方デ宜イノカドウカ、本當ニ信念ヲ以テ是デ宜イト仰シヤルノデアルカ、私

ハココハ斯ウ云フ戰時下ノ議會デアリマスカラ、寧ロ外ニ向ツテ大キナ聲デ、近所隣ニ夫婦喧嘩ヲシテ居ルノガ分ルヤウナ大キナ聲デ以テ取ツ組合ヒハシナイガ宜イガ、併シジツクリ話合ツテ、サウシテ修正スベキモノハ修正シテ行クト云フヤウナ態度ハ、斯ウ云フ時コソ肚ヲ割ツテ、サウシタ方ガ宜イノデヤナイカト思フ、此ノ點ニ付テ一ツ大臣ノ御考ヘヲ伺ヒタイ、修正シテ宜イトハ仰シヤイマスケレドモ……

○井野國務大臣 今西川君ノ御質問ハ、私ガ多分同感ダラウト云フ前提デゴザイマスガ、ソレハ私ハ同感デハゴザイマセヌ、ソレハ今日ノ法制ノ建前カラ考ヘマシテ、強制加入ト云フ問題ヲ能ク考ヘナケレバナナイ、今日農事實行組合ハ強制加入ニスル、農事實行組合ノ組合員ハ強制加入ニナツテ居リマセヌ、是ハ自然發生ノ團體デアリマス、サウスルト自然ソコニ法制的ニ大キナ穴ガ開ク、ヤハリ町村農業團體トシテ其ノ町村内ノ農民ガ全部入ルト云フ所ニ、新農業團體ノ大キナ性格ガアルノデアリマス、農民全體ガ加入シテ、サウシテ打ツテ一丸トシテノ生産ナリ供出ノ機能ヲ發揮シテ行ク、サウシテ國家ノ政策ニ呼應シテ行クト云フ所ニ此ノ團體ノ特異性ガアルノデアリマスカラ、隨テ唯自然發生シタ所ノ經濟團體ダケガ強制加入サレテ行クト云フ行キ方ハ、私ハ寧ロ執ラナイノデアリマス、併シ經濟團體タル農事實行組合ノ運用ニ付キマシテハ、今ノ西川君ノ御意見ニ私ハ全く同感デアリマス、零細農等ガ會員トシテ借リ得ザル資金ヲ實行組合ヲ通ジテ借リコトガ、餘程能率のデアルコトハ御説ノ通りデアリマス、デアリマスカラソレハ指導ノ問題

デアリ、運営ノ問題デアツテ、法制ノ問題デハナイノデアリマス、デスカラ法制ト指導運営トヲ混同セラレナイヤウニ一ツ御願ヒシタイ、私ノ氣持ハ西川君トチツトモ違ツテ居ナイ、其ノ通り導イテ行キタイと思フ

○西川委員 氣持ハ御同感デアラウト私モ思ヒマスガ、此ノ法制上ノ取扱ニ付テ、此ノ席デ御同意ヲ戴クコトハ無理デアリマセウカラ、大臣ノ御答ヘハ其ノ程度デ私諒承致シマス

次ニ在來ノ產業組合運動ノ一翼トシテ、醫療厚生事業ト云フモノガ相當大キナ部門ヲ持ツテ居ッタノデアリマス、又農村ト致シマシテモ、今後ノ所謂皇國農村ニ與ヘラレタル使命ヲ果ス上ニ、所謂健兵健民、健康ナル皇民ヲ多數生ミ出シテ行キマス上ニモ、農村ニ於ケル所ノ醫療厚生事業ガ極メテ大切デアルト云フコトハ、申スマデモナイノデアリマス、サウシテ又產業組合ノ行キ方カラ云ヒマシテモ、相當ノ資金ヲ持ツテ居ル、今後貯蓄運動ガ強化サレレバサレル程、產業組合ガ保有スル資金ハ多クナツテ行ク、農業團體ノ資金ハ多クナツテ行ク、其ノ資金ヲドウ云フ風ニ運用スルカ、是ハ國策ニ副ヒマシテ國債ノ消化其ノ他ニモ協力スルコトハ勿論デアリマスケレドモ、ソレヲ直接農民ガ利用致シマスル一番手近イ役ニ立ツ方法、皆ニ喜バレル利用ノ方法ハ、醫療厚生事業デアツタノデアリマス、此ノ醫療厚生事業ハ今度ノ新農業團體トシテハ、ドウ云フ風ニ處理シテ行カレルモノカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイ

○井野國務大臣 ソレハ從來トチツトモ變ラナイ方針デ行キタイと思ツテ居リマス

○西川委員 從來通り此ノ團體ガ醫療厚生事業ヲ行ウテ行ク譯デスネ、ソレカラ健康保險組合ノ代行ト云フモノモ、新農業團體ガ產業組合ガヤツテ居ッタノヲ引繼グ譯デスカ

○井野國務大臣 其ノ通りデス

○西川委員 最後ニ一點御伺ヒシタイノハ、會長選任ノ問題デアリマスガ、市町村農業會ノ會長ハ、總會ニ於テ推薦シタ者ヲ地方長官ガ任命スル、又府縣ノ農業會ノ會長ハ、地方長官ガ推薦シタ者ヲ主務大臣ガ任命スルト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、市町村ノ會長ニ付キマシテ、政府委員ノ御答辯ニ依リマスト、町村長ノ場合ニハ町村會ニ於テ選任シタ者ヲ地方長官ガ認可スル、推薦シタ者ヲ任命スルノモ、選任シタ者ヲ認可スルノモ、實質的ニハ同ジデアル、斯ウ云フ御答ヘデアツタノデアリマスガ、若シ實質的ニ同ジデアラナラバ、是ハ一ツノ自主的責任團體デアルト云フ意味ニ於キマシテハ、ヤハリ總會ニ於テ選任シテ、之ヲ認可サレル制度ヲ採ラレタ方ガ宜イデハナイカ、詰リ實質的ニ於テ同ジデアツテ、政府ノ方デソレデモ宜イノナラバ、此ノ團體ハ何處マデモ農民ノ自主的ノ責任團體デアル、農民ガ責任ヲ負ウテ、此ノ團體ニ依ツテ國策ニ協力シテ、農業國策ノ推進ニ任ジテ行クノガ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテハ、其ノ選出ノ責任ガ總會其ノモノニアツテ、之ヲ認可サレルト云フ建前ノ方ガ宜イノデハナイカ、ソレカラ又全國團體ノ方ハ是ハ兎モ角トシマシテ、府縣ノ農業會ノ會長ハ地方長官ガ推薦シテ、主務大臣ガ之ヲ任命サレルノデハ、會員トノ間ノ直接ノ繋リガ餘リニモ無サ過ギルト思フ、矢萩

大佐ガ内原ノ訓練所デ行ハレマシタ講演ハ、色々ノ意味ニ於テ多大ノ衝動ヲ與ヘタノデゴザイマスガ、私共ハ新聞デ拜見シタノデアリマスアレドモ、其ノ新聞記事ノ末尾ニ、農政ニ携ハル官吏ノ如キハ農民自身ガ大イニ官吏トナツテ、農民自身ニ依ツテ農業ノ政治ヲ行フガ宜イ、斯ウ云フヤウナ御説ガアツタノデアリマス、是ハアソコニ集マツテ居ル人々ニ非常ナ衝動ヲ與ヘタヤウデアリマス、アソコニ集マツテ居ツタ人ノミナラズ、農村ノ人ニ多大ナ衝動ヲ與ヘタヤウデアリマス、日本農林行政ノ各部門ニ於テ、農民自體ガ其ノ行政ニ當リ得ルカドウカ、其ノ可能性ガアルカドウカ、ソレガ果シテ適當デアアルカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ此ノ際何モ申シマセヌケレドモ、少クモ農業團體ヲ指導シ、團體ノ事務ヲ處理シテ行キマスル會長ノ如キハ、是ハヤハリ會員自體ガ選出スルト云フ建前ニ立ツノガ、私ハ當然ダト思フノデアリマス、申スマデモナク國務大臣ハオ上ノ御親任ニ依ツテ大政輔弼ノ重責ニ當ラレル、國民ト致シマシテ國務大臣ノ地位ニ對シマシテ、彼此レノ感じヲ持ツ道理ハナイノデゴザイマスガ、ソレデモ農林大臣ガ昨年ノ春ノ選舉ニ敢然トシテ立候補サレテ、サウシテ衆議院ニ議席ヲ御持チニナル、是ハ又一面アノ地方ノ者ト致シマシテハ甚ダ迷惑カモ知レマセヌ、一向議員トシテノ職責ヲ御果シニナラナイ、ケレドモ議員トシテノ職責ヲ御果シニナラウガナルマイガ、農林大臣ヲ議員トシテ選出致シテ居リマスルコトハ非常ナ誇リデアリ、又全國農民ノ大臣ニ對シマス、自分等ニ緣故ガアリ、繋リガアルノデ、

自分等ノ意思一ツ、ヤリ方一ツデハ落選セシメルコトモ出來ルノダト云フ氣持デス、是ハ甚ダ失禮ナコトヲ言フヤウデスガ、私共ニ對シテ皆ガ親シミヲ持ツノハソレナノデス、アイツ生意氣ナコトヲ言フケレドモ、俺ノ筆先一ツデ落選セシメルコトガ出來ルノダト云フ氣持ガ、其ノ者ニ對スル親シミデアリ、又私共ハ選舉ノコトヲ考ヘテ色々ナコトヲスルト云フコトハ絕對ニアリマセヌケレドモ、併シナガラヤハリ選舉ヲ致シマスカラ、物ヲ言ヒマスニモ氣ヲ付ケテ言ヒマスシ、中々努力スル點モ違ヒマス(笑聲)是ハ理窟デハアリマセヌ、現實ノ事實デアリマス、ソレデアリマスカラ、此ノ農業團體ノ如キハ地方長官ガ推薦シテ、主務大臣ガ之ヲ任命スル、サウ云フ會員トノ繋ガリノ全然ナイト云フコトヨリモ、何カノ方法デハ會員トノ繋ガリヲ持タセル必要ガアルト思フ、此ノ頃サウ云フ役員ガ地方ニハ多イ、自分等ヲ代表スルモノデアリナガラ、自分等ト關係ガナイ、アノ長官ト大學ガ同期デアアルカラアレガナツタノデアラウ、アレハ警察部長ト懇意デアアルカラサウナツタノデアラウト云フ噂ヲ頻リニシテ居ツテ、ソレガ自分等ノ代表ト云フ恰好デアリマスカラ、自分等ガ責任ヲ一ツモ感じナイ、ソレガヤリ損ハウガ、痛痒ヲ少シモ感じナイト云フモノガ近來地方ニアルノデアリマスガ、サウ云フコトニ農業團體ノ會長ガナリマシタナラバ、是ハ所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思ヒマス、ソコデ私ハ政府委員ノ御答辯ニ於テモ、實質ニ於テ違ヒガナイト仰シヤルノデアリマスカラ、セメテ市町村ノ農業會ノ會長ハ總會ニ於テ選任シマシテ、行政官廳ガ之ヲ御認可ニナ

ル、ソレカラ府縣ノ會長ハ其ノ府縣ノ總會ニ於テ候補者ヲ推薦シテ、主務大臣ガ御任命ニナルト云フヤウナ程度ニデモシマシテ、サウシテ會員トノ繋ガリヲ付ケルコトガ、此ノ農業團體ノ所謂龍點睛デアアル、其ノ點ニ一ツ最後ノ眼ヲ入レナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアリマスガ、ソレニ對シテ如何デゴザイマセウカ、御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○井野國務大臣 農業團體ノ會長ノ選任、任命ノ問題ハ、西川君モ此ノ法案ヲ農林省トシテ成立サセマス爲メ色々ノ經過ヲ、能ク御承知ノ上デノ御質問デアアルト思フノデアリマスガ、農林省モ其ノ間ニ於テハ内務省其ノ他トノ話合ヲ續ケテ參リマシタ、此ノ法制ヲ以テ進ンデ行クコトガ自治團體トノ關係、又縣ノ色々指導監督ノ關係上最モ適當デアアルト云フガ故ニ、茲ニ落着イテ、是デ提案ヲシタノデアリマス、其ノ事情ヲ御知りノ上デ、又色々御質問ヲ戴キマス、洵ニ私モ苦シイノデアリマスガ、サウ云ツタ事態デアラウ居ルノデアリマシテ、強ヒテ答辯ヲシロト仰シヤレバ、結局主務大臣ガ中央ノ團體、地方ノ團體ヲ任命シマス、隨テ町村ノ團體モ任命ヲスルト云フコトガ、筋ガ通ツテ行クノデアリマス、是ハ形式的ノ答辯デアリマス、今ノ御言葉ノ中デ、私モ代議士ニ出テ、代議士ノ職責ヲ盡シテ居ナイト云フコトデアリマシタガ、其ノ御言葉ダケハ御取消ヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ點ハ大イニ盡シテ居ルト思ヒマスノデ、何カノ機會ニ御訂正ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

カレルコトハ難カシイト考ヘマスアレドモ、吾々議員ニ着イテ居リマス者ノ何十倍ノ御職責ヲ盡サレテ居リマスコトハ存ジテ居リマス、唯私ハ形式的ノコトヲ申シタノデアリマシテ、失言取消シマス、私ノ質問ハ終リマス

○東郷委員長 尙ホ此ノ法案直接ノ事項ニ付テノ御質問ガ殘ツテ居ルカモ知レマセヌガ、大體是デ一通リ終了致シマシタカラ、是カラハ本日午前間宮君ガ御始メニナツタ法案間接ノ關係諸問題ニ付テ質疑ヲ進メルコトニ致シタイト思ヒマス、尙ホ法案ニ付テノ直接ノ質問ト、殘ツテ居ルモノガアレバ適當ノ時期ニ御許シスルコトニ致シマス——石坂繁君

○石坂(繁)委員 私ハ去ル三十日ノ本會議ニ於キマシテ、本法案ニ對スル質疑ヲ致シ、ソレニ大臣ヨリ御答辯ヲ戴イタノデアリマスガ、更ニ其ノ趣旨ヲ擴張致シマシテ、大臣ガ申サレマス如ク、此ノ戰力増強ノ一翼トシテノ日本農業確立ノ見地カラ、又食糧其ノ他重要農産物ノ生産確保ト云フ國家的使命完遂ノ立場カラ致シマシテ、現下ノ重要ナル農業政策ニ付キマシテ、農林大臣ノ所見ヲ承リタイト存ジマス、支那事變ガ段段進ミマシテ大東亞戰爭ニナリ、日本ノ産業經濟ノ部門ノ統制ガ段々強化サレテ參リマシテ、各方面ニ於キマシテ再編成ヲ必要トスルニ至ツタノデアリマスガ、日本農業モ亦再編成途上ノ産業經濟ノ一部門ト致シマシテ、再編成セラレナケレバナラヌコトニ相成ツタノデアリマス、私ハ日本農業再編成ノ方向ヲドウ考ヘテ居ルカト申シマス、簡單ニ申シマスナラバ、私ハ從來ノ日本農業生産ト云フモノガ自由生産デアツタ

モノガ計畫生産へ移行シテ參ツタ、尙ホ個人經營デアツタモノガ國家の使命完遂へノ經營ト云フコトニナツテ參ツタ、而シテ生産責任體制が確立セラレナケレバナラスヤウニナツタ、是ガ日本農業再編成ノ方向デアラウト存ジマス、而シテ再編成ノ内容ハ如何ナルモノヲ持ツテ居ルカ、斯ウ申シマスト、先ヅ以テ農地ノ問題ガ取上ゲラレテ來ナケレバナライ、而シテ農地ノ問題ハ先ヅ自作農創設ノ如キ、或ハ適正規模面積ノ如キ、又耕地ノ交換分合ノ如キモノガ取上ゲラレテ參ル、サウシテ經營ノ合理化、即チ其ノ中ニハ機械力ヲ導入スル、或ハ經營ノ多角化、或ハ又共同作業ノ強化、斯ウ云フ風ナコトガ考ヘラレテ參ルノデアリマセウ、而シテ又日本民族ノ基盤トシテノ農村ノ維持育成ト云フコトガ當然採リ上ゲラレテ參ラナケレバナラスノデアリマシテ、ソレニ對シマシテハ、當局御計畫ノ皇國農村ノ確立ノ如キ、或ハ農業人口四割保有ノ問題ノ如キモ採リ上ゲラレテ來ルモノト存ジマス、私ハ斯ウ云フ觀點カラ致シマシテ、以下數項ニ付卑見ヲ述ベテ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

第一ハ自作農創設維持ニ關スル問題デアリマス、先日ノ本會議ニ於キマシテモ大臣カラ御答辯ガアツタノデアリマスルガ、此ノ再編成ノ途中ニ於キマシテ、當局ノ執ラレテ居ル農地制度ノ軸心ガ、依然トシテ自作農創設ニアリマスルコトハ私ハ之ヲ是認ヲ致シマス、而シテ承ル所ニ依リマスルト、政府ハ昭和十八年ヲ起點ト致シマシテ、從來ノ自作農創設事業ニ大キナル改編ヲ企テラレテ居ルヤウデアリマス、即チ其ノ事業ノ内容ハ、既墾地ニ於キマシテハ昭和十八

年ヨリ昭和四十二年マデノ此ノ二十五箇年間ニ百五十万町歩、更ニ開墾地ニ於キマシテハ本年ヨリ昭和三十一年マデニ約五十万町歩、合計二百五十万町歩ノ土地ニ付キマシテ之ヲ自作農化セラレヨウトスルノデアリマス、此ノ計畫通りニ進ンデ參リマスルト、二十五年ノ後ニハ、現下ノ日本ノ小作地總面積二百七十八万町歩ノ大體七割ノ土地ガ自作農化セラレルト云フコトニナルノデアリマシテ、是ハ日本ノ農業機軸ノ上ニ頗ル大キナル改革デアルト存ジマス、隨テ私ハ此ノ計畫ヲ樹立セラレ、更ニ其ノ實施ニ當リマシテ當局ハ、或ハ從來ノ創設資金ノ體カ四倍位ニナルカト思ヒマスガ、一億七千万圓ノ創設資金ヲ放出セラレ、或ハ又貸付ノ方法ヲ簡易化サレ、更ニ又内地移民ニ對スル所ノ補助金ヲ交付サレルト云フガ如キ、斯様ナ特殊ナ考慮ヲ御拂ヒニナツテ居リマスルコトハ私ハ頗ル多ト致シマス、併シ此ノ二十五箇年計畫ヲ樹立サレニ當リマシテ、從來ノ自作農創設維持ノ經過ヲ顧ミテ見マスル時ニ、計畫ハ立派デアツテモ、其ノ實績ハ最初ノ所期ノ目的通り十分ニ達セラレテ居リマセス、サウ云フコトヲ考ヘテ見マスル時ニ、此ノ計畫ニ對シマスル、右申シマシヤウナ特別ナル考慮ハ拂ツテアルノデアリマスルケレドモ、モツト根本的ナル點ニ付テノ政府ノ御考慮ガ缺ケテ居リハシナイカト云フコトヲ私ハ感ズルノデアリマス、ソレハ何デアアルカト申シマスルト、此ノ既墾地百五十万町歩ヲ如何ニシテ地主ガ之ヲ提供スルカト云フ問題、隨ヒマシテ是ハ農地價格ノ問題、更ニモウ一ツハ創設セラレマシタル自作農ガ二十五箇年間に一軒モ没落シナイデ居ツテ初メテ七割ノ土地ガ自

作農地トシテ殘ルノデアリマスルケレドモ、此ノ間ニ於ケル自作農維持ノ問題ニ關シマシテノ政府ノ考慮ガ缺ケテ居ヤウニ存ジマス、午前中間宮君ノ御質問ノ中ニモ、此ノ自作農ニ關スル土地價格ニ付テノ話ガアツタノデアリマスルガ、今日ノ地主ハ必ズシモ自分ノ所有土地ヲ手放サナイトハ言ウテ居リマセス、併シナガラ要ハ價格ノ問題デアラウト存ジマス、現ニ昨年十一月十三日ノ帝國農會ノ通常總會ニ於ケル「農地制度改善ニ關スル建議」ニ於テ「自作農對策ヲ擴充強化スルコト」ヲ決議セル中ニモ、「自作農創設ノ爲ニ供用スベキ農地ノ價格ニ關シマシテハ特例ヲ設クルコト」ト云フ趣旨ノ一項ガ挿入サレテ居リマス、土地ガ高クナケレバ地主ハ手放サナイ、併シナガラ高イ土地ヲ買ツテ小作人ガ自作農ニナルト云フコトハ、結局負擔ガ加重サレルトナル、サウ致シマスルト、農業生産ニ再投下サルベキ資金ト云フモノハ少クナツテ參リマス、隨テ増産ノ實ヲ擧ゲルコトガ出來ナイバカリデナク、聽テハ又其ノ創設セラレタ自作農ハ小作農ニ没落シナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、外國ノ法制ノ中ニハ、地主ヲシテ其ノ土地ヲ自作農地トラシメルヤウニ間接的ニ強制スル方途ヲ講ゼラレタ政策ヲ執ツタ國モアルヤウデアリマスルガ、今日ノ日本ノ國情カラ申シマシテ、現ニ政府ガ執ツテ居ラレル自作農創設ノ方法ハ、所謂直接自由創設主義ト申シマセウカ、サウ云フ建前ヲ執ツテ居ラレルト思フノデアリマシテ、斯様ナル建前ヲ執ツテ居ル日本ニ於キマシテ、新タニ自作農創設ノコトヲ改編セラレントスル場合ニ、此ノ自作農地トシテ供用サレル土地ヲ如何ニシテ地主ヲシテ供用セシム

ルカ、土地價格ノ問題ヲ繞リマシテ政府ハドウ云フ方策ヲ講ゼラレヨウトサレルノデアリマセウカ、是ガ自作農創設ニ關スル一點デアリマス、時間ノ關係デ私ノ質問ダケヲ續ケテ申上ゲマス、他ノ一ツノ問題ハ自作農維持ノ問題デアリマス、事變下ニ於キマシテ段々事業農家ガ減ツテ來テ居ル、過去ノ大正十五年五月自作農創設維持規則ガ設ケラレマシテカラモ、其ノ創設セラレタ自作農ノ中カラ、又次々ト小作農ガ出テ居ル、斯ウ云フ風ナコトハ事新シク此處デ數字ヲ申上ゲルマデモアリマセス、殊ニ昭和十二年ヲ中心ト致シマシテ此ノ農家戸數ノ異動ノ如キモ、當局御發表ニナツテ居リマスルケレドモ、此ノ席上デハ其ノ數字ハ差控ヘマス、サウ云フ風ニ致シマシテ、段段ト没落スル自作農ガアルノデアリマス、隨ヒマシテ計畫ハ立チマシテモ、此ノ自作農ノ没落ニ對スル方策ヲ十分ニ講ジテ參リマセヌナラバ、結局自作農創設ノ目的ハ達セラレナイ、私ノ地方デハ長男ガ十五歳ニナル時ハ床ノ下ノ土マデナクナル、サウシテ末ノ子ガ十五歳ニナル時ニハ藏ガ建ツト斯様ニ申シマス、是ハ言葉ガ非常ニ素朴デアリマスルケレドモ、日本ノ農家經營ノ實際上ノコトヲ能ク現ハシタ言葉デアルト思ヒマス、家族労働ヲ基調トスル日本ノ農家ハ、其ノ家族ニ依ツテ提供サレル勞力ノ最高限度ニ發揮サレル時ガ一番勞働力ガ多イノデアリマシテ、農家ノ經營ハ其時ガ一番有利デアアル、然ルニ段々ト小サイ子供ガ出來、主人ガ年ヲ取ツテ來テ家族ノ勞働力ガ少クナツテ參リマスル其ノ能力ハ低下スル、「チャヤノフ」ノ「小農經濟ノ原理」ニアル通りノコトガ、今私ノ地方デ申サレテ居ル、長男ガ十

五歳ニナル時ハ一番子供ガ澤山居ルシ、ソレニ要スル家計費等モ嵩シデ参リ、ソレニ反シテ家庭勞力ガ一番少イ時デアル、所ガ一番末ノ子供ガ十五歳ニナル時ハ一番勞力ガ多クナルト云フヤウナコトデ、家庭勞力ニ高低起伏ガアルノデアリマス、ソレガ若シ病氣ニ罹リ、其ノ他ノ災難ニ罹リマス、此ノ自作農ハ小作農、貧農ニ轉落セザルヲ得ナイヤウナコトニナルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ十分ニ考慮セラレマシテ、茲ニ對策ヲ講ジテ參ラナケレバ、自作農創設維持ノ非常ニ龐大ナル計畫ヲ立テテ居ラレヤウデアリマスガ、實際ハ其ノ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト思ヒマス、此ノ自作農維持ニ對スル計畫ト致シマシテハ、或ハ新農業團體ヲシテ醫療厚生施設ヲ十分ニ行ハシメルト云フガ如キ、或ハ又共同作業ヲ徹底セシムル爲ニ小組合ノ活動、或ハ從來ノ農村ニアツタ五人組、十人組ト云フヤウナ組織ノ強化、斯ウ云フヤウナコトモ考ヘラレデアリマセウガ、兎ニ角此ノ自作農維持ニ關スル方策ヲ政府ハドウ御考ヘニナツテ居ルカ、是ガ自作農ニ關スル第二點デアリマス

更ニ之ニ關係致シマシテ私ガ茲ニ特ニ御伺ヒ致シタイト存ジマスルコトハ、今日ノ日本ノ國情ニ照シマシテ、政府ハ所謂地主ニ對スル對策ヲドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカト云フコトデアリマス、自作農創設ヲヤツテ行キマス上ニ於キマシテ、當然問題ト相成リマスコトハ、不在地主ノ土地デアル、更ニ廣面積ノ耕地ヲ持ツテ居ル人達ノ土地ヲ、如何ニシテ自作農地トシテ供用サセルカト云フコトガ問題トナツテ來ルト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ政

府ハ地主ヲ如何ニ指導サレントスルカ、從來ノ地主ハ今日マデノ日本ノ農業ノ發達ニハ、種々貢獻致シテ居ルノデアリマスガ、世ノ中ガ進歩致シマスニ從ヒマシテ、行政機構ガ完備シ、農業諸團體ガ完備致シテ參リ農民自身モ進歩致シマシテ、次第ニ地主ノ存在價值ガ退化致シテ參リマシテ、段々地主ノ地位ガ不安動搖ヲ來シテ參ツタコトモ御承知ノ通りデアリマス、併シナガラ今日ノ時局ニ於キマシテハ一億一心、殊ニ日本農村ノ本來ノ面目カラ致シマシテ、地主ガ農村ノ中心ヲ成シテ居ルベキデアリマス、隨ヒマシテ健全ナル地主ガ指導者トナツテ農民ノ相談相手トナリ、農民ノ代辯者トシテ其處ニガツチリ致シテ居ルト云フコトガ、日本農村確立維持ノ上ニハドウシテモ必要ダラウト存ズルノデアリマス、此ノ點カラ申シマシテモ地主對策ガ講セラレナケレバナラス、尙ホ又今日當面ノ増産ニ對シマシテモ、心アル地主ノ中ニハ自分達モ何トカシテ積極的ニ協力致シタイト云フ氣持ニ燃エテ居ル人ガ決シテ少クゴザイマセス、或ハ共同作業ニ於テ農民ノ引廻ハシヲ致ス、或ハ農器具購入ニ付テノ資金ノ供給ヲスルト云フコトハ、是ハ當面ノ食糧増産ニ對スル地主ニハ持ツテ來イノ役割デアルト存ジマス、隨テ政府モ今日ノ農村ノ使命ニ鑑ミラレマスタラバ、地主ニ對シテモ格段ノ政策ガ執ラレナケレバナラス、斯様ニ存ジマス、先ヅ自作農創設ニ關聯致シマシテ、是等ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○井野國務大臣 自作農創設ニ關聯致シマシテ、農地價格ノ問題、自作農維持ノ問題、及ビ地主對策ノ問題、此ノ三ツノ問題ニ付テノ御尋ネデアリマスルガ、第一ノ農地價格ノ問題デアリマス、元々自作農ヲ創設致シマスコトハ農林省舊來ノ方針デアリマシテ、此ノ方向ニ進ンデ參ツタノデアリマスルガ、計畫ハ出來テ居リマシテモ、中々思フヤウニ實行ハ出來ナイ、是ハ御説ノ通りデアリマス、隨テ今回皇國農村確立ノ促進ヲ圖リ、又農村ヲシテ食糧ノ生産場並ニ大和民族涵養ノ基地トシテ、其ノ機能ヲ十分ニ發揮セシメタイト云フ趣旨カラ、此ノ自作農創設ヲ一層徹底致シタイト考ヘタノデアリマス、其ノ爲ニ從來支障ニナツテ居リマスル事柄ニ付テ、此ノ議會ヲ通ジテ解決シナケレバナラス問題ニ付テハ、先程石坂君ノ御述ベノ通りニ色々手段ヲ講ジタノデアリマス、併シ農地價格ノ問題ハ、自作農創設ノ上ニハ極メテ重大ナ問題デアリ、此ノ點ハ今後ノ施策ヲ實施シテ參リマス上ニ於テ、十分研究シナケレバナラスト云フ意味ニ於テ、今直チニドウト云フ解決ハ致シテ居リマセス、併シ考ヘ方ノ上ニ於テハ二ツノ考ヘ方ガアルト思フノデアリマス、即チ今日ノ農地價格ハ統制令ニ依ツテ抑ヘラレテ居ル、今ノ價格デハ地主ハ手放サスカラ、幾ラ資金ノ簡易化ヲ圖リ、色々ノ助成ヲシテモ中々自作農創設ハ出來ナイト云フ見方ト、モウ一ツハ、農地價格ヲ今ココデ相當ニ上ゲテ小作人ニ賣ラシメレバ、農地ノ自作農創設ハ相當簡易ニ促進セラレテモ、持ツタ自作農家ガ經營上今度ハ非常ナ不利ヲ生ジテ來ルト云フ、此ノ二ツノ矛盾ガ茲ニアル譯デアリマス、之ヲ如何ニ緩和シテ行クカト云フ點ガ一番大切ナノデアリマスガ、農地價格モ今日ハ價格等統制令ニ依ツテ抑ヘテ居リマス、ソコニハ又色々其ノ價格ヲ動カシ得ル餘地ハ存シテアルノデア

リマス、例ヘバ耕地改良ヲシタヤウナ所デアルトカ、又其ノ地方ニ於テ、其ノ價格ガ不當デアルト云フヤウナ場合ニハ地方長官ノ許可ヲ得テ其ノ價格ヲ上げ得ルコトニナツテ居リマス、又其ノ地方一帯ガ色々ノ關係デ耕地價格ヲ直ス方ガ適當ダト云フ場合ニハ、個人的デナシニ、地方的ニモ之ヲ直シ得ル途ガ開イテアルノデアリマス、現在モ此ノ制度ニ依リマシテ相當ニ地方長官ガ許可ヲシ、又地方的ニモ之ヲ許シタ例モアルノデアリマシテ、此ノ運用ニ依リマシテ、或ル程度農地價格ノ是正ハ可能デアラウト思フノデアリマス、併シ根本的ニモツト賃貸價格ニ對スル掛合セノ倍數ヲ殖ヤストカ、或ハ賃貸價格ヲ變ヘルト云フ問題ニ付テハ、是ハモツト十分研究シテ參ラレバナラス問題デアルト考ヘテ、今直チニ之ヲ動カス意思ハ持ツテ居ライノデアリマス、隨テ此ノ問題ニ付テハ價格問題モ大切デアリマスルケレドモ、結局ハ地主ガ今日此ノ國家重大ノ時期ニ於キマシテ、食糧ノ増産ニ如何ニ協力態勢ニ出ヅルヤ否ヤト云フ問題ニナツテ來ルノデアリマス、隨テ此ノ豫算面通り色々ノ法制モ出來マシタ曉ニ於キマシテハ、農林省トシマシテハ積極的ニ地主階級ニ呼ビ掛ケテ、サウシテ是非一ツ此ノ際自作農創設ガ必要デアル、皇國農村ヲ確立スル上ニ於テハ、此ノ行キ方デ行カナケレバイケナイノデアアル、ト云フコトヲ能ク徹底シテ貰ヒタイ、サウシテ其ノ協力ヲ以テ自作農創設ヲ解決シテ行クコトガ一番宜クハナカラウカ、徒ラニ價格問題ヲイデリ出スト、ソコニ又色々ナ問題ヲ惹起シテ、却テ施策ノ上ニ於テ遺憾ノ點ヲ生ジテハイカスト考ヘテ、其ノ方向ニ付テモ今

研究ヲシテ居ル譯デアリマス

又自作農維持ノ問題ニ付キマシテハ、是マデ御話ノ通り折角自作農ガ出來マシテモ、其ノ維持完全ナラザレバ寧ろ没落ヲ見ルノデアリマス、デアリスカラ何トシテモ出來上ツタモノヲ維持シテ行カレバナラス、ソレニハヤハリ農林省ガ今考ヘテ居リマスル皇國農村確立ノ方向ニ向ツテ、所謂農業者ノ經營ノ合理化ト技術ノ進歩ニ依リマシテ、結局今日ノ農業經濟ヲシテ從前ヨリハ有利ナラシムルト云フ方向ニ導イテ行カナケレバナラスト思フデアリマス、ソレニハ有畜農業ノ問題モ大切デアリマスルシ、又耕地ノ交換分合等ニ依リマシテ、農家自體ガ自作農ヲ創設シタ以後ニ於テ、經營上合理的ナ經營ヲナシ得ルト云フ方向ニ導イテ行クコトガ最も必要デアアル、其ノ爲ニ差常リハ三百町村ヲ選ビマス、是ハ漸次擴大シテ參リマシテ全町村ニ及ボス積リデ居リマスガ、政府ハ其ノ地方々々ノ事情、又農家農家ノ實體ニ即シテ計畫ヲ立テ、サウシテ自作農ヲ創設シタ者ノ維持ハ勿論、從業ノ農家ノ經營ニ付テモ合理的經營ニ導イテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、又地主對策ト申シマスカ、地主ノ問題トシテハ、所謂不在地主ノ問題ト居村地主ノ問題ト二ツアル譯デアリマスガ、不在地主ハ出來ルダケヤハリ自作農創定ノ方向ニ其ノ農地ヲ開放シテ戴クヤウニシテ參リタイ、外國等ニ於テハ強制ノ法制モアルヤウデアリマスアレドモ、現在ノ戰時體制下ニ於テハ、所有權ノ問題ニ餘リ強制的ナ手段ヲ強ク執ルコトハ適當デナイト考ヘテ居リマスノデ、是モ此ノ時局ヲ認識スル地主ノ方々ノ協力ニ依ツテ其ノ目的ヲ達成シ得ルト信ジテ

居リマスルカラ、不在地主ガ出來ルダケ自作農創定ニ協力シテ貰フヤウニ、サウ云フ方向ニ導イテ參リタイト考ヘテ居リマスルシ、又居村地主、是ハ御話ノ通り私ハヤハリ村々ニハ相當ニ地主階級ノ人々ガ居殘ルト云フコトガ大切ダト思フデアリマス、必ズシモ地主ガ其ノ村ニ於テ一番偉イ人トハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、地主ノ家庭ナリ或ハ境遇ナリガ、其ノ村ニ於テノ信望ヲ得テ居ル人々モ相當ニ多イデアリマシテ、斯ウ云フ人々ヲシテ其ノ村ヲ指導セシメテ行クコトガ最も適切デアリマスルカラ、是等ノ人々ノ村ニ居殘リ易イ方策トシマシテ、自作農創設ニ當ツテハ地主ノ土地ヲ全部自作農地トラシメナイデ、一部小作ハヤハリ其ノ村々ニ殘シテ置ク方宜イノデハナイカ、サウシテ自作農兼小作、地主兼自作農ト云フヤウナ色々ノ取混ぜヲ其ノ村ニ組合ハセテ行ツテ、其ノ村ヲ最も合理的ナ皇國農村トラシメルコトガ、今日ノ皇國農村確立ノ目標デハナイカ、サウ云ツタ方針デ進ミタイト考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 自作農創設維持ニ關シマシテノ只今ノ農林大臣ノ御答辯ハ能ク了承致シマシタ、殊ニ地主ニ對シマシテ、今日ノ時局ニ是非トモ積極的ニ協力シテ呉レルヤウニ呼掛ケタイ、斯ウ申サレマシタコトハ非常ニ私モ同感デゴザイマシテ、今日ノ地主ハ其ノ呼掛ヲ待ツテ居ル、之ニ付キマシテモ速カニ其ノ方途ニ出ラレンコトヲ希望致シマス

次ニ離農對策ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、是ハ一面通常ノ場合ニ於キマシテモ、先程申上ゲマシタ自作農維持ノ問題ニ關聯致スデアリマスガ、今日ノ狀態ハ此ノ通常ノ狀態ニ於ケル農村ニ加

フルニ、時局下ノ特殊事情ガアルデアリマス、農家戸數ノ減少ハ、當局ノ御發表ニ依ツテ見マス、昭和十二年ノ境ト致シマシテ、前五箇年間ニ五萬戸デアツタモノガ、其ノ後ノ五箇年間ニ於テハ十一萬戸ノ減少ニナツテ居ル、斯ウ云フ狀態デアルヤウデアリマス、此ノ點ハ私共實ニ憂慮致シテ居ル點デゴザイマス、先程西川君ガ昨年ノ十月十日ノ内原訓練所ニ於ケル谷萩大佐ノ御演說ヲ御引用ニナツタデアリマス、其ノ御演說ハ西川君仰セノ如クニ各方面ニ多大ノ衝動ヲ與ヘテ居リマス、私共モ機會ガアツタナラバ、アノ演說ヲ中心ト致シマシテ懇談ヲ致シテ見タイト云フ希望サヘアルデアリマス、其ノ演說ノ中ニ、農村ノ時局カラ受ケル影響ノ主ナルモノハ谷萩大佐ハ斯ウ言ハレテ居リマス、「統制諸機關ニ依リ利潤ノ不當擧斷、軍需工場或ハ住宅營團ノ田畑侵蝕、公定價格ノ矛盾ヨリ來ル主食作物付ノ不利、闇ノ横行、都市、農村ノ諸物資配給上ノ差別、時局產業界ノ殷盛ヨリ來ル不良感化デアアル」ト、斯様ニ指摘セラレテ居リマス、私共農村ノ人達ニ豫テ接觸シ、又現實ニ目撃シマスル時ニ、此ノ農產物間ノ價格ノ不均衡、農產物ト他ノ農家ノ生活必需品トノ間ノ不均衡、勞力ノ不足、農業經營ノ採算ガ困難デアルト云フ風ナコトカラ、段々農家ノ勞力ガ他ニ流出シ、離農ヲスル、斯ウ云フ風ノコトガ著シク眼ニ着クノデアリマスルガ、是ガ對策ハ一日モ忽セニスベカラザルコトデアリマス、先程米ノ價格ノ問題ニ付テ今日ノ價格ノ是正サルベキコトヲ要求サレタデアリマスルガ、此ノ問題ハドウシテモ重要ナ問題トシテ先ヅ以テ取上ゲラレナケレバナラス問題デア

ラウト存ジマス、又配給ノ不均衡ノ問題モ相當農村ニ取ツテハ深刻ナ問題デアルト存ジマス、乏シキヲ患ヘズ齊シカラザル患フト申シマスガ、是ハ當リ前ノコトデアリマス、私共ハ農村ノ諸君ト共ニ齊シカラザルヲ患ヘズ、斯様ニ勵ミ合ツテ居ルノデアリマスルケレドモ、農村ノ實情ヲ色々聽キマシタ時ニ、此ノ儘デハドウシテモイケナイト云フ感頗ル切實ナルモノガゴザイマス、私ハ此ノ正月ノ休ミニ方々廻ツタノデアリマスルガ、其ノ中ニ斯ウ云フコトヲ言ツタ人ガアリマシタ、今農家ノ地下足袋ノ配給其ノ他ノ配給ヲ是レ以上増シテ呉レトハ申シマス、併シナガラ日曜日ニ魚釣ニ行ク急行電車ノ中ニ、魚釣ニ行ク人ガ新シイ地下足袋ヲ穿イテ乗ツテ居ル、其ノ急行電車ノ通ル傍ヲ田圃ニハ、ボロ／＼ノ地下足袋ヲ穿イテ老農夫ガ肥桶ヲ擔イデ居ル、斯様ナ配給上ノ矛盾ハ是非トモ是正シテ戴キタイト云フコトヲ私ニ懇ヘタ人ガアルデアリマス、斯様ナ言葉ヲ聽キマシタ時ニ、私共ハ何ト之ニ答ヘタラ宜シイノデアリマセウカ、是ハ單ニ地下足袋バカリノ配給デハナイノデアリマス、或ハ農業用ノ荷馬車ノ修繕ニ要スル所ノ鐵材ノ配給、或ハ農器具ノ所謂鋤先、鋤ノ先ニ用フル金ノ配給、農村ノ婦女子ノ用フル作業衣ノ配給ト、斯様ナコトハ農村ノ人達ハ其ノ生産確保ヲ致シマスル爲ニハドウシテモ必要ナル所ノ物資デアアルノデアリマスルガ、是等ノ點ニ關シマシテモ、配給ニ關シマシテハ特別ノ措置ガ講ゼラレナケレバナラスト、斯様ニ存ジマス、隨ヒマシテ離農對策ト致シマシテハ、農產物價格ノ不均衡ノ是正、農家ニ對スル所ノ生産資材等ノ配給ノ不均衡是正ト

云フコトガ、ドウシテモ一日モ速カニ計ラレナケレバナラスコトデアルト存ジマス、之ニ關シマシテハ段々外ノ事情モアルデアリマセウケレドモ、特ニ農林大臣ニ此ノ事情ヲ御懇ヘ致シマシテ、格段ノ御配慮ガ願ヒタイノデアリマスルガ、農林大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

更ニ私ハモウ一ツ離農ニ對スル對策ト致シマシテ、右申上デマシタコトハ當面ノ離農對策デアリマスルガ、私ハモウト根本的ニ離農對策ガ講ゼラレナケレバナラス、斯様ニ存ジマス、午前中モ間宮君ハ今日ノ農村ハ餘リニ其ノ勞力ガ過勞デアルガ爲ニ、農村カラ拔出テ行ク人多イト云フコトヲ申サレマシタ、ソレモ一ツノ原因デアルト私ハ思ヒマス、併シモウ少シ之ヲ掘下ゲテ參リマスルナラバ、私ハ今日ノ農村ノ青壯年ガ農業ニ對スル憧憬ヲ失ツテ居ルノデヤナイカ、斯様ニ存ジマス、昔駒場ノ學生ハ、駒場ヲ出テ十餘年、今デヤ「テキサス」大地主ト歌ヒマシタガ、斯様ナ精神ハ學生ノ夢デアツタデアリマセウケレドモ、今少シク農村ノ有爲ナル青年ヲシテ農村ニ對スル憧憬ヲ持タセナケレバナラス、私ハ本會議ノ席上ニ於キマシテ理想農場ヲ建設シ、理想ノ經營ヲナサシメ、農村ノ詩的情緒ニ浸リナガラ、眞ニ天地ト融合シテ、生産ニ從事シツツ、職域奉公ヲスルヤウナ農家ヲ作りタイ、斯様ニ申シマシタ、今日ノ時局カラ申シマシテ言稍、迂遠ノ如ク聞エルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ根本ハソコニアルト信ズルノデアリマス、私ノ如キモ離農致シマシタ一人カモ知レマセヌガ、兎ニ角資産ガアリ、能力ガアル立派ナ青壯年ヲシテ、農村ニ居付カサスガ爲ニハ、ドウシテモ此ノ

農業ニ對スル所ノ憧憬ヲ持タセルコトガ必要デアラウト存ジマス、訓練所等ニ於キマシテ、烈々タル時局ニ對スル講演ヲ聞イテ無限ノ感激ヲ感ジテ、農村子弟ハ其ノ村ニ歸ツテ參リマス、併シナガラ現實農村ニ歸ツテ見マスルト、時ガ経ツニ從ツテ自ラ感激ガ薄レテ參リマス、即チ農村ニ對スル所ノ憧憬ヲ持タセマシテ、此ノ農業コソハ一番宜シイモノデアアル、農業コソハ一番オ上ニ御奉公ノ出來ルモノデアアルト云フコトヲハツキリ擱マセルコトガ、ドウシテモ必要デアラウ、斯様ニ存ジマス、ソレニハ固ヨリ今日農民道場、訓練所デヤツテ居ラレル鍊成モ必要デアアル、此ノ鍊成ニ依ツテ農民魂ヲ養フコトハドウシテモ必要デアリマスルガ、眞ノ農民魂ト云フモノハ必ズシモ此ノ鍊成バカリカラハ得ラレナイト私ハ考ヘルノデアリマス、一面ニ於テハ精神的ノ鍊成ヲ致シマス同時ニ、他面農業技術ノ精華ヲ發揮スル程度ニマデ其ノ腕ヲ磨カセナケレバナラス、斯様ニ存ジマス、即チ農業技術ノ技術ニ入ルト云フ程度ニマデ農業技術ヲ磨カセマスルナラバ、其ノ人ハ本當ニ耕スコトニ依ツテ安心立命ガ得ラレルト思フ、今日農業ニ對スル政策ハ、先程農林大臣仰セノ如ク、必ズシモ立法ダケデハ行キマセヌ、外ニ豫算ニ依ツテ色々ノ施設ヲシナケレバナリマセヌガ、農業ニ對スル政策ノ貧困ノ中デ、最モ私ハ擧ゲナケレバナラスコトハ農業技術ノ貧困デハナイカト存ジマス、隨ヒマシテ私ハ今日離農ニ對スル根本策トシテ、青少年ヲシテ農業ニ憧憬シムル、眞ニ立派ナ農民魂ヲ作ル爲ニハ、其ノ指導ヲシ、其ノ人ノ腕ヲ磨カセルコトガ必要デアアル、即チ農業教育ニ對スル所ノ

根本的刷新ノ方法ガ講ゼラレナケレバナラスト斯様ニ存ジマス、今日ノ農學校ノ教育ニ對スル技術ノ修練、是ガ第一、私ヲシテ言ハシムレバ、今日ノ各府縣ノ農學校ニ入學スル下學年ノ生徒ヲシテ、其ノ縣下ノ篤農家ニ配置シテ、先ヅ農業技術ヲ養ヘセテ、然ル後ニ農業ノ學問ヲサセル、是モ一ツノ方法デアラウト存ジマス、又中央ニ高等農業技術學校トモ云フベキ——是ハ假令名前デアリマスガ、例ヘバ陸軍ノ士官學校ヲ出タ人が更ニ技術ヲ磨ク爲ニ戸山學校等ニ入ルヤウニ、斯様ナ按配ニ中央ニ農業ニ關スル高等技術ヲ磨ク學校ヲ作り、サウシテ農學者ト篤農家ノ「コンベ」ニ依ル所ノ「スタッフ」ヲ設ケマシテ、或ハ青年學校ノ先生ノ如キ、或ハ

カシイ問題デアリマシテ、私共モ率直ニ申セバ、農村ノ爲ニ出來ルダケ其ノ價格ヲ有利ナラシムル方向ニ總テノ施策ヲ持ツテ行キタイノデアリマス、米價ノ引上等ニ付キマシテモ屢、申上ゲテ居リマス通り、是ガ容易ニ出來ルト致シマスレバ、ソレモ致シタイノデアリマスガ、今日米價ガ總テノ物價ニ對シテ其ノ及ボス所ノ影響ガ多大デアリマスノデ、政府ト致シマシテハ米、石炭、鐵ト云フヤウナ基本物資ニ付キマシテハ價格ノ引上ヲシナイ、所謂販賣價格ヲ引上ゲナイト云フ方針ヲ堅持致シマシテ、其ノ結果企業ノ上ニ不採算ニナルト云フ場合ニ於テハ、國家ノ助成金ニ依ツテ之ヲ助成シテ行クト云フ建前ヲ取ツテ居ルノデアリマス、米ニ付キマシテモ先般二重價格ヲ實行ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、唯麥ニ付キマシテハ是等ノ點ヲ勘案シツツ最近引上ヲ致シ、此ノ農產物價ノ問題ニ付キマシテハ、政府トシテモ考慮出來マスモノハ出來ルダケ之ヲ考慮シテ參ツテ居ルノデアリマス、唯農村ノ離村ノ問題ハ私ハ價格ノ問題ダケデ解決シ得ナイト思ヒマス、今石坂君モ第二點ニ其ノ點ニ付テ御觸レニナツテ居ルノデアリマス、今日米價ガドウデアアルカスウデアアルカト云フノ離村ガ多イト云フ問題デハナク、寧ろ農村ノ附近ニ於ケル種々ノ工場ナリ鑛山ノ狀態ガ、農村青年等ヲシテ其ノ方ニ引付ケルト云フヤウナ事態ガ起ツテ居ルノデアリマス、是等ノ問題ハ今御話ノ通り農村ニ青年其ノ他ノ人々ヲシテ憧憬シメテ居住セシムルト云フコトガ、結局一番ノ根本方針ニナツテ來ルト思ヒマス、皇國農村確立促進ノ施設モ、其ノ點ヲヤハリ狙ツテ居ルノデアリマシテ、出來ルダ

農業ニ對スル所ノ憧憬ヲ持タセルコトガ必要デアラウト存ジマス、訓練所等ニ於キマシテ、烈々タル時局ニ對スル講演ヲ聞イテ無限ノ感激ヲ感ジテ、農村子弟ハ其ノ村ニ歸ツテ參リマス、併シナガラ現實農村ニ歸ツテ見マスルト、時ガ経ツニ從ツテ自ラ感激ガ薄レテ參リマス、即チ農村ニ對スル所ノ憧憬ヲ持タセマシテ、此ノ農業コソハ一番宜シイモノデアアル、農業コソハ一番オ上ニ御奉公ノ出來ルモノデアアルト云フコトヲハツキリ擱マセルコトガ、ドウシテモ必要デアラウ、斯様ニ存ジマス、ソレニハ固ヨリ今日農民道場、訓練所デヤツテ居ラレル鍊成モ必要デアアル、此ノ鍊成ニ依ツテ農民魂ヲ養フコトハドウシテモ必要デアリマスルガ、眞ノ農民魂ト云フモノハ必ズシモ此ノ鍊成バカリカラハ得ラレナイト私ハ考ヘルノデアリマス、一面ニ於テハ精神的ノ鍊成ヲ致シマス同時ニ、他面農業技術ノ精華ヲ發揮スル程度ニマデ其ノ腕ヲ磨カセナケレバナラス、斯様ニ存ジマス、即チ農業技術ノ技術ニ入ルト云フ程度ニマデ農業技術ヲ磨カセマスルナラバ、其ノ人ハ本當ニ耕スコトニ依ツテ安心立命ガ得ラレルト思フ、今日農業ニ對スル政策ハ、先程農林大臣仰セノ如ク、必ズシモ立法ダケデハ行キマセヌ、外ニ豫算ニ依ツテ色々ノ施設ヲシナケレバナリマセヌガ、農業ニ對スル政策ノ貧困ノ中デ、最モ私ハ擧ゲナケレバナラスコトハ農業技術ノ貧困デハナイカト存ジマス、隨ヒマシテ私ハ今日離農ニ對スル根本策トシテ、青少年ヲシテ農業ニ憧憬シムル、眞ニ立派ナ農民魂ヲ作ル爲ニハ、其ノ指導ヲシ、其ノ人ノ腕ヲ磨カセルコトガ必要デアアル、即チ農業教育ニ對スル所ノ

根本的刷新ノ方法ガ講ゼラレナケレバナラスト斯様ニ存ジマス、今日ノ農學校ノ教育ニ對スル技術ノ修練、是ガ第一、私ヲシテ言ハシムレバ、今日ノ各府縣ノ農學校ニ入學スル下學年ノ生徒ヲシテ、其ノ縣下ノ篤農家ニ配置シテ、先ヅ農業技術ヲ養ヘセテ、然ル後ニ農業ノ學問ヲサセル、是モ一ツノ方法デアラウト存ジマス、又中央ニ高等農業技術學校トモ云フベキ——是ハ假令名前デアリマスガ、例ヘバ陸軍ノ士官學校ヲ出タ人が更ニ技術ヲ磨ク爲ニ戸山學校等ニ入ルヤウニ、斯様ナ按配ニ中央ニ農業ニ關スル高等技術ヲ磨ク學校ヲ作り、サウシテ農學者ト篤農家ノ「コンベ」ニ依ル所ノ「スタッフ」ヲ設ケマシテ、或ハ青年學校ノ先生ノ如キ、或ハハ地方ノ技術員ノヤウナ人達ヲ再教育スル、斯様ニシテ農業技術ヲ眞ニ磨ク、サウシテサウ云フ風ナ人達ヲ各地方ニ配置スルト云フコトハ、是ハ今後眞ニ有爲ナ人ヲシテ農村ニ落付カシムル爲ニハ當然考ヘラレナケレバナラスコトデアラウ、斯様ニ存ジマス、斯カル意味ニ於キマシテ此ノ農業教育ノ根本的刷新ニ關シマシテ、是ハ文部當局ニ聽カナケレバナラスコトデアアルカモ知レマセヌガ、併シ國務大臣トシテノ農林大臣、殊ニ農業ノ關係デアリマスカラ、此ノ點ヲ併セテ御伺ヒ致シマス

○井野國務大臣 今日農村ヨリ青年其ノ他ノ人々ガ離レル傾向ノアルコトハ、極メテ憂慮スベキコトデアアルト云フ御意見ニ付キマシテハ、吾々モ其ノ點ヲ非常ニ憂慮致シマシテ、種々ノ對策ヲ講ジテ居ル譯デアリマス、其ノ對策ノ一端トシテ農產物ノ價格ト云フ問題ニ御觸レニナツタノデアリマスガ、農產物ノ價格問題ハ、是ハ固ヨリ非常ニ難

ケ居村ノ農村ヲシテ立派ナ農村ニセシムル
ト云フコトニ於テハ離村防止ガ自ラ解決サ
レテ來ルノデハナカラウカ、又今御話ノ教
育問題等モ、是モ大切ナ問題デアリマス、
技術ノ振興ニ依ツテ農民ガ自ラ其ノ土地
ニ足ヲ踏ミ締メルト云フ進メ方モ、是モ
大切ナ問題デアリマスガ故ニ、農村教育
ニ付キマシテハ文部省等ニ對シマシテモ、
極力是ガ振興ヲ圖ルヤウニ御願ヒ致シテ居
ルノデアリマスガ、併シ又文部省關係ノ教
育以外ニ、ヤハリ鍊成ガ此ノ問題ノ解決ニ
最モ大切デアル、單ニ鍊成ト申シマシテモ、
精神的鍊成ノミナラズ、技術的鍊成モ之ニ
加ヘルノデゴザイマスカラ、内原ガ實行シ
テ居リマス鍊成、又各府縣ニ今回豫算ノ上
ニ相當計上致シマシタヤウニ、各府縣ニ鍊
成機關ヲ置キ、之ヲ國庫ガ其ノ費用ノ全額
ヲ負擔シテ、農民ノ技術的鍊成ヲモ此ノ機
關ニ依ツテ琢磨シテ行クト云フコトニ於テ、
今御話ノ目的ノ全部トハ申シマセスガ、一
端ヲ達スルコトガ出來ル、凡ユル施策ヲ各
方面カラ講ズルコトニ依ツテ、青年其ノ他
ノ人々ガ農村ニ憧レヲ持ツテ居住スルト云
フコトニ付テハ、政府トシテモ出來ルダケ
ノ努力ヲ致ス積リデアリマス

アリマス
最後ニ私ハ簡單ニ朝鮮ノ食糧對策竝ニ農
業對策ニ付テ、是ハ事務的ニ申シマスナラ
バ、或ハ農林大臣ノ御所管デハナイカモ知
レマセスガ、國務大臣トシテ御伺ヒ致シタ
イノデアリマス、今日半島ノ重要性ニ付テ
ハ私ガ申上グルマデモナイコトデアリマス、
殊ニ食糧對策ノ見地カラ致シマシテ、此ノ
半島ノ生産ガ日本ノ食糧政策ニ寄與致シテ
居リマスコトハ、非常ニ大ナルモノガアル
ノデアリマス、然ルニ不幸ニ致シマシテ昨
年ハ朝鮮ハ御承知ノ通りノ旱害デアリマシ
テ、其ノ植付面積ハ七割四分七厘ダト當時
傳ヘラレテ居リマシタガ、二千四百萬石ノ
平年作ニ對シマシテ、今朝ノ新聞ニ依ルト
千五百六十八萬七千石ノ實收ヲ見テ居ルヤ
ウデアリマス、昨年ノ旱害克服ニ對シマシ
テ、及ビ旱害對策ノ凡ユル施設ニ對シマス
ル半島農民ノ努力ハ實ニ涙グマシイモノガ
アツタノデアリマシタ、私ハ昨年八月、拓
務省ヨリ派遣サレマシテ是等ノ事情ヲ調査
ニ參ツタノデアリマスガ、其ノ調査報告ハ
私共ノ率直ナル意見ト共ニ、當時ノ拓務大
臣デアラレタ大臣ニハ具申ヲ致シテ置キマ
シタ、又他ノ方面カラモ此ノ朝鮮ノ實情ニ
對スル報告ハ十分聽取シテ居ラレダラウ
ト存ジマス、昨年ノ狀況ヲ見マシテ私ノ氣
遣ツテ居リマスルコトハ、此ノ春ノ春窮期
ニ於ケル朝鮮ノ食糧事情デゴザイマスガ、
之ニ對シマシテハ固ヨリ當局ト致シマシテ
ハ十分ノ御對策ガ御立テニナツテ居ルデア
ラウト存ジマスガ、此ノ機會ニ於キマシテ
其ノ對策ニ付テ御漏シテ願フコトガ出來レ
バ非常ニ仕合セト存ジマス
尙ホ此ノ朝鮮ニ於ケル食糧對策ト同時

ニ、朝鮮農業ニ對スル拔本塞源のナ施策ガ
講ゼラレル必要ヲ痛感致スノデゴザイマス、
從來朝鮮ハ水害ナリ旱害ガ繰返ヘサレテ、
此ノ禍ヒ洵ニ深刻ナモノガアツタノデアリ
マスガ、昨年ノ旱害ニ鑑ミマシテ、又屢、繰返
ヘサレマシタ水害等ニ鑑ミマシテ、此ノ際
朝鮮ニ根本的施策ヲ講ジ、朝鮮農業ノ安定
ヲ圖ルベキデアルト存ジマス、即チ耕地ノ
改良事業或ハ水利、灌漑事業ノ施設ノ徹底、
治山治水、河川改修等ノ全面的施策ガ講ゼ
ラレナケレバナラヌト存ジマス、其ノ仕事
ハ相當ノ豫算ト歲月トヲ要スルノデアリマ
セウガ、政府ハ此ノ際豫算ナドヲ惜シムコ
トナクシテ、此ノ根本對策ニ進ムベキデア
ルト思ヒマス、朝鮮ノ水田ハ、其ノ三分ノ一
ハ所謂天水水田デアリマス、之ニ水利不完
全水田ヲ加ヘマスナラバ、大體三分ノ二ハ
十分ナル灌漑ガ受ケラレナイト云フ狀態デ
アリマスカラ、何ヲ措キマシテモ是ガ對策
ハ急務中ノ急務デアラウト存ジマス、隨テ右
申述ベマシタヤウナ諸施策ヲ講ゼラレ、島民ヲ
旱害及ビ水害カラ救済致シマシテ、然ル後ニ朝
鮮ニ於テモ唱ヘラレル如ク農業再編成ノ問題、
即チ營農ノ合理化ノ如キ、小作制度ノ改善ノ
如キ、或ハ自作農ノ創設維持、又分村計畫
等ガ實施セラレナケレバナラヌト存ジマス、
分村計畫ノ一方法ト致シマシテハ、南方地
域ニ半島人ダケノ分村移民ノ計畫ヲ樹立ス
ルト云フコトモアリマセウ、更ニ私ハ北鮮
ニ居ル朝鮮ノ火田民ヲシテ南方ノ「ジヤン
グル」地帶ヲ開發サセルコトモ一ツノ妙案
デアラウカト存ジテ居リマス、斯様ナコト
ヲ含メマシテノ朝鮮農業ニ對スル對策ニ付
テ、御腹案ノアル所ヲ伺ヒタイト存ジマス

シタ爲ニ、石坂君親シク實地ヲ觀察サレマ
シテ、私拓務大臣トシテ、其ノ報告ヲ受ケ、
朝鮮ノ食糧事情ニ付テ憂慮致シマシタ結果
アノ當時朝鮮カラ内地トシテハ約七百萬石
ノ米ヲ供給ヲ受ケル管デアリマシタノヲ止
メテシマツタ、サウシテ朝鮮内地ニ其ノ食
糧ヲ廻スト云フ手ヲ打チマシタノモ、皆サ
ンカラ色々ノ事情ヲ伺ツテ手ヲ打ツタ譯デ
アリマス、隨テ其ノ後ノ情勢等ニ付キマシ
テモ十分考慮ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、
現在ニ於キマシテハ内外地ノ行政一元化ニ
依リマシテ、今日ニ於テハ朝鮮ノ食糧問題
モ私ノ指揮監督ノ下ニ責任ヲ持ツコトニナ
ツテ居リマスノデ、隨テ是ガ對策ニハ萬全
ヲ期シテ居ルノデアリマス、先般石黒次官
ヲ朝鮮及ビ滿洲ニ派遣致シマシテ、能ク實
際ノ事情ヲ聽取シ又之ニ對スル對策ヲ朝鮮
及ビ滿洲ニ於テ樹立セシメマシタノモ其ノ
趣旨ニ基クノデアリマシテ、其ノ結果、滿
洲カラ相當ノ雜穀ヲ朝鮮ニ輸入スルコトニ
モナリマシタシ、又必要ガアレバ内地カラ
モ、或ハ外米輸入ノ一部ヲ之ニ割クト云フ
對策モ色々立テツツアルノデアリマスガ
ラ、決シテ朝鮮自體ニ食糧ノ不安ヲ生ゼ
シムルヤウナコトハナイヤウニ、對策ヲ現
在立テツツアルノデアリマス、又朝鮮ノ農
業指導ノ問題ニ付キマシテハ、御説ノ如ク
朝鮮ハ所謂天水田モ相當ニアルノデアリマ
スカラ、是ガ土地改良等ニ依リマシテ、旱
害ヲ防グト云フコトモ必要デアリマス、併
シ今日ハ豫算ハ相當ニ出スト致シマシテモ、
資材ニ非常ニ不自由感ジテ居リマスノデ、
今朝鮮ノ灌漑事業ヲ根本的ニ解決スルト云
フノニハ、是ハ相當ノ資材ヲ要スルト思フ
ノデアリマス、隨テ直チニ根本的ナ解決ハ

困難ト思ヒマスガ、併シ計畫トシテハヤハリ朝鮮ノ増産計畫ト云フモノヲ、水田ニ於テ相當立テテ居ルノデアリマス、併シ當面ノ問題ト致シマシテハ、結局ヤハリ雜穀ナリ麥、甘藷等ヲ増産スルコトガ手ツ取り早イノデアリマスカラ、此ノ方面ニ付テノ増産計畫ヲ、本年トシテハ相當朝鮮トシテモ立テツツアルノデアリマス、是等ノ食糧ト、竝ニ滿洲、内地等ノ補給トニ依リマシテ、本年ノ食糧事情ニ付キマシテハ、十分ニ不安ナク過シ得ルコトト信ジテ居ルノデアリマス、尙ホ南方方面ニ對スル移民問題ニ對シマシテハ、是ハ私モ指揮監督ノ權限ハアリマシテモ、直接ノ責任者デゴザイマセスカラ、寧ロ私カラ今後ドウスルカト云フコトニ付テハ、御答辯申上ゲナイ方ガ適當デアラウト思ヒマス

○石坂(繁)委員 今日半島ノ人達ハ徵兵制度ガ實施セラレ、義務教育制度ガ施行セラレルコトニナリマシテイタク聖恩ノ有難サニ感激致シテ居リマス、茲ニ益、半島ノ農民ヲシテ皇國民トシテノ精神ヲ作興セシメテ、今後農業生産力ヲ一層發揮セシメマシテ、半島農業ノ負荷スル使命ヲ果サシメン爲ニ、朝鮮農業ニ對スル對策ガ一日モ早く徹底致シマスルコトヲ要望シテ已ミマセヌ、私ノ大臣ニ對スル質疑ハ是デ終了致シマシタ

○東郷委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマス

午後四時二十四分散會